

- 七 各室硝子障子ハ毎月一回使丁總員ヲシテ清拭スルモノトス
- 八 各期ハ毎朝各室ヘ石炭及木炭等配付シ退廳後ハ前各項ニ準シ掃除スルモノトス
- 九 各室又ハ昇降口戸締ヲ嚴ニスルモノトス
- 十 唾吐器及筆洗水入糊板等掃除スルモノトス
- 十一 飲料用ノ湯ヲ沸シ各室ヘ配付スヘシ
- 十二 門燈及宿直室又ハ通路ノ点燈臨時夜勤用洋燈等掃除又ハ点火スルモノトス
- 十三 吏員ノ行厨ヲ使丁室ヨリ各室ニ配達シ食後之ヲ使丁室ヘ取運フモノトス
- 十四 毎夜一回宿直吏員各室ヲ巡見アルトキハ開閉ニ從事スヘシ
- 十五 雨天降雪ノトキハ傘置ヲ各室ヘ配置スルモノトス
- 十六 茶碗土瓶ハ毎朝清潔ニシ茶盆ニ排列シ各室ニ配置スルモノトス
- 第十五條 使丁ハ公書類又ハ各專用ノ物品ハ勿論其他ノ物

品ト雖モ鄭重ニ保管シ取扱フヘシ

●有給職員父母祭日休暇方

明治廿五年十二月廿八日
大阪市訓令參一第六號

本市有給職員父母祭日ハ休暇ヲ差許ス

第三節 定員及任免

●市書記及付屬員定員規程

明治卅一年十月十三日
大阪市告示第二十九號

本市會ノ議決ヲ經テ市書記及付屬員定員規程左ノ通相定ム
市書記及付屬員定員規程

市制第五十九條ニ依リ市書記及付屬員ノ人員ヲ定ムルコト左ノ如シ
但市參事會ハ豫算定額内ニ於テ其人員ヲ増減スルコトヲ得

第二條 左記各號ノ一ニ該當スル者ハ之ヲ主事ニ任用スルコトヲ得

- 一、本市ノ主事任用試験ニ合格シタル者
 - 二、學位ヲ有スル者
 - 三、文官高等試験、外交官及領事官試験、判事檢事登用試験又ハ辯護士試験ニ合格シタル者
 - 四、官立公立ノ專門學校又ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者但官立公立ノ中學校ヲ卒業シタル者文部省認定ノ私立中學校ヲ卒業シタル者又ハ專門學校令第五條ノ檢定ニ合格シタル者タルコトヲ要ス
 - 五、滿三年以上月額五拾圓以上ノ給料ヲ受ケテ文官官立公立ノ學校職員又ハ公吏ノ職ニアリタル者
- 第三條 左記各號ノ一ニ該當スル者ハ之ヲ視學ニ任用スルコトヲ得
- 一、本市ノ視學任用試験ニ合格シタル者
 - 二、前條第二號、第四號又ハ第五號ニ該當スル者
 - 三、文官高等試験ニ合格シタル者
 - 四、小學校本科正教員ノ免許狀ヲ有シ滿三年以上月額五

- 主事 七人 (明治四十年三月六日) (大阪市告示第一〇號追加)
 - 書記 六十人 (明治四十年三月六日) (大阪市告示第一〇號追加)
 - 視學 三人 (明治卅九年四月十三日) (大阪市告示第二七號改正)
 - 技師 三人 (明治四十年三月六日) (大阪市告示第一〇號改正)
 - 技手 三十人 (明治四十年三月六日) (大阪市告示第一〇號改正)
- 經常ノ市役所設以外ノ經費ヲ以テ支辨スル吏員ノ人員ハ豫算ノ附記ヲ以テ之ヲ定ム

●吏員任用規程

明治四十年四月八日總達
第二號訓令秘第一四號

應 中 一 般

員任用規程左ノ通之ヲ定ム

吏員任用規程

第一條 主事、視學及技師ニ任用スヘキ者ハ年齡滿四十五歲以下書記及技手ニ任用スヘキ者ハ年齡滿四十歲以下ノ者タルコトヲ要ス

拾圓以上ノ給料ヲ受ケテ公立小學校長ノ職ニ在リタル者

第四條 左記各號ノ一ニ該當スル者ハ之ヲ技師ニ任用スル

コトヲ得

一、本市ノ技師任用試験ニ合格シタル者

二、第二條第二號又ハ第四號ニ該當スル者

三、滿三年以上月額五拾圓以上ノ給料ヲ受ケテ技術擔當

ノ官吏公吏又ハ官立公立ノ學校職員ノ職ニ在リタル者

第五條 左記各號ノ一ニ該當スル者ハ之ヲ書記ニ任用スル

コトヲ得

一、本市ノ書記任用試験ニ合格シタル者

二、主事ニ任用セラル、資格アル者

三、文官普通試験又ハ裁判所書記試験ニ合格シタル者

四、官立公立ノ中學校又ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者

五、滿一年以上月額貳拾五圓以上ノ給料ヲ受ケテ官吏公吏又ハ官立公立ノ學校職員ノ職ニ在リタル者

六、滿三年以上本市ニ勤續シタル雇員其他ノ事務員ニシテ現ニ月額拾五圓以上ノ給料ヲ受ケル者

第六條 左記各號ノ一ニ該當スル者ハ之ヲ技師ニ任用スル

コトヲ得

一、本市ノ技師任用試験ニ合格シタル者

二、技師ニ任用セラル、資格アル者

三、東京工手學校又ハ之ト同等以上ノ學校ヲ卒業シタル者

四、滿一年以上月額貳拾五圓以上ノ給料ヲ受ケテ技術擔當ノ官吏公吏又ハ官立公立ノ學校職員ノ職ニ在リタル者

五、滿三年以上本市ニ勤續シタル工手其他ノ技術員ニシテ現ニ月額拾五圓以上ノ給料ヲ受ケル者

第七條 第二條第五號第三條第四號第四號第五號第五號又ハ第六號前條第四號又ハ第五號ニ依リテ吏員ヲ任用スル場合ハ銓衡委員ノ銓衡ヲ經ルコトヲ要ス第二條乃至前條ノ任用試験ハ試験委員ヲシテ之ヲ執行セシムルコトヲ要ス但主事、視學及技師ノ任用試験ハ帝國大學又ハ

官立公立ノ專門學校ニ之ヲ囑託スルコトヲ得

銓衡及試験ニ關スル細則ハ市長之ヲ定ム

第八條 市立大阪衛生試驗所ノ身体検査ニ合格シタル者ニ

アテサレハ之ヲ吏員ニ任用スルコトヲ得ス

前職其他ノ事項ニ關シ不良ノ行爲アリタル者ハ之ヲ吏員ニ任用スルコトヲ得ス

第九條 書記ノ任用ニ關スル規定ハ掃除監督長及掃除監督ニ之ヲ準用ス

第十條 本規程ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

工手、水道巡視員及雇採用

規程

明治四十一年三月三日 廳達第一一號

廳 中 一 般

工手水道巡視員及雇採用規程左記ノ通之ヲ定ム

工手水道巡視員及雇採用規程

第一條 工手及水道巡視員ニ採用スヘキ者ハ年齡滿五十歲

以下雇ニ採用スヘキ者ハ年齡滿四十歲以下ノ者ニシテ試験ニ合格シタル者タルコトヲ要ス

第二條 左記各號ノ一ニ該當スル者ハ試験ヲ用井スシテ工手ニ採用スルコトヲ得

一、本市書記及技師ニ任用セラル、資格ヲ有スル者

二、判任官以上ニ採用セラルヘキ資格ヲ有スル者

三、判任官以上ノ職ニ在リタル者

四、滿一ケ年以上陸海軍下士以上ノ職ニ在リタル者

五、滿一ケ年以上巡査又ハ看守ノ職ニ在リタル者

六、本市雇員ノ職ニ在リタル者

七、尋常小學校本科正教員及准教員以上ノ資格ヲ有スル者

八、官衛又ハ公署ニ於テ土木吏員ノ職ニ在リタル者

第三條 左記各號ノ一ニ該當スル者ハ試験ヲ用井スシテ水道巡視員ニ採用スルコトヲ得

一、第二條各號ノ一ニ該當スル者

二、陸海軍下士適任證書ヲ有スル者

三、官立公立中學校又ハ之ト同等以上ト認ムヘキ學校ノ書

記タリシ者

四、會社銀行又ハ信用アル商店ニ於テ月額拾圓以上ノ支給ヲ受ケタル者

五、官公立中學校又ハ之ト同等以上ト認ムヘキ學校ノ四年級ノ課程ヲ修了シタル者

第四條 左記各號ノ一ニ該當スル者ハ試験ヲ用井スシテ雇ニ採用スルコトヲ得

一、第二條第一號第二號第三號又ハ第七號ニ該當スル者
二、滿一年以上本手工手又ハ雇其他事務員ノ職ニ在リタル者

第五條 吏員任用規程第八條ノ規定ハ之ヲ本規程ニ準用ス

第六條 採用試験ニ關スル細則ハ市長之ヲ定ム

掃除巡視採用試験手續

明治卅三年四月廿三日市參事會決定

第一條 掃除巡視志願書ハ別紙書式ニ倣ヒ履歴書ヲ添テ差出サシムヘシ

但シ必要ト認ムルトキハ再ヒ体格ノ検査ヲ行フコトアルヘシ

一 汚物掃除法及之レニ伴フ諸規則類 一時間

本項ハ總テ筆答ヲナサシム但シ志願者少數ナルトキハ口頭試験ヲナスコトアルヘシ

二 作文 一時間

三 算術 一時間

算法ハ筆算ヲ以テス但シ珠算ヲナサシムルコトアルヘシ

四 筆跡ハ答案書類ニ付キ能クテ定ム

第七條 体格検査ハ左ノ四種ニ分チ甲乙種ヲ合格トシ丙丁種ハ不合格トス其丙種ハ醫員ノ診斷豫定日數ヲ經過ノ後再願セシムルコトヲ得ルモ丁種ハ再願ヲナサシムルコトヲ得ス

甲種 身体常体ニシテ異常ナキモノ

乙種 輕少ナル異常アルモ勞役ニ差支サルモノ

丙種 疾病アルモ治療見込アルモノ

丁種 巡視採用規則第三條ニ抵触スルモノ

一、巡視志願書

二、履歴書

第二條 志願者ノ体格ハ醫員ヲシテ検査セシム合格ノ者ハ技藝ノ検査ヲナスハシ検査醫員ハ巡視採用規則第四條ノ検査ヲ遂ケ巡視採用試験明細表ニ記入署名捺印スヘシ

第三條 試験施行ハ必要ニ應シ市役所及各區役所派出所ニ揭示スヘシ

第四條 試験掛ハ志願者ニ對シ技藝ノ試験ヲ爲スニ先チ左ノ事項及必要ト認ムル點ニ付質問スヘシ

一 從來生計ノ模様

二 巡視職務實際上ノ困難ヲ述ヘ之ニ堪忍シ得ルヤ

三 平素品行ヲ正クシ猥リニ金錢ヲ借り又ハ物ヲ買ヒ其ノ代チ借ル等ノコトナキヤ

四 前職包鹹又ハ處刑ヲ受ケタル事ナキヤ

第五條 前條ニ對スル言辭曖昧ニシテ信川シ難キト認ムルモノハ試験ヲナサス志願書ヲ却下スルコトアルヘシ

第六條 巡視採用規則第四條技藝ノ試験ヲナスニハ一同試験場ニ着席セシメ左ノ方法及時間ニ依ルヘシ

第八條 試験成績ヲ左ノ三種ニ分チ甲乙種ヲ及第トシ丙種ヲ落第トス其技藝試験ニ落第ノモノハ三十日ヲ經過スルニ非サレハ再ヒ施行スヘカラス但シ落第シタルモノニハ

凡テ志願書ヲ却下スヘシ
甲種 体格合格ニシテ技藝各科目ニ通シ優等ナルモノ
乙種 体格合格ニシテ技藝各科目ノ中ニ欠點アルモ法令規則ヲ相當ニ解讀シ及摘要執行シ得ル腦力ヲ有スルモノ
丙種 体格合格ナルモ技藝不完全ナルモノ

第九條 試験掛ハ試験成績ヲ巡視採用試験成績一覽表ニ記入シ市長ノ檢閱ニ供スヘシ

第十條 前條ノ手續ヲ了リタルトキハ身分取調表ニ依リ巡視採用規則第二條各項ニ抵触ノ有無其他前職取調方ヲ照會シ差支ナキモノハ巡視採用試験成績明細表ニ立會者ト署名捺印ノ上具申ノ手續ヲナスヘシ

(用紙美濃紙)
一、掃除巡視志願書
私儀當市巡視志願ニ付御試験ノ上御採用被下度別紙履歴書相添ヘ此段奉願候也

何府縣何郡何町何番屋敷某方寄留 何府縣何郡何町何番屋敷身分主 (或ハ某長次) (或ハ兄弟弟)		出生ノ地 一教育ヲ受ケシ書目 一技 術 一明治何年何月何日何々申付ラル 何府縣 一明治何年何月何日何々昇給 全 上 一明治何年何月何日依願免職 全 上 一賞 罰 右之通相違無之候也
何府縣身分主 (或ハ何長次) (或ハ兄弟弟)	何 某 某 某 何 某	年 月 日 年 月 日 年 月 日
大阪市長宛 履 歷 書	何府縣身分主 (或ハ何長次) (或ハ兄弟弟)	年 月 日
巡視試驗成績一覽表 (年月日舉行)		
最近生活	身 幹 體 質	技 藝 前 職 身 族 籍 分 姓 名 滿 年 齡

巡視採用成績明細表

種	體 質	身 幹	胸圍及呼吸縮長ノ差	視 力	辨 色 力	聽 力	言 語	精 神	成 績
	體 質	身 幹	胸圍及呼吸縮長ノ差	視 力	辨 色 力	聽 力	言 語	精 神	成 績
種									年 月 日 生

右検査メ

年 月 日	技					備 考
	汚物掃除法及諸規定	作	文	算	術	
年 月 日	成 績	掃除監督長				
		立會				
年 月 日	成 績	掃除監督				
		立會				
年 月 日	成 績	掃除監督				
		立會				
年 月 日	成 績	原籍氏				
		年 月 日生				

右検査候處及第ノモノト確認候也

年 月 日

第 號

掃除監督長
立會
掃除監督
立會
掃除監督
立會

原籍氏

年 月 日生

右ハ當市掃除巡視志願ニ付左ノ各項詳細御取調ノ上相當欄内餘白ニ御記入至急御回答相成度此段及御照會候也

年 月 日

市 區 役 所 町 村 役 場 宛

大 阪 市 役 所

原籍身分氏名生年月日ハ肩書ノ通りナルヤ	職 業	生活ノ景况及家族又ハ父兄ノ職業如何	徴兵相當又ハ豫備後備兵役中ノモノナルヤ如何	重罪ノ刑又ハ重禁錮ノ刑ニ處セラレ若シクハ全上ノ刑ニ處セラレヘキ罪ヲ犯シ單ニ監視ニ付セラレタルヤ及輕禁錮ノ刑ニ處セラレ滿期後五ケ年ヲ經過セサルヤ又ハ舊法ニ依リ施体ノ刑ニ處セラレタルモノナルヤ如何	賭博犯處分規則ニヨリ懲罰ニ處セラレタルモノナルヤ如何	身代限リノ處分ヲ受ケテ辨償ノ義務ヲ終ヘサルヤ如何
---------------------	-----	-------------------	-----------------------	--	----------------------------	--------------------------

家族中犯罪ノ嫌疑若クハ前科アルモノニ非ラス
且ツ家事ノ都合ニ依リ永ク奉職シ難キ事情ナ
キヤ

第 號

右各項取調ノ上御回答ニ及ビ候也

年 月 日

大阪市役所宛

第三章 給 與

第一節 給料及雜給

●市吏員給料規程

明治卅一年十月十三日
大阪市告示第二十八號

本市會ノ議決ヲ經テ市吏員給料規程左ノ通り相定ム
市吏員給料規程

市制第七十六條ニ依リ右給吏員ノ給料額ヲ定ムルコト左ノ
如シ

市 長 年給 參千五百圓

助 役 年給 千貳百圓以上參千圓以下
(明治卅八年四月十一日
大阪市告示第廿二號改正)

收入 役 年給 千貳百圓以上貳千圓以下(全上)

主 事 年給 七百圓以上千五百圓以下
(明治四十年三月六日
大阪市告示第八號追加)

技師、視學 年給 六百圓以上四千圓以下(全上改正)

書 記 月給 拾貳圓以上百圓以下(全上)

技 手 全

(全上)

●給料支給規則

明治廿二年十月一日
大阪市告示第六號

本市會ノ議決ヲ經テ給料支給規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

給料支給規則

第一條 給料ハ毎月下旬左ノ區分ニ依リ之ヲ給ス但其期日

ハ市參事會之ヲ定ム

年給ハ其十二分ノ一

月給ハ其月分

日給ハ前月二十一日ヨリ其月二十日迄ノ分

第二條 新任ハ職務ニ就キタル當日ヨリ轉任又ハ増給減給

ハ發令ノ翌日ヨリ起算シ其月分ハ日割ヲ以テ之ヲ給ス

退職解職又ハ死亡シタルモノハ其月分ノ給料全額ヲ給ス

第三條 退職又ハ解職ノ者事務引繼殘務取調ノ爲メ特ニ命

ヲ承ケ公務ニ従事スルトキハ其間尙従前ノ給料ヲ給ス

第四條 願請休暇旅行其他事故(自己ノ病氣ヲ除ク)ニ由リ
執務セサルモノ日數三十日以後ハ日割ヲ以テ其給料ノ半
額ヲ減ス

病氣引籠又ハ轉地療養ノ爲メ執務セサルモノ日數九十日
以後ハ日割ヲ以テ其給料ノ半額ヲ減ス但公務ノ爲負傷シ

又ハ疾病ニ罹リタルモノハ此限ニアラス

第五條 日割計算法ハ其月ノ現日數ニ依ル

第六條 日給ハ執務ノ日數ニ依リ之ヲ給ス休日若クハ公務
ノ爲メ負傷シ又ハ疾病ニ罹リタルモノハ執務セスト雖ト

モ之ヲ給ス但休日ハ其前日執務セシモノニアラサレハ之
ヲ給セス

第七條 日給ヲ支給スルモノ、内本則第一條ニ依リ難キ事
情アルトキ市參事會ハ便宜之ヲ數回ニ分チテ支給スルコ
トヲ得

●給料支給期日

明治廿六年七月廿日
大阪市訓令參一第二號

内務部各課
水道敷設事務所
區役所
商業學校
飲水試驗所

今般本市給料支給定日左ノ通相定ム
但休日ニ當ルトキハ繰下トス
一年給及月給ハ毎月二十一日
一日給ハ毎月二十五日

**下水溝渠浚渫事業ニ要スル
常備人夫給支拂定日**

明治廿二年四月六日
市參事會決定
前月廿一日ヨリ其月五日迄ノ分 其月十日 日支給
其月六日ヨリ全二十日迄ノ分 其月廿六日支給
但支給當日休職日ニ當ルトキハ何レモ繰下ケトス

傳染病發生ノ爲交通ヲ遮斷セラシメハ執務セスト雖トモ
其日數ニ應シ給料ヲ支給スルモノトス

備員忌引中ニ係ル

給料支結方 明治廿八年五月廿九日
一 第三九七號

本市備員其他日給支給ノモノ忌引中ニ係ル給料ハ支給可相
成ニ付右様御取扱相成度市參事會ノ決議ヲ經此段及御通牒
候也

大阪府内務部第一課

四區役所 内務部各課
水道事務所 築港取調所 衛生課宛

**ペスト病豫防救治ニ從事
スル吏員手當給與方**

明治廿三年一月廿九日
大阪市政府示第八號

**豫備後備ノ軍籍ニ在ルモノ
戰時若クハ事變ニ際シ召集
セラレ休職トナリタルキ給
料支給方**

明治廿七年九月十二日
大阪市政府示參第二二號
豫備後備ノ軍籍ニ在ル本市有給吏員商業學校高等女學校職
員(雇員ヲ)ニシテ戰時若クハ事變ニ際シ召集セラレ休職ト
ナリタルトキハ其翌月ヨリ給料ノ支給ヲ停止ス
但服役ノ爲受クル給額召集當時ノ給額ヨリ寡少ナルト
キハ召集ノ翌月ヨリ三ヶ月間其不足額ハ本市ヨリ之ヲ
支給ス

交通遮斷中ニ係ル

給料支給方 明治廿八年七月十一日
市參事會決定

ペスト病豫防救治ニ從事スル市區吏員(巡視員ヲ除ク)ニハ
其勤務ノ日數ニ應シ各給料ノ全額以内ノ手當ヲ給與スルコ
トヲ得

但給與ノ金額及期間ハ市參事會之ヲ定ム

**傳染病豫防救治ニ從事スル
吏員へ月手當給與方**

明治廿八年六月二十日
大阪市政府示參第二九號

本市會ノ議決ヲ經テ傳染病豫防救治ニ從事スル本市有給吏
員月手當給與方左ノ通相定ム
傳染病豫防救治ニ從事スル本市有給吏員ニシテ專ラ該病者
又ハ病毒汚染ノ虞アル物品ニ接近スル者ニハ市參事會ニ於
テ各其給料月額三分一以内ノ月手當ヲ給スルコトヲ得

● 傳染病感染及死亡者手當

給與規則

明治廿三年八月廿七日
大阪市告示第四二號

本市會ノ議決ヲ經テ傳染病感染及死亡者手當規則ヲ定ムルコト左ノ如シ

傳染病感染者及死亡者手當給與規則

第一條 凡傳染病アル節豫防救治ノ方法ヲ施行スル爲メ市吏員及市費ヲ以テ僱使スル醫員藥劑手書記小便看護人其

他人足等該病毎ニ感染又ハ死亡スルモノアルトキハ此規則ニ依リ手當金ヲ支給ス
第二條 手當金ヲ分テ療治料救助料埋葬料遺族扶助料ノ四種トシ病者ハ療治料死者ハ埋葬料及遺族扶助料ヲ支給ス
第三條 手當金ハ其月給ノ多寡ニ因リ左表ノ等級ニ應シテ支給スハシ但年給ノ者ハ其十二分ノ一日給ノ者ハ一ヶ月ヲ三十日ト見做シ之ニ乘シタル金額ヲ以テ本條ノ等差ニ準ス

等級	月俸額	療治料	救助料	埋葬料	遺族扶助料
一	百圓以上	一日ニ付壹圓	月俸額一ヶ月分乃至五ヶ月分	參拾五圓	百五拾圓
二	七拾圓以上	同	同	參拾圓	百貳拾五圓
三	五拾圓以上	同	同	貳拾五圓	百圓
四	貳拾圓以上	同	同	貳拾圓	八拾圓
五	拾圓以上	同	同	拾五圓	六拾圓
六	拾圓未満	同	同	拾圓	四拾圓

第四條 療治料ハ自宅ニ於テ治療スルモノニ給シ其遺病院ニ入ルモノハ支給セズ

第五條 救助料ハ病狀ノ輕重ヲ酌量シ支給スルモノトス

第六條 埋葬料ハ遺族ニ支給ス若シ獨身ニシテ親戚ナキモノハ其同僚又ハ區長ニ之ヲ下付シ埋葬費ニ充テシムルモノトス

第七條 遺族扶助料ハ戶主ニシテ家族ナキ者及非戶主ニシテ妻子ナキ者ハ支給セズ其死者非戶主ニシテ妻子ナキ者ト雖モ從來死者ニ依リ生計ヲ立テタル遺族一戶籍内アルトキハ之レヲ支給ス

ハスト病患者ヲ收容スル本市傳染病院職員以下左ノ各項ニ依リ手當ヲ給スルコトヲ得

但手當ノ金額及給與ノ期間ハ市參事會之ヲ定ム

一 職員并ニ使丁消毒夫洗濯婦及牧夫等ハ各給料倍額迄
二 看護婦ハ一日貳圓迄

● 桃山病院職員以下手當

明治廿三年一月二十日
訓 衛 第 八 號

市立桃山病院長

本年本市告示第一號ニ據リ其院職員以下ニ對スル手當ハ明治三十三年一月九日ヨリ各出務日數ニ依リ支給ス

● 傳染病院職員以下手當

給與規程

明治廿三年一月十二日
大阪市告示第一號

本市會ノ議決ヲ經テ傳染病院職員以下手當給與規程ヲ定ムルコト左ノ如シ

傳染病院職員以下手當給與規程

● 報酬支給規則

明治廿三年六月四日
大阪市告示參第貳號

本市會ノ議決ヲ經テ報酬支給規則ヲ定ムルコト左ノ如シ
報酬支給規則

名譽職員報酬ハ給料支給規則ニ依リ支給スルモノトス

報酬計算方

明治廿六年七月十一日 郡乙第一八〇號

本市給料支給規則ニ依リ名譽職員ノ報酬ヲ支給セラル、場合ニ於テ同規則第二條就職ニ關スル區分ハ左ノ通り取扱相成可然存候參事會ノ決議ヲ經此段及御通達候也

内務部 長

四區長宛

一名譽職員ハ當選告知ヲ受ケタル日ヲ以テ就職ノ日トシ報酬ヲ支給スルモノトス但五日以内ニ當選ヲ辭シタルモノニシテ就職ノ事實ナキモノハ支給スルノ限ニアラス

名譽職員實費辨償規程

明治廿四年三月十五日 大阪市會議決

第一條 名譽職員職務ノ爲メ要スル實費ノ辨償額ヲ定ムル

市參事會員	年	額	金參百圓
市會議員	年	額	金百八拾圓
其他名譽職員	職務日數一日ニ付	金壹圓	
二箇以上ノ職ヲ帶フルモノニシテ之レカ實費辨償額ノ内	年額又ハ年額ト日額ニ依ルヘキモノアルトキハ最高ノ	年額一ヲ交附ス	
第二條	年額ハ毎年四月ヨリ翌年三月迄ヲ一期トシ毎月下旬其十二分ノ一ヲ交附ス		
新ニ當選シタルモノハ其日ヨリ又退職解任等ノモノハ其日迄ノ分ヲ各日割ニ依テ交附ス			
第三條	第一條第二項ニ該當スルモノニシテ年額ノ増減スヘキ事實ノ生シタルトキハ日割ヲ以テ増減シ之ヲ交附ス		
第四條	前二條ノ場合ニ於テ日割ノ計算ヲ爲スハ其月ノ現日數ニ依ル		
第五條	市外旅行ニ對スル實費辨償額ハ旅費規則ノ定ムル所ニ依ル		
第六條	執務ノ日數ニ應シテ交附スル實費辨償額ノ交附期日		

二徹夜勤務セシ者 市有給吏員及諸職員 全 金四拾錢 使丁諸職工及人夫 全 金貳拾錢

旅費規則

明治卅一年二月廿六日 大阪市告示參第四號

本市會ノ議決ヲ經テ明治二十二年十月大阪市告示第七號旅費規則ヲ左ノ通改正ス

第一章 總則

第一條 旅費ハ公務ニ依リ旅行ヲ要スルトキ其旅行中一切ノ費用ニ充ツル爲メ之ヲ支給ス

第二條 內國旅費ハ分テ五等トシ第一號表ニ照シ順路ニヨリ之ヲ支給ス

第三條 汽車旅行ハ哩數ニ應シテ汽車賃ヲ水路旅行ハ海里數ニ應シテ船賃ヲ其他ノ旅行ハ陸路旅行トシ里數ニ應シテ車馬賃ヲ支給ス

宿泊料ハ夜數ニ應シ日當八日數ニ應シテ之ヲ支給ス但水

名譽職員死亡ノ場合實費辨償額交付方

明治卅九年三月一日 市參事會決定

本市名譽職員死亡ノ場合ニ於ケル實費辨償額ハ其死亡月ノ全額ヲ支給スルモノトス

賄料支給規程

明治四十年三月六日 大阪市告示第九號

本市有給吏員諸職員及使丁等ニ支給スヘキ賄料ハ左ノ區別ニ依リ之ヲ支給ス但時宜ニ依リ代料ヲ支給セス現品ヲ給スルコトアルヘシ 一宿直セシ者 市有給吏員及諸職員一人一度 金四拾錢 使丁諸職工及人夫 全 金貳拾錢

路旅行ニハ宿泊料ヲ支給セス
市用ノ船舶ニテ旅行シ市ヨリ賄ヲ爲サ、ルトキハ食卓料
ヲ支給ス

第四條 市用ノ舟車馬等ニテ旅行スルトキハ本則ノ汽車賃
船賃車馬賃ヲ支給セス

第五條 旅行ノ性質又ハ其他ノ事故ニ依リ定額ノ汽車賃船
賃車馬賃ヲ以テ支辨シ難キ場合ニ於テハ其實費ヲ支給ス
ルコトヲ得

第六條 汽車賃船賃車馬賃ハ旅行ノ種類毎ニ經過セシ路程
ヲ合算シテ之ヲ支給シ其路程ノ一位ニ滿タサル端數ハ切
捨トス

第七條 年度若クハ日ニ依リ旅費ヲ區分シテ計算スルノ必
要アル場合ニ於テ汽車若クハ水路ノ旅行等其ノ區分判明
ナラサルトキハ最近ノ到達地ニ著シタル日ヲ以テ其路程
ヲ區別シテ計算ス

第八條 陸路六里未滿汽車十哩未滿水路十海里未滿ノ旅行
ニハ日當ヲ支給セス但公務ノ都合ニ依リ宿泊シタルトキ
ハ日當及宿泊料ヲ併セ支給ス

前職相當ノ旅費ヲ支給ス
第十五條 新任用スル爲メ召喚スルトキハ新任職相當ノ
旅費ヲ支給ス

第三章 外國旅費

第十六條 外國旅費ハ船舶料、汽車料、客舍料、食卓料、
日當及支度料ノ六種トス

第十七條 客舍料、食卓料、日當、支度料ハ分テ四等トシ
第二號表ニ照シテ之ヲ支給シ船舶料、汽車料ハ第三號表
ニ照シテ之ヲ支給ス

第十八條 第三號表以外ノ地ニ旅行スルトキハ左ノ區別ニ
依リ汽船賃、汽車賃ヲ支給ス

第二號表中ノ一等乃至三等ニ相當スルモノノ汽車汽船賃
ノ一等定價

同上四等ニ相當スルモノノ汽車汽船賃ノ二等定價
汽船賃又ハ汽車賃ニ二等定價ノナキ場合ニ於テハ凡テ一
等定價ヲ以テ支給スルモノトス

汽車汽船ノ設ケナキ地方ヲ旅行スルトキハ舟、車、馬賃
ノ實費ヲ支給ス

第九條 市内ヲ巡回シ遠距離ニ涉ルトキハ一日五拾錢以内
ノ車馬賃ヲ支給スルコトヲ得

第十條 旅行中私事ノ爲メ許可ヲ得テ迂路ヲ通過スルモ其
旅費ハ順路ノ路程ニ應シテ之ヲ支給ス

第十一條 旅行中退職又ハ死亡シタルモノニハ前職相當ノ
額ヲ以テ舊在職地マテノ旅費ヲ支給ス但自己ノ便宜又ハ
刑事裁判若クハ懲戒處分ニ依リテ退職シタルモノハ此限
ニアラス

第十二條 前二條ノ場合ニ於テ日數ノ計算方ハ汽車旅行ハ
一日二百哩水路旅行ハ一日百海里諸陸路旅行ハ一日十
二里計トス但數種ノ旅行相跨ルルハ各其ノ路程十二分ノ
一ヲ以テ一時間ノ行程トシ一日ノ旅行ヲ十二時間トス
但通算上ヨリ生スル一日未滿ノ端數ハ一日トシテ之ヲ計
算ス

第十三條 公務ノ種類ニ依リ常時出張ヲ要スル者ニ對シ市
參事會ハ特ニ其旅費額ヲ定メ月額又ハ日額ヲ以テ之ヲ支
給スルコトヲ得

第十四條 優務取扱等ノ爲メ退職者ニ旅行ヲ命スルトキハ
定額及實費ヲ支給スル場合ニ於テ私有荷物三十五頁目マ
テノ運賃ハ市費ヲ以テ支給スルコトヲ得

本條ノ場合ニ於テハ旅行者ヨリ旅行日記并ニ受取書等精確
ナル證明書ヲ出サシメ之ニ基キ支給スヘシ

第十九條 旅行者ハ旅行日記ヲ作り日々ノ行程、宿泊ノ場
所、旅店名稱、船名、賃銀等ヲ記入スヘシ

旅行者ハ成ルヘク運輸會社或ハ運輸營業人ノ受取書其他
船、車、馬賃ノ證明トナルヘキモノヲ取置クヘシ

第二十條 船泊料、汽車料ハ市ヨリ船、車ヲ供スルトキハ之
ヲ支給セス

第二十一條 食卓料ハ市ヨリ船舶ヲ供スルモ賄ヲ爲サ、ル
トキニ限り航海ノ日數ニ應シテ之ヲ支給ス食卓料ハ客舍
料ト重複ニ支給セス

第二十二條 客舍料ハ陸地宿泊ノ數ニ應シテ之ヲ支給ス
航海途中汽船ノ寄港シタル場合ニ於テ自己ノ便宜ニ依リ
上陸宿泊スルトキハ客舍料ヲ支給セス

第二十三條 日當ハ本邦出發港拔錨ノ日ヨリ本邦到着港ニ
投錨ノ日マテ日數ニ應シテ之ヲ支給ス

第三類 行政 第三章 給與

一三六

第二十四條 支度料ハ市参事會ニ於テ旅程ノ遠近日數ノ多少公務ノ性質等ヲ斟酌シ第二號表ニ掲ケル範圍ニ依リ相當ノ額ヲ定メテ之ヲ支給スヘシ
支度料ハ本邦ヨリ外國ニ旅行スルトキニ限り之ヲ支給シ其外國ニ在リテハ甲國ヨリ乙國ニ旅行スルコトアルモ之ヲ支給セサルモノトス
第二十五條 外國ニ旅行スルモノ從者ヲ伴フトキハ其一人ニ限り雇員相當ノ船舶料、汽車料、及食卓料ヲ支給スルコトヲ得
但船舶料、汽車料第三號表以外ノ地ニ旅行スルトキハ第十九條ノ例ニ依ル
第二十六條 外國ニ旅行スヘキモノ其出發前死亡又ハ市ノ都合ニ依リ旅行ヲ止メタルトキハ支度料ノ半額ヲ支給ス
第二十七條 外國旅行中退職シタルモノハ其任期滿限若クハ令達ヲ受ケタル日ヨリ四週間以内ニ其所在地ヲ出發シテ歸朝スルトキハ其地ヨリ本邦出發地マテ前職相當ノ旅費ヲ給ス但自己ノ便宜又ハ刑事裁判若クハ懲戒處分ニ依リテ退職シタルモノハ此限リニアラス

外國旅行中死亡ノ者ハ其地ヨリ本邦出發港マテ前職ニ相當スル第三號表汽車料船舶料ノ一割増ヲ支給シ第二號表ノ旅費ハ之ヲ支給セス
第二十八條 外國旅行中許可ヲ得テ公務ヲ終ルノ後尙ハ事ノ爲メ滞在スルトキハ其間ハ一切旅費ヲ支給セス
但病氣ハ此限ニアラス
許可ヲ得テ私事ノ爲メ迂路ヲ經過スルトキハ其迂路ニ就キタル日若クハ場所ヨリ其再ヒ前路ニ就クノ日若クハ場所マテハ前路ニ應スル船舶料、汽車料ノ一割増ヲ支給シ且當、容舍料ヲ支給セス
第二十九條 第二十七條及第二十八條ニヨリ死亡者及許可ヲ得テ迂路ヲ經過スル者ニ順路船舶料、汽車料ヲ支給スルトキ第三號表以外ノ地ニ於テハ陸地ハ一里ニ付金七錢、海路ハ一海里ニ付金六錢ノ割ヲ以テ支給ス
第三號表以外ノ地ノ里程ハ各地運輸會社又ハ各國政府ノ公認セル里程表ニ基キ旅行者又ハ遺族ヨリ精確ノ證明書ヲ出サシムルモノトス
第三十條 外國旅費ハ內國旅費ト重複ニ支給スルコトナシ

第三十一條 外國旅行ノ爲メ本邦内ヲ通過シ及出發港ニ留テ在スルトキハ第二章ノ內國旅費ヲ支給ス
第三十二條 出發港、拔錨ノ後郵船ノ都合ニ依リ本邦内ニ寄港シ上陸滞在スルトキハ其間ハ第二章ノ定ムル所ニ依リ日當及宿泊料ヲ支給ス
第三十三條 歸朝ノ際目的ノ港ニ達スヘキ直航船ナキカ爲一旦本邦内ニ寄港シ其地ヨリ瀛船ヲ乘替ルトキハ其寄港シタル日以後ニ於ケル旅行ニ就テハ第二章ノ內國旅費ヲ支給ス

第四章 附則

第一 驛表

等級	區別	車馬費	宿泊料	日當	食卓料
一等	市長、助役、名譽職、市参事會員、委員、收入役、工事長	一哩 二付	一夜 二付	一日 二付	一日 二付
二等	區長、所長、病院長、工師長、技師、工師、部長、經理、課長	一哩 二付	一夜 二付	一日 二付	一日 二付
		六錢	貳圓	壹圓五拾錢	壹圓五拾錢
		五錢	壹圓五拾錢	壹圓	壹圓貳拾錢

第三十四條 雇員ニシテ特別ノ取扱ヲ要スルモノ(外國人ノ爲)及其他別表中ニ記載セサル者ニ旅費ヲ支給スルノ必要アルトキハ市参事會ニ於テ其額ヲ定ムヘキモノトス
二等旅費ヲ支給スヘキモノニシテ給料年額貳千五百圓以上ノモノニハ一等旅費ヲ給ス
東京市ニ出張スヘキモノニハ宿泊料及日當ニ限り定額ノ二分ノ一ヲ増給ス
第三十五條 本則ハ公市ノ日ヨリ之ヲ施行ス
但本則施行前ヨリ旅行中ニ在ルモノハ其歸朝ノ日マテ尙ホ從前ノ規則ニ依リテ其旅費ヲ支給ス

三等	二等	一等	等旅級費	區別		食卓料	日當	支度料
				客	舍料			
書記、事務員、技手、水道事務所工手、測量手、醫長、醫員、調劑手、船長、運轉士、機關長、機關士、機關手	區長、所長、病院長、工師長、技師、工師部長、經理課長	市長、助役、名譽職市參事會委員、收入役、工事長	區	諸外國	支那朝鮮			
七圓五拾錢	九圓	拾圓五拾錢				壹圓五拾錢	四圓五拾錢	四百五拾圓以內
四圓	五圓	六圓				壹圓貳拾錢	四圓五拾錢	四百五拾圓以內
四圓	壹圓貳拾錢	參圓五拾錢				貳圓	參圓五拾錢	參百五拾圓以內
貳圓	參圓	四圓				貳圓	四圓	貳百圓以內

第一二號表

第三號表ノ甲 船舶料

四等	橫濱	元山	釜山	仁川	浦蘆斯德	天津	牛莊	料	
								六圓	三圓
雇員、助手、市役所工手、工手見習、機關手見習、看護婦								七圓	拾圓
								五圓	拾貳圓
								七圓	拾圓
								八圓	拾六圓
								九圓	拾八圓
								六圓	拾八圓

市長、助役、名譽職市參事會委員、委員、收入役、工事長、區長、所長、病院長、工師長、技師、工師部長、經理課長、書記、事務員、技手、水道事務所工手、測量手、醫長、醫員、調劑手、船長、運轉士、機關長、機關士、機關手

雇員、助手、市役所工手、工手見習、機關手見習、看護婦

全	芝罘	間	八拾五圓	五拾九圓
全	上海	間	七拾圓	四拾參圓
神戶	元山	間	五拾五圓	參拾九圓
全	釜山	間	參拾六圓	貳拾六圓
全	仁川	間	五拾五圓	參拾九圓
全	浦鹽斯德	間	七拾圓	四拾九圓
全	天津	間	八拾貳圓	五拾九圓
全	芝罘	間	六拾九圓	五拾貳圓
全	上海	間	五拾五圓	參拾四圓
橫濱	香港	間	九拾八圓	六拾五圓
全	柴棍	間	百六拾貳圓	百拾壹圓
全	新嘉坡	間	百七拾六圓	百拾七圓
全	ベナン	間	貳百貳圓	百四拾參圓
全	カルカタ	間	參百六拾四圓	貳百四拾四圓
全	マドラス	間	參百拾貳圓	貳百貳拾壹圓
全	ボンベイ	間	貳百九拾參圓	百九拾五圓
全	コロンボ	間	貳百九拾參圓	百九拾五圓
全	アデン	間	四百參拾四圓	參百貳拾五圓
全	ポートサイド	間	五百九拾參圓	參百九拾五圓
全	マルセイユ	間	六百參拾七圓	四百貳拾參圓
全	ウエニス	間	六百參拾七圓	四百貳拾參圓
全	アリシテメン	間	六百參拾七圓	參百六拾參圓
全	マニラ	間	百六拾參圓	七拾四圓
全	パタゴヤ	間	貳百六拾圓	百七拾參圓
全	サウスアライランド	間	參百拾壹圓	百九拾五圓
全	タウンズビル	間	四百拾貳圓	貳百七拾貳圓

全	ナールブル	間	九	拾	六	圓	六	拾	六	圓		
全	維也納	間	七	拾	七	圓	六	拾	圓			
全	ストックホルム	間	百	拾	八	圓	八	拾	貳	圓		
全	クリスチアナ	間	百	拾	六	圓	八	拾	六	圓		
全	コンスタンチノープル	間	百	八	拾	貳	圓	百	參	拾	六	圓
全	聖彼得堡	間	百	參	拾	圓	九	拾	貳	圓		
全	マドリット	間	八	拾	參	圓	五	拾	九	圓		
全	リスボン	間	百	七	圓	七	拾	八	圓			
倫敦	ベルン	間	六	拾	七	圓	五	拾	圓			
全	コッペンハーゲン	間	八	拾	七	圓	七	拾	七	圓		
全	聖彼得堡	間	百	五	拾	圓	百	七	拾	七	圓	
伯林	維也納	間	參	拾	六	圓	貳	拾	七	圓		

全	ブラッセル	間	四	拾	貳	圓	參	拾	貳	圓
全	倫敦	間	七	拾	六	圓	五	拾	五	圓
全	アムステルダム	間	參	拾	貳	圓	貳	拾	四	圓
全	聖彼得堡	間	八	拾	貳	圓	五	拾	五	圓
維也納	ヴェニス	間	貳	拾	九	圓	貳	拾	圓	
全	トリースト	間	貳	拾	五	圓	拾	七	圓	
全	トリーストヴェニス	間	拾	貳	圓	九	拾	圓		
羅馬	ナールブル	間	拾	四	圓	拾	圓			
全	ヴェニス	間	參	拾	五	圓	貳	拾	四	圓
聖彼得堡	維也納	間	九	拾	五	圓	五	拾	九	圓
全	莫斯科	間	參	拾	圓	拾	八	圓		
全	ナテッサ	間	百	拾	貳	圓	六	拾	七	圓

全	アホー港	間	參拾貳圓	貳拾壹圓
ストツクホルム	マルモ	間	參拾七圓	貳拾參圓
コッペンハーゲン	コルセル	間	五圓	四圓
桑	港	間	貳百拾參圓	百八拾貳圓
セアトル	シカゴ	間	貳百參拾七圓	貳百壹圓
全	コロンプス	間	百四拾七圓	百參拾四圓
紐育	シカゴ	間	百七拾八圓	百五拾參圓
紐育	シカゴ	間	五拾貳圓	五拾圓

掃除監視吏員旅費支給方

明治廿六年十一月二日 市參事會決定

棧橋長全助手旅費支給方

明治廿八年九月十六日 大阪市參事會決定

棧橋長全助手ニシテ公務ノ爲メ旅行ヲ命シタルトキハ棧橋長ハ二等棧橋長助手ハ三等旅費ヲ支給ス

吳海兵團へ入營スヘキ海軍志願兵引卒者出張旅費補足方

明治四十年七月八日市參事會決定指令秘第二六四三號

本年六月十四日付北庶第二二二號四區長連署稟申區書記出張旅費補足ノ件承認ス
 (參照) 本年吳海兵團へ入營スヘキ海軍志願兵引卒セシ各區書記出張旅費ハ國庫支辨トシテ支給ヲ受クルモノ拾七圓四拾壹錢ニ有之候然ルニ本市旅費支給規則ニ依リ計上スレバ六圓五拾七錢ノ差額ヲ生スル次第ニテ之ヲ補足スルモノトシ尙將來同一事件ニ關シテハ區長ニ於テ專行スルコトニ御決定可相成哉

市内巡回車馬賃及特別ノ取扱ヲ要スルモノニ支給スヘキ旅費額

明治卅一年四月廿二日 訓令參第一六號

區役所 築港事務所 商業學校
 市内巡回車馬賃及特別ノ取扱ヲ要スル雇員若クハ囑托員ノ旅費ヲ支給スヘキ場合ハ左ノ定額ニ依ルヘシ
 一 旅費規則第二章第九條ノ車馬賃ヲ給スヘキ必要アル場合ハ左ノ區別ニ依ルヘシ
 一 一里以上二里未満 貳拾錢
 一 二里以上三里未満 參拾錢
 一 三里以上四里未満 四拾錢
 一 四里以上 五拾錢
 二 同第四章第三十四條ノ雇員及市行政又ハ技術上ノ事務取扱ヒテ囑托シタル者ニ對シ公務ノ爲メ旅行ヲ命スルトキハ左ノ區別ニ依リ其旅費ヲ支給スヘシ
 但左ノ區別ニ依リ難キ者ハ其時々之ヲ定ム

第一項 内國旅費

一 囑托ヲ受クル者官吏ナルトキ勅任待遇ノ者モ
ハ一等奏任ハ二等判任ハ三等雇員ハ四等トシ學位
ヲ有スルトキ博士以上ハ一等學士ハ二等トス

第二項 外國旅費

一 前項ニ依リ内國旅費ノ一等乃至三等ヲ支給スヘキ
者ハ市參事會員ト同額トシ其他ハ教員心得以下ト
同額トス

市吏員退隱料條例

明治四十年三月二日
大阪市條例第二號

本市會ニ於テ明治三十年大阪市條例第三號退隱料條例改正
ノ件ヲ議決シ市制第二百一十一條ニ依リ内務大臣ノ許可ヲ得
左ノ通相定ム

退隱料條例

第一條 本市有給吏員退隱シタルトキハ此條例ノ規程ニ依
リ退隱料ヲ給ス

第三條 公務ニ因リ創傷又ハ疾病ヲ受ケ職務ニ堪ヘサル爲
退職ヲ許シタルトキハ在職期間ノ長短ニ拘ハラズ終身退
隱料ヲ給ス

前項ノ場合ニ於テハ創傷又ハ疾病ノ程度ヲ斟酌シ退隱料
年額十分ノ七以內ノ金額ヲ增加退隱料トシテ給スルコト
アルヘシ

第四條 退隱料ノ年額ハ退職當時ノ俸給年額四分ノ一トシ
在職十年ヲ超ル者ニハ四十年ニ至ル迄一年毎ニ俸給年額
四十分ノ一ヲ加給ス

退隱料年額圓位未満ノ數ハ圓位ニ滿タシム
第五條 在職年數ハ就職ノ月ヨリ起算シ退職ノ月ヲ以テ終
トス

再任ノ者ニ在ツテハ前後ノ年數ヲ通算ス
但自己ノ便宜ニ因リ又ハ自己ノ所爲ニ非スシテ職務ニ堪
ヘサルカ爲ニ因ラサル懲戒處分、禁錮以上ノ刑ニ處セラ
レタルノ故ヲ以テ退職シタル後又ハ公權剝奪若クハ停止
ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲メ公判ニ付セラレタルニ因リ
解職シ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル後再ヒ就職シタルモ

リ退隱料ヲ受クルノ權利ヲ有ス

第二條 在職十年以上ノ者左ニ掲クル事項ノ一ニ當ルトキ
ハ終身退隱料ヲ給ス

一 年餘六十年ヲ超ヘ退職ヲ許シタルトキ
二 創傷又ハ疾病ニ因リ職務ニ堪ヘサルカ爲退職ヲ許
シタルトキ

三 廢職又ハ事務ノ都合ニ因リ退職シタルトキ
四 本市ノ公職ニ就任スル爲退職シタルトキ

五 法定任期滿了ニ依リ退職シタルトキ
六 自己ノ所爲ニ非スシテ職務ヲ執ルニ堪ヘサルカ爲
解職シタルトキ

七 市制第九條第四項ニ依リ解職シタルトキ
但公權剝奪若クハ停止ヲ附加スヘキ重罪輕罪ノ爲
公判ニ付セラレタルニ因リ解職シ禁錮以上ノ刑ニ
處セラレタルモノヲ除ク

退隱料ヲ給スヘキ事實カ刑事裁判ノ確定ニ因リテ定マ
ルモノニ在テハ其裁判確定ノ日ヲ待テ解職ノ當時ニ週
リテ退隱料ヲ給ス

ノニ在テハ其前任ノ月數ハ之ヲ在職年數ニ算入セス
第六條 退隱料ハ月割ヲ以テ之ヲ支給シ退職ノ翌月ヨリ始
マリ死亡ノ月ヲ以テ終ルモノトス

第七條 退隱料ハ之ヲ受クヘキ事由ノ生シタル後三ケ年以
內ニ請求スヘシ若シ本條ノ期限内ニ請求セサルトキハ其
權利ヲ失フモノトス

第八條 左ニ掲クル事項ノ一ニ該當スルトキハ退隱料ヲ受
クルノ權利ヲ失フモノトス

一 重罪ノ刑ニ處セラレタルトキ
二 日本臣民タルノ分限ヲ失ヒタルトキ

三 在職中市吏員タルノ休面ヲ汚損スル行爲アリタル
コト發覺シタルトキ

四 第九條又ハ市制第七十九條ニ該當スル事項ヲ隱蔽
シ退隱料ヲ受ケタルコト發覺シタルトキ

第九條 公權ヲ停止セラレタル者ニハ其間退隱料ヲ給セス
第十條 退隱料ヲ受クル者再任ノ後退職シタルトキハ其退
職當時ノ事實ニ因リ退隱料額ヲ算出シ前ノ退隱料額ニ比
較シテ其多キ方ヲ給ス

第十一條 退隱料ヲ受クルノ權利ハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

第十二條 本條例施行ニ必要ナル細則ハ市參事會之ヲ定ム

市吏員退隱料條例施行細則

明治四十年十月二十三日
大阪市告示第七二號

明治三十七年九月十九日日本市告示第四十六號市吏員退隱料條例施行細則左ノ通改正ス

市吏員退隱料條例施行細則

第一條 退隱料ヲ受クヘキ者ハ退隱料請求書ニ在職中ノ履歷書及戶籍ノ謄本ヲ添ヘ請求スヘシ

退隱料條例第三條第一項ニ依リ之ヲ請求スル者ハ前項ノ外醫師ノ診斷書及其事實ヲ證スルニ足ルヘキ書類ヲ添付スヘシ

第二條 前條ノ請求ニ理由アリト認メタルトキハ退隱料請求書ヲ交付ス但證書謄形ハ別紙ノ通トス

第三條 退隱料ハ年額ヲ四分シ三月、六月、九月及十二月ノ末日ニ當月分及前二ヶ月分ヲ支給ス但權利消滅又ハ停止

ノ場合ハ此限ニアラス

第四條 退隱料ヲ受領セントスルトキハ毎回退隱料證書及戶籍謄本又ハ抄本ヲ提供スヘシ但戶籍謄本及抄本ハ之ヲ返還セス

第五條 市制第七十九條、退隱料條例第八條又ハ同第九條

ニ該當スル者ノ退隱料ノ支給ノ終始ハ左ノ各號ニ據ル

一 重罪ノ刑ニ處セラレタルトキハ確定裁判ノ宣告ヲ受ケタル日、日本臣民タルノ分限ヲ失ヒタルトキハ其失ヒタル日ヲ以テ支給ヲ終ル

二 在職中市吏員タルノ体面ヲ汚損スルノ行爲アリタルコト發覺シタルトキハ其發覺シタル日ヲ以テ支給ヲ終ル

三 市制第七十九條ニ該當スル事項ヲ隱蔽シ退隱料ヲ受ケタルコト發覺シタルトキハ其發覺ノ日ヲ以テ支給ヲ終ル

四 公權ヲ停止セラレタルトキハ其停止期間開始ノ當日ヲ以テ支給ヲ終リ期間満了ノ翌日ヨリ支給ヲ始ム

五 官職又ハ府縣郡市町村及公共組合ノ職務ニ就キ給料ヲ受クルトキハ給料ノ支給ヲ始ムル前日ヲ以テ支給ヲ終ル

第六條 退隱料條例第三條ニ掲グル增加退隱料支給ノ割合ハ左ノ各號ニ據ル

一 兩眼ヲ盲シ若クハ二肢以上ヲ亡シタルトキ又ハ之ニ準スヘキ傷疾ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタルトキ

十分ノ七

二 一肢ヲ亡シ若クハ二肢ノ用ヲ失ヒタルトキ又ハ之ニ準スヘキ傷疾ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタルトキ

十分ノ五

三 一眼ヲ盲シ若クハ一肢ノ用ヲ失ヒタルトキ又ハ之ニ準スヘキ傷疾ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタルトキ

十分ノ三

前項ニ該當セサル創傷又ハ疾病ニ關スル增加退隱料ノ割合ハ退隱料證書ヲ交付スル場合ニ之ヲ定ム

第七條 退隱料ヲ受クル者重罪ノ刑ニ處セラレ又ハ公權ヲ停止セラレタルトキハ其家族若クハ親族ヨリ確定裁判宣告書ノ寫ヲ添ヘ之ヲ届出ツヘシ

第八條 退隱料ヲ受クル者官職又ハ府縣郡市町村及公共組合ノ職務ニ就キ給料ヲ受クルトキハ就職ノ日ヨリ十日以内ニ其職名及給料ノ支給ヲ始ムル日ヲ附記シ又退職シタルトキハ支給ヲ終リタル日ヲ附記シテ之ヲ届出ツヘシ

第九條 退隱料ヲ受クル者死亡シタルトキハ其家族若クハ親族ヨリ死亡ノ届出ヲ爲スト同時ニ退隱料證書ヲ返納スヘシ

第十條 退隱料ヲ受クル者其權利ヲ失ヒタルトキハ本人、家族若クハ親族ヨリ退隱料證書ヲ返納スヘシ

第十一條 退隱料證書ヲ亡シタル者ハ其事由ヲ附記シテ届出ツヘシ

前項ノ届出ヲ事實ト認メタルトキハ退隱料證書ノ謄本ヲ交付ス但謄本ハ證書ト同一ノ効力ヲ有ス

第十二條 退隱料ヲ受クル者ハ豫メ印鑑證明書ヲ差出スヘシ爾後改印シタルトキ亦同シ

第十三條 退職料ヲ受クル者戶籍又ハ氏名ニ變更ヲ生シタルトキハ直ニ戶籍ノ謄本又ハ抄本ヲ添附シテ届出ツヘシ

表面

退職料證書 書 雛形

裏面

第 號

退職料證書

元大阪市何(職名)

何 某

生年月日

明治年月日退職

明治四十年大阪市條例第二號退職料條例ニ據リ修身退職料年額金ヲ給與ス

明治 年 月 日

大阪市參事會

大阪市市長 姓名 市長之印

御退隱證印

退 隱 料 條 例 全 文

退 隱 料 條 例 施 行 細 則 全 文

●有給吏員諸職員退職者及死亡者給與金規程

明治卅三年四月七日 大阪市告示第三一號

本市會ノ議決ヲ經テ有給吏員諸職員退職者及死亡者給與金規程左ノ通相定ム

有給規程

第一條 本市有給吏員及諸職員在職滿一年以上ニシテ退職シタル者ニハ退職現時ノ給料半箇月分ヲ以テ在職年數ノ一箇年ニ當テ其年數ニ應スル金額ヲ支給シ在職中死亡シタルモノニハ現給ノ三箇月分ニ相當スル金額ヲ遺族ニ給與ス

第二條 有給吏員及諸職員ニシテ退職ノ際給與金ヲ受ケタル者再ヒ就職シ爾後退職シタルトキハ前條ニ掲グル在職年數ハ其再任ノ日ヨリ起算ス

前項ノ給與金トハ本規程第一條及明治二十三年大阪市告示參第七號並ニ明治二十九年大阪市告示參第十二號ニ依

第三條 自己ノ便宜ニ由リ退職シタル者、懲戒處分ニ依リ免職シタル者、又ハ雇及之ニ準スヘキ者ニハ給與セス

第四條 本規程ハ告示ノ日ヨリ施行シ明治二十三年大阪市告示參第七號及明治二十九年大阪市告示參第十二號ハ其日ヨリ廢止ス

●文具給與規定

明治廿五年三月廿四日 大阪市告示參第一二號

本市會ノ議決ヲ經テ明治二十二年大阪市告示第八號文具支給規則本月三十一日限廢止ス但特別ノ文具ヲ要スルトキハ其課係等ノ備トシテ使用セシムルコトヲ得

●課係備付文具品種

明治二十五年三月三十日 大阪市訓令參一第一四號

今般大阪市告示第十二號ヲ以テ明治二十二年大阪市告示第

八號廢止ニ付テハ其但書ニ依リ左記ノ品種ハ特別ノ文具トシ其關係ノ備トシ使用セシムヘシ

- 一 繪ノ具
- 一 ハン軸、ペン先、インキ 明治三十五年四月四日廳達第一一四號、訓令總第二六號改正
- 一 コンニヤク版用インキ

消防組員給與規程

明治廿九年十月五日
大阪市告示第六八號

本市會ノ決議ヲ經テ明治三十年四月十二日大阪市告示參第七號消防組員給與規程左之通改正ス

消防組員給與規程

第一條 消防組員ニ給與スル金品ハ本規程ニ據リ之ヲ支給ス
給料及其他ノ給與金ハ別表第一號、被服及附屬品ノ給與ハ別表第二號ニ據ル

第二條 給料及月手當ハ毎月二十五日之ヲ支給ス

但休日ニ當ルトキハ繰下トス

第三條 給料及月手當ハ新任、増給、減給ハ發令ノ翌日より起算シ轉任、解職ハ辭令ヲ受ケタル當日迄日割ヲ以テ之ヲ支給ス

但死亡シタルトキハ當月分ノ給料又ハ手當ノ金額ヲ支給ス

第四條 職務ニ起因セサル病氣引籠及轉地療養ノ爲メ出務セサルコト九十日、又ハ私事ノ事故ニ依リ出務セサルコト二十日ヲ越ユルトキハ其以後ノ給料又ハ月手當ハ日割ヲ以テ中額ヲ減ス

第五條 出場手當ハ水火災ニ際シ警防ニ從事シタル者ニ之ヲ支給ス

第六條 宿直辨當料ハ宿直シタル者ニ之ヲ支給ス
但宿直者ニシテ警防ノ爲出務シタルトキハ警防辨當料ヲ併セ支給ス

第七條 警防辨當料ハ水火災ニ際シ警防ノ爲メ出務シタルトキ左ノ區分ニ依リ支給ス
一 出務ノ時ヨリ起算シ消防屯所へ歸者迄ノ時間三時間

以テ支給ヲ停止ス

第十二條 歳首出初式ヲ執行シタルトキハ酒肴料一人金貳拾錢ヲ支給ス

第十三條 年末賞與ハ平均一人金貳圓ヲ支給ス

第十四條 被服及附屬品ハ之ヲ貸與シ使用期限ヲ經過シタルモノハ帽章、襟章、袖章、帶革章ヲ除クノ外之ヲ給付ス

第十五條 被服及附屬品ヲ使用スル期限ノ計算ハ貸與ノ月ハ初日ト末日ニ拘ラス一ヶ月ニ計算シ滿期ノ月ハ末日ニ至ラサレハ一ヶ月ニ算入セス

第十六條 故意又ハ過失ニ依リ使用期限中ノ被服及附屬品ヲ毀損又ハ滅失シタルモノハ使用殘期間ニ應シ其價格ヲ賠償セシム其計算ハ別表第三號ニ據ル

第十七條 本規程ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ市參事會ニ於テ之ヲ定ム

別表第一號

給與金ノ部

以內ハ金拾錢

二 三時間以上六時間以内ハ金拾五錢

三 六時間以上ハ一時間ヲ加フル毎ニ金五錢ヲ増給ス

第八條 演習辨當料ハ消防演習ニ從事シタル者ニ之ヲ支給ス

第九條 草鞋料ハ水火災ニ際シ警防ノ爲メ出務シタル者ニ之ヲ支給ス

第十條 靴料ハ左ノ區分ニ依リ支給ス

一 新任者ニ在テハ其月ノ十五日以前ハ全額十六日以後ハ半額

二 解職及死亡者ニ在テハ其月ノ十五日以前ハ半額十六日以後ハ全額

第十一條 職務上傷痕ヲ受ケ又ハ死亡シタルトキハ傷痕引手當、療治料、入院料、藥品繃帶等諸費、負傷者運搬費、廢疾扶助料又ハ死亡吊祭料、遺族扶助料ヲ支給ス

廢疾扶助料、死亡吊祭料及遺族扶助料ハ一時金トシ廢疾扶助料ヲ支給シタルトキハ療養ニ關スル諸費ハ其前日ヲ

名 稱	區 別	組 頭	小 頭	常備消防掛	預備消防掛	機關掛	瀝籠掛
月 手 當	給	自拾八圓 至拾五圓	自拾參圓 至拾壹圓	自八圓 至拾貳圓	參拾錢	自拾八圓 至拾五圓	自拾參圓 至拾壹圓
出 場 手 當	/	/	/	/	拾五錢	/	/
宿 直 辨 當 料	一 夜	錢	錢	上	全	上	上
警 防 辨 當 料	一 度	錢	上	上	全	上	上
演 習 辨 當 料	/	/	/	/	拾錢	/	/
草 鞋 料	/	/	/	/	貳錢五厘	/	/
靴 料	一 月	參拾錢	全	上	/	全	全
死 亡 吊 祭 料	金 貳拾圓	全	上	上	上	上	上

別表第二號 被服及附屬品ノ部

名 稱	區 別	組 頭	小 頭	常備消防掛	預備消防掛	機關掛	瀝籠掛
遺 族 扶 助 料	金 六 拾 圓	全	上	全	全	上	全
廢 疾 扶 助 料	金 五 拾 圓 以 下	全	上	全	全	上	全
藥 品 綁 帶 等	諸 費 實 費	全	上	全	全	上	全
傷 病 引 手 當	/	/	/	/	一 日 貳 拾 五 錢	/	/
負 傷 者 運 搬 費	實 費	全	上	全	全	上	全
入 院 料	實 費	全	上	全	全	上	全
療 治 料	實 費	全	上	全	全	上	全

服			帶	帽		
袖	襟	地	革	頂	地	前
章	章	質		質	質	章
赤毛線八分四 條二分金線一	一條真綿製ニ ツケル消防組 頭字方八分二	冬紺小倉紋羽 裏付 夏茶褐色小倉 單衣	五分前金具 真綿製ニツケ 方一大阪市徽 方一寸八分	真綿製ニツケ ル金具ナ付ス	黒皮製 方一寸八分	真綿製ニツケ ル大阪市徽 方一寸八分
赤毛線八分三 條二分金線一	全	全	全	全	全	全
赤毛線八分三 條	全	全	全	全	全	全
全	幅 一條	紺小倉單衣	全 上	全 上	全 上	全 上
紫毛線八分三 條銀線二分一	全	冬紺小倉紋羽 裏付 夏茶褐色小倉 單衣	全	全	全	全
紫毛線八分三 條	全	全	全	全	全	全
全	全	全	全	全	全	全

別表第三號被服及附屬品使用期限ノ部

名	區	別	使用期限	賠償	價格	手	外		
							袖	釦	地
小頭、常備消防手被服			一ケ年	使用幾期間 冬服ハ一組ニ付一ケ月分衣 夏服ハ一組ニ付一ケ月分衣	金拾五錢 金九錢	襦袢	黒部角五個 襟部五分五厘 四角五分 ナ付ス	眞綿製大阪市徽 章 十個 五分 ナ付ス	眞綿製大阪市徽 章
豫備消防掛被服			全			三ヶ月	全	全	全
小頭以下常備消防掛喇叭掛外套			二ケ年			組	條上	上	上
			全			全	二全	全	全
			全			上	條上	上	上
						六ヶ月			
						組			

組頭以下常備消防手帽子	二ケ年	全	一個ニ付一ケ月分	金四錢
機關掛流鏝掛帽子	一ケ年	全	全	金五錢
豫備消防掛帽子	三ケ年	全	全	金參錢
組頭以下消防手帽子前章	無期限	全	全	金六錢
全 帽ノ綴	三ケ年	全	一枚ニ付一ケ月分	金壹錢五厘
全 (豫備消防掛ヲ除ク)手袋	一組 三ケ月	全	一組ニ付一ケ月分	金四錢
豫備消防掛手袋	一組 六ケ月	全	全	金貳錢
組頭以下消防手帶革	二ケ年	全	全	金壹錢五厘
全 帶革前章	無期限	全	全	金貳拾錢

●消防組員給與取扱細則

明治三十九年三月十四日
大阪府訓令第九號

各消防組

消防組員給與取扱細則別紙ノ通り相定ム

但本則ハ發布ノ日ヨリ施行シ明治三十年四月大阪府訓令

第十九號ハ同日限り廢止ス

消防組員給與取扱細則

第一條 消防組員ニ對スル諸給與取扱方ハ本則ニ依リ處理

スヘシ

第二條 給料、月手當、靴料、宿直辨當料ハ仕譯書ヲ作り

毎月二十一日迄ニ當廳ニ差出スヘシ

但宿直辨當料ハ前月二十一日ヨリ其月二十日迄ノ分ト

ス

第三條 左ノ給與金ハ其時々請求書ヲ作り當廳ニ差出スヘ

シ

一 出場手當

- 二 警防辨當料
- 三 演習辨當料
- 四 草鞋料
- 五 傷痕引手當
- 六 負傷者運搬費
- 七 療治料、藥價、繻帶等ノ費用
- 八 入院料
- 九 前條第五號乃至第八號ノ費用ヲ請求スルトキハ主治醫ノ診斷書ヲ添付シ第七號、第八號ニハ其明細書ヲモ添付スヘシ
- 第十條 各組ニ於テ金品ノ請求又ハ受領ニ關スル代理人ヲ選定シ所屬警察署長ノ承認ヲ得タル委任狀ヲ添ヘ豫メ當廳ニ届出ツヘシ
- 第十一條 拾圓未満ノ物品購入又ハ建物修繕ハ便宜所辨スルコトヲ得
- 第十二條 但建物修繕ニ關シテハ豫算殘額ノ有無ヲ當廳ヘ承合シタル後施行スヘシ
- 第十三條 前條ニ該當セサル物品ノ購入又ハ建物ノ新設修繕

主要スルトキハ理由ヲ具シ當廳ニ申請スヘシ

第八條 備品消耗品ノ經費豫算額ハ當廳ヨリ告知スヘシ

第九條 會計整理ノ爲メ各組ニ左ノ帳簿ヲ備ヘ出納ノ事蹟

並ニ現在高ナ明ニスヘシ

一 豫算差引簿

一 財産原簿

一 消耗品受拂簿

一 被服及附屬品受拂簿

第十條 被服及附屬品備品等ヲ毀損又ハ滅失シタルトキハ

始末書ヲ徴シ所屬警察署長ノ意見ヲ附シテ當廳ニ申告ス

ヘシ

第十一條 減給又ハ賠償ノ處分ヲ受ケタルモノアルトキハ

直ニ本人ヨリ其金額ヲ徴收シ仕譯書ヲ作り當廳ニ送納ス

ヘシ

第十二條 帳簿及證書類ハ別紙書式ニ依リ調製スヘシ

第十三條 不用品ハ返納書ヲ作り品目、員數等ヲ記載シ現

品ト共ニ當廳ニ送納スヘシ

仕 譯 書

一金何程 何月分給料(手当)(打鐘手当)何米外何人分

内 譯

金何程

職氏

名

(何々ニ付増給減給等給額ニ異動アリタルトキハ
其理由及計算ノ基ク所ヲ記入スヘシ)

右之通候也

年月日

何消防組 名

備考 本書ハ組頭、小頭、機關掛、瀧籠掛、消防掛、豫

備消防掛、打鐘手等當廳豫算科目附記ノ區分ニ依

リ調製スヘシ

領 收 證

一金何程 何月分給料(手当)

内 譯

金何程

職氏

名

(但書ハ前書式ニ全シ)

右正ニ領收候也

右代理人 氏

名 印

一金何程 請求書 (領收證)

何消防組員警防辦當料何米外何人分

但明治何年何月何日午前(后)何時何分何區何町出火出場者ノ分

内 譯

何 某

何

某

何

某

右何時間以内勤務ノ者計何人一人

錢

何 某

何

某

何

某

右何時間以内勤務ノ者計何人一人

錢

右請求(領收)候也

年月日

右代理人 氏

名 印

備考 靴料、鞋料、演習辦當料、ノ請求書(領收證)モ本書式ニ準據調製スヘシ

請求書 (領收證)

一金何程

何消防組員傷疾引手當料何米外何人分

延日數		日給額	計	職氏名	摘
何	何	程	金何程	何年何月何日何處出火ノ際何傷何日迄
右請求(領收)候也					
年 月 日					
一金何程 請求書 (領收證)					
何消防組員自 月 月 日宿直辨當料何某外何人分					
右代理人氏 名					
全	金何程	延何	夜	一夜金八錢	職氏名
全	全	全	全	全	全
右請求(領收)候也					
年 月 日					
右代理人氏 名					

度數	一度料金	小計	職氏名	摘								
.....	何年何月何日何處出火ノ際何傷何日迄								
右請求(領收)候也												
年 月 日												
一金何程 請求書 (領收證)												
何消防組員負傷者運搬費何某外何人分												
右代理人氏 名												
摘 要												
摘	要	藥	價	綱	帶	料	手術若シクハ診	小	計	職	氏	名
何年何月何日何處出火ノ際何傷何日迄	何	程	何	程	何	程	何	程	何	程	何	某

右請求(領收)候也
年月日

明治何年度豫算差引簿

右代理人氏

何消防組 名

年月日	署長印	摘	要	記簿者印	受	拂	殘
-----	-----	---	---	------	---	---	---

何年何月何日大阪市役所ヨリ豫算告知高

〇

拂

殘

〇 職何某波

一八〇〇〇

一九八〇〇〇

備考 本簿ハ各費目各附記毎ニ區別シ記簿スヘシ

財 産 原 簿

何消防組

年月日	署長印	摘	要	取扱者印	受	拂	殘
-----	-----	---	---	------	---	---	---

明治 〇 〇 舊帳ヨリ越高

〇

五

五

明治 〇 〇 何某ヨリ購入	〇	〇	二	七
---------------	---	---	---	---

備考

本簿ハ各物品毎ニ區別シ記帳スヘシ

備品ノ新調テナシタルトキハ受ノ部ニ記入シ破損使用ニ堪ヘサルモノ又ハ全ク不用ニ歸シタルモノハ市役所へ返納シ其理由ヲ摘要欄ニ詳記シ拂ニ立ツヘシ

明治何年度消耗品受拂簿

何消防組

年月日	署長印	摘	要	取扱者印	受	拂	殘	領收證印	職請氏名印
明治 〇 〇 何某ヨリ購入	〇	〇	〇	何程	何程	何程	何程	印	印

備考 本簿ハ物品請求ノ際其數量及請求者職氏名ヲ記入捺印セシメ受領ノ際其受領欄内ニ捺印シテ請求書及受領證ヲ省略ス

被服屬具受拂簿モ本書式ニ準據スヘシ

第二節 被 服

●掃除監視吏員服制

本年三月法律第三十一號汚物掃除法ニ依リ本市掃除監視吏員服制左ノ通相定ム

明治卅三年四月廿八日
大阪市告示第四四號

(圖面省略)						品目
種別	地質	製式	徽章	紐釦	日覆	地質
掃除監督長	黒又ハ濃紺絨	圓形ニシテ黒色ノ眼庇及頤紐ヲ附シ頤紐ノ兩端ハ帽ノ兩側ニ於テ各一個ノ紐釦ヲ以テ之ヲ留ム形狀圖ノ如シ	前章ハ金色ニシテ市ノ徽章ヲ附シ附ノ周圍ニ四分ノ深綠絨線三條ヲ纏フ各線間一分五厘形狀圖ノ如シ	金色圓形模様ハ市ノ徽章ヲ附ス	白布ニシテ帽ノ上部ヲ包ム	黒又ハ濃紺絨
掃除監督	全上	全上	全上	全上	全上	全上
掃除巡視	全上	全上	銀色ニシテ全上帽ノ周圍ニ幅一寸三分ノ深綠絨線一條ヲ纏フ	全上	全上	全上

外 套			袴			上 衣		
袖章	製式	地質	側章	製式	地質	紐釦	袖章	製式
幅二分ノ深綠絨線二條ヲ附シ各線間一分五厘形狀圖ノ如シ	折襟胸ニ重後面ノ裾ヲ割キ又タ後面腰部ニ帶緒ヲ附シ裏黒色左右腰部ニ各一個ノ物入ヲ附ス形狀圖ノ如シ	黒又ハ濃紺絨	幅五分ノ深綠絨線二條ヲ附シ各線間一分五厘形狀圖ノ如シ	普通	黒又ハ濃紺絨	胸五個一行金色圓形模様ハ市ノ徽章ヲ附ス	幅五分ノ深綠絨線三條ヲ附シ各線間一分五厘形狀圖ノ如シ	長ジャケット製形狀圖ノ如シ
幅二分ノ深綠絨線一條ヲ附ス形狀圖ノ如シ	全上	全上	幅五分ノ深綠絨線一條ヲ附ス	全上	全上	全上	幅五分ノ深綠絨線二條ヲ附シ各線間一分五厘形狀圖ノ如シ	全上
	全上	全上		全上	全上	全上	幅五分ノ深綠絨線一條ヲ附シ形狀圖ノ如シ	全上

外 套 (乙)		夏 服		雨 覆	紐 釦
製 式	地 質	袴	上 衣		
釦ハ黒角形五分五厘襟部五個胸部三個ヲ付ス襟巾二寸長サ大約前襟下ヨリ一尺六寸背面一尺八寸二分形状圖ノ如シ	黒又ハ濃紺絨	地質ハ白「リンチル」ヲ用ヒ側章ヲ附セス	地質白「リンチル」ヲ用ヒ製式絨服ニ同シ袖章ニ白線三條ヲ附ス	黒又ハ濃紺絨形状圖ノ如シ	胸六個二行後而腰部ニ八個ヲ附シ金色圓形模倣市ノ徽章ヲ附ス形状圖ノ如シ
全 上	全 上	全 上	全 上 但シ袖章ハ白線二條トス	全 上	全 上
全 上	全 上	地質ハ白小倉ヲ用ユ	地質ハ白小倉ヲ用ヒ製式絨服ニ同シ袖章ハ白線一條ヲ附ス	全 上	全 上

但時候ノ變遷ニヨリ冬服上衣ニ白袴ヲ着用スルコトアルヘシ

●掃除監督被服貸與及附屬品
支給規程

明治廿九年六月八日
昭達 第一四號

聽 中 一 般

掃除監督被服支給ニ關スル取扱ハ掃除巡視被服貸與及附屬品支給規程ヲ準用ス

●掃除巡視被服貸與及附屬品
支給規程

明治廿七年六月一日
昭達 第七號

第一條 掃除巡視被服ハ貸與シ付屬品ハ代料ニテ毎月支給ス貸與品ハ貸與シタル月ヨリ計算シ保存期間滿了シタル

片ハ之ヲ給與ス
但轉免死亡ノ際貸與品ノ保存滿了ニ至ラサルモノハ返納セシム已ニ滿期ニ至リタルモノハ徽章及釦ノミテ返納セシム

第二條 被服附屬品代料ハ新任者其月ノ十五日以前ナレハ全月分以後ナレハ半月分支給ス
但轉免死亡ニシテ其月ノ十五日以前ナレハ半月分十六日以後ナレハ全月分ヲ支給ス

第三條 被服品ハ隨時点檢ヲナスモノトス新任者ニ在テハ貸與品ノ交付ト同時ニ附屬品ノ点檢ヲナスヘシ

第四條 貸與品ハ自己ノ過失怠慢ニヨリ段損若クハ亡失シタル件ハ調製ノ原價ニヨリ保存期間ノ月割ヲ以テ計算シ残月數分チ一時ニ賠償セシムヘシ

第五條 貸與品種類及保存期間左ノ如シ

帳 子	目	個	數	保 存 期 間
日 覆	トモ	一	ケ	一 年

冬	服上下	一	着	二	ケ	年
夏	服上下	二	着 <small>(三十八年五月八日 廳達第四號改正)</small>	一	ケ	年
外	套	一	ケ	二	ケ	年
肩	掛	一	枚	全	無	期 限
帽	章	一	ケ	全	無	期 限
外	套 縮 革	一	ケ	全	無	期 限
品	目	個	數	期	限	
手	袋	六	組	一	ケ	年
肌	着 上下	二	着	全		
下	襟	十	枚	全		
靴	下	十	足	全		

第六條 被服附屬品種類及期限左ノ如シ

● 工手服裝及服具貸與規程

明治卅六年四月廿七日
廳達 第五號

本市工手服制及服具貸與規程左ノ通改正シ明治三十四年五月廳達第五號及明治三十五年十月廳達第二十七號ハ本規程發令ノ日ヨリ廢止ス

但當分ノ内舊服裝ヲ混用スルコトヲ得

大阪市工手服裝及服具貸與規程

第一條 大阪市工手ハ別表ニ定ムル服裝ヲ爲スモノトス

第二條 工手被服ハ貸與シ附屬品ハ代料ニテ毎月支給ス貸與品ハ貸與シタル月ヨリ起算シ保存期間滿了シタル片ハ之ヲ給與ス

但轉免死亡ノ際貸與品ノ保存滿期ニ至ラサルモノハ返納セシム己ニ滿期ニ至リタルモノハ徽章及紐釦ノミチ

返納スルモノトス

第三條 被服附屬品ハ新任者其月ノ十五日以前ナレハ全月分十六日以後ナレハ半月分支給ス

但轉免死亡ニシテ其月十五日以前ナレハ半月分十六日以後ナレハ全月分ヲ支給ス

第四條 工手病氣其他止ムヲ得サル事故ニヨリ本規程ノ服裝ヲ爲シ難キトキハ認可ヲ受クヘシ此場合ニハ認可證ヲ所持スルモノトス

第五條 被服品ハ隨時點檢ヲナスモノトス新任者ニ在テハ貸與品ノ交付ト同時ニ附屬品ノ點檢ヲ爲スヘシ

第六條 貸與品ハ自己ノ過失怠慢ニヨリ毀損若クハ亡失シタル片ハ調製ノ原價ニヨリ保存期間ノ月割ヲ以テ計算シ毎月數分チ一時ニ賠償セシムヘシ

第七條 貸與品種類及保存期間左ノ如シ

品目	個數	保存期間
帽子	一個	一ケ年
冬服上下	一着	二ケ年
夏服上下	二着 <small>(三十八年五月八日 總達第四號改正)</small>	一ケ年
外套	全	二ケ年
雨覆	一 枚	二ケ年
日覆	全	一ケ年
帽章	一個	無期限
外套 締革	全	全

第八條 被服附屬品種類及保存期間左ノ如シ

名稱	區	分
手袋	六	一ケ年
肌着上下	二	全
下襟	十二枚	全
靴下	十二足	全
長靴	一足	全
短靴	二足	全

名稱	區	分
地質 黒又ハ濃紺絨	圓形ニシテ黒色ノ眼庇及頰紐ヲ付シ頰紐ノ兩端ハ帽ノ兩側ニ於テ各一個ノ紐釦ヲ以テ之ヲ留ム	
地質 前章ハ金色ニシテ縱廣共徑五分ノ本市徽章ヲ付シ帽ノ周圍ニ徑二分ノ金モール線一條ヲ付ス		
地質 金色圓形模樣ハ梅形		
地質 白布ニシテ前ノ上部ヲ包ム		
地質 黒又ハ濃紺絨		
地質 長シヤケット製		
袖章	幅二分ノ黒線二條ヲ附シ其下ニ徑三分ノ梅形ノ中ニ土ノ字ヲ彫入シタル釦一個ヲ附ス黒線間ハ一分五厘トス	
紐釦	胸五個一行金色圓形徑五分ノ中央ニ梅形ニ土字ヲ彫入シタルモノヲ附ス	

夏服		外 套	
袴	上 衣	袴	上 衣
地質 黒又ハ濃紺絨	地質 黒又ハ濃紺絨	地質 黒又ハ濃紺絨	地質 黒又ハ濃紺絨
製式 普通	製式 普通	製式 普通	製式 普通
袖章 冬服ニ全シ	袖章 冬服ニ全シ	袖章 冬服ニ全シ	袖章 冬服ニ全シ
鈕釦 冬服ト全シ但黒線ヲ白線ニ代ユ	鈕釦 冬服ト全シ但黒線ヲ白線ニ代ユ	鈕釦 冬服ト全シ但黒線ヲ白線ニ代ユ	鈕釦 冬服ト全シ但黒線ヲ白線ニ代ユ
地質 白小倉	地質 白小倉	地質 白小倉	地質 白小倉
製式 普通	製式 普通	製式 普通	製式 普通
地質 黒又ハ濃紺絨	地質 黒又ハ濃紺絨	地質 黒又ハ濃紺絨	地質 黒又ハ濃紺絨
製式 折襟階ニ重後面ノ裾ヲ割キ又後面腰部ニ帶緒ヲ附シ裏黒色左右腰部ニ各一個ノ物入レヲ附ス	製式 折襟階ニ重後面ノ裾ヲ割キ又後面腰部ニ帶緒ヲ附シ裏黒色左右腰部ニ各一個ノ物入レヲ附ス	製式 折襟階ニ重後面ノ裾ヲ割キ又後面腰部ニ帶緒ヲ附シ裏黒色左右腰部ニ各一個ノ物入レヲ附ス	製式 折襟階ニ重後面ノ裾ヲ割キ又後面腰部ニ帶緒ヲ附シ裏黒色左右腰部ニ各一個ノ物入レヲ附ス
袖章 冬服ノ上衣ニ全シ	袖章 冬服ノ上衣ニ全シ	袖章 冬服ノ上衣ニ全シ	袖章 冬服ノ上衣ニ全シ
鈕釦 胸六個ニ行後面腰部ニ八個ヲ付ス形狀摸樣ハ紐釦ト全襟ノ者ヲ用ユ	鈕釦 胸六個ニ行後面腰部ニ八個ヲ付ス形狀摸樣ハ紐釦ト全襟ノ者ヲ用ユ	鈕釦 胸六個ニ行後面腰部ニ八個ヲ付ス形狀摸樣ハ紐釦ト全襟ノ者ヲ用ユ	鈕釦 胸六個ニ行後面腰部ニ八個ヲ付ス形狀摸樣ハ紐釦ト全襟ノ者ヲ用ユ
雨覆 黒又ハ濃紺絨(頭巾及肩掛共)	雨覆 黒又ハ濃紺絨(頭巾及肩掛共)	雨覆 黒又ハ濃紺絨(頭巾及肩掛共)	雨覆 黒又ハ濃紺絨(頭巾及肩掛共)

備考 夏季中自費ヲ以テ暑帽(ヘルメット)帽ト稱スル白色ノモノヲ着用スルモ妨ナシ

但徽章ハ現品ヲ貸與ス

(様式略ス)

河川巡視服裝及服具貸與規程

明治四十一年三月廿八日 總達 第一七號

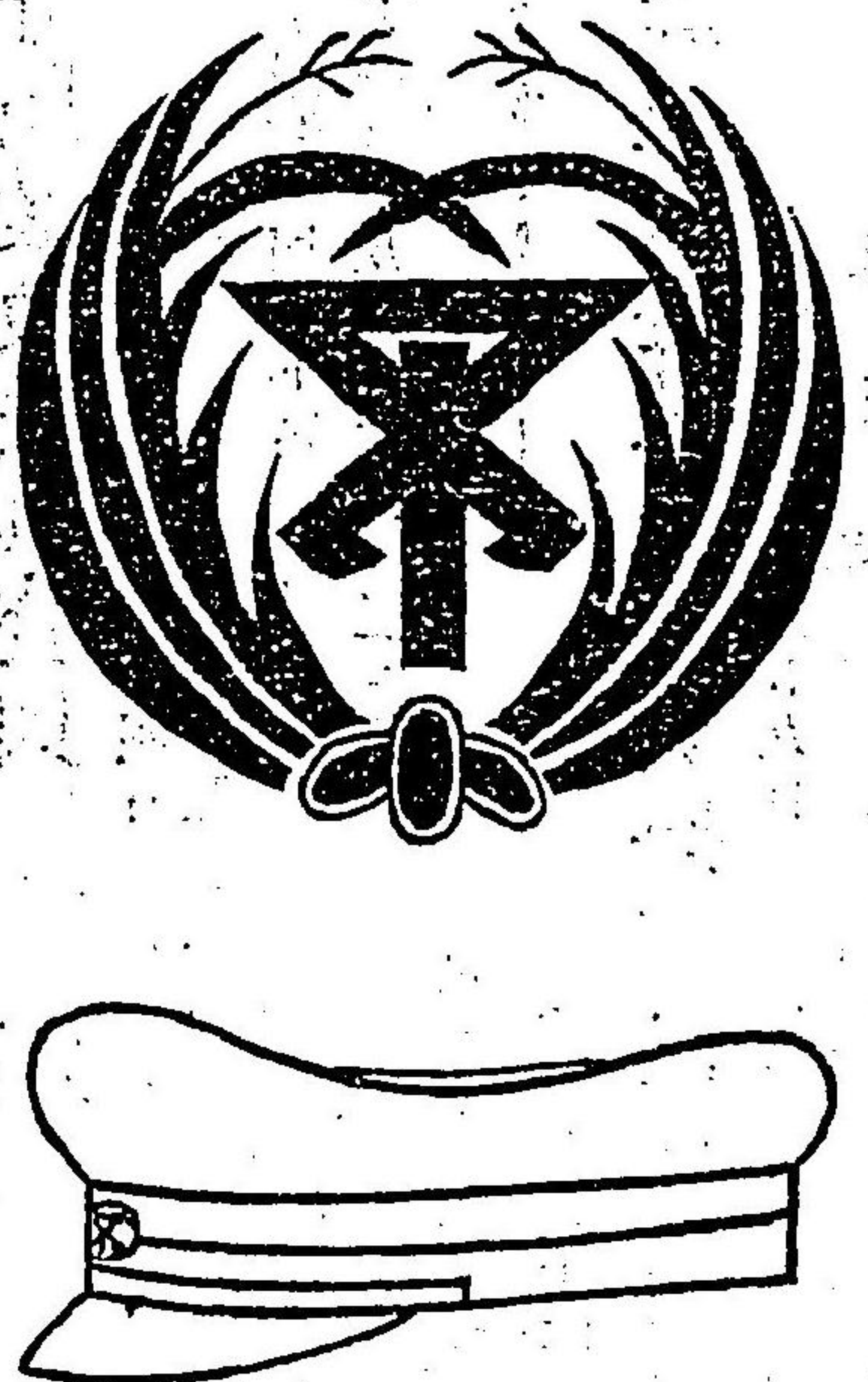
應 申 一 般

河川巡視被服ハ大阪市工手ノ服裝ト同一トス

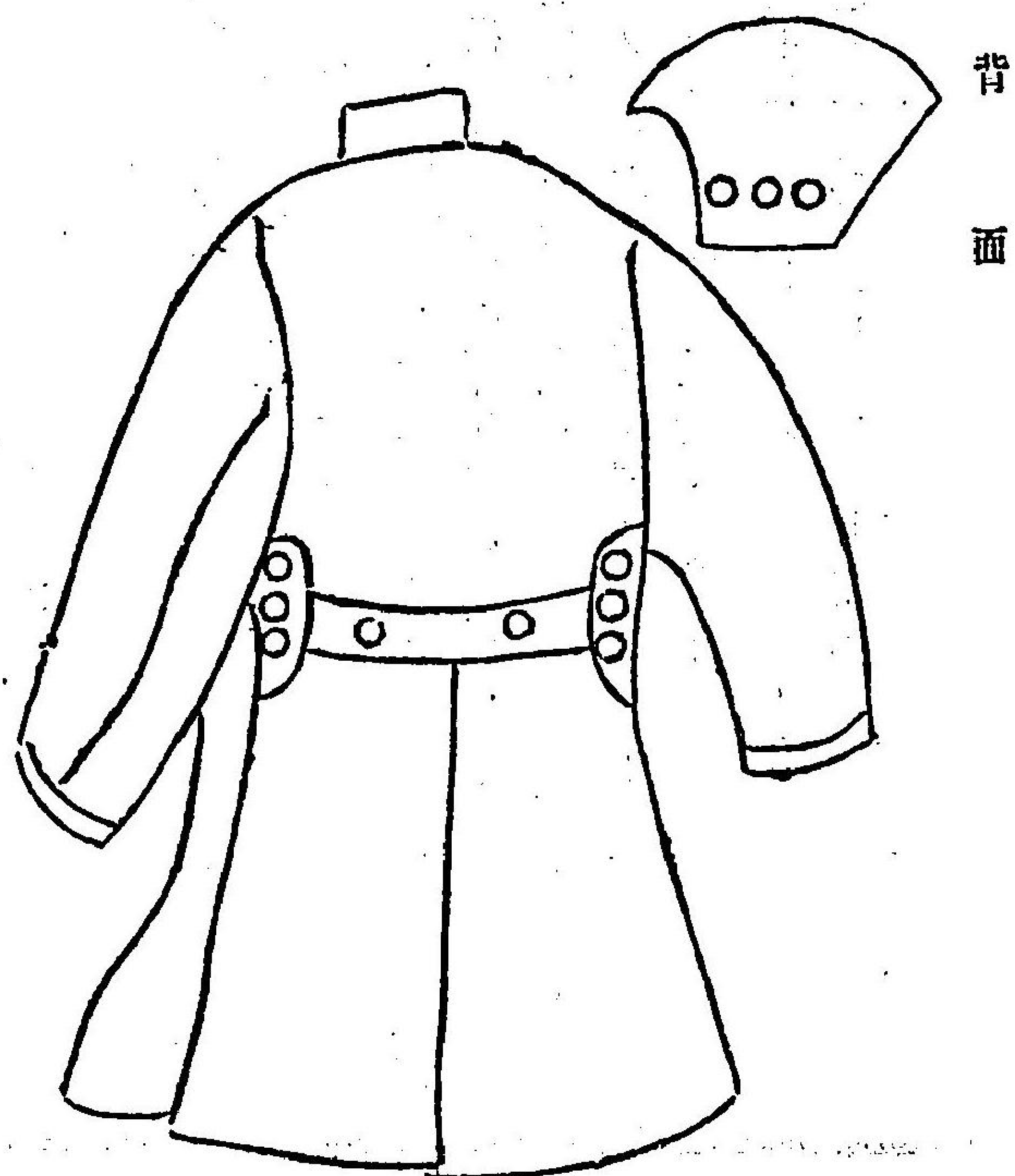
但帽子ハ別表之通相定ノ服具貸與及附屬品代料支給方ハ大阪市工手服裝及服具貸與規程ニ依ル

河 川 巡 視

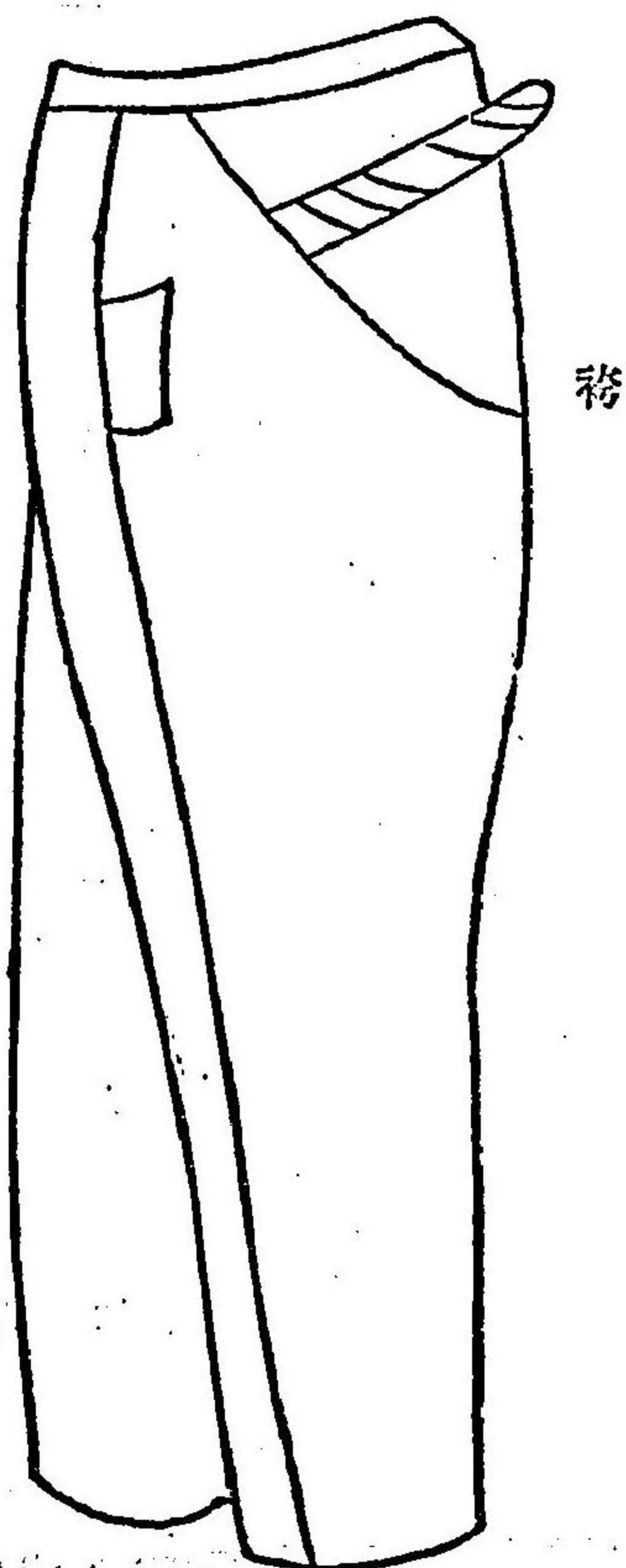
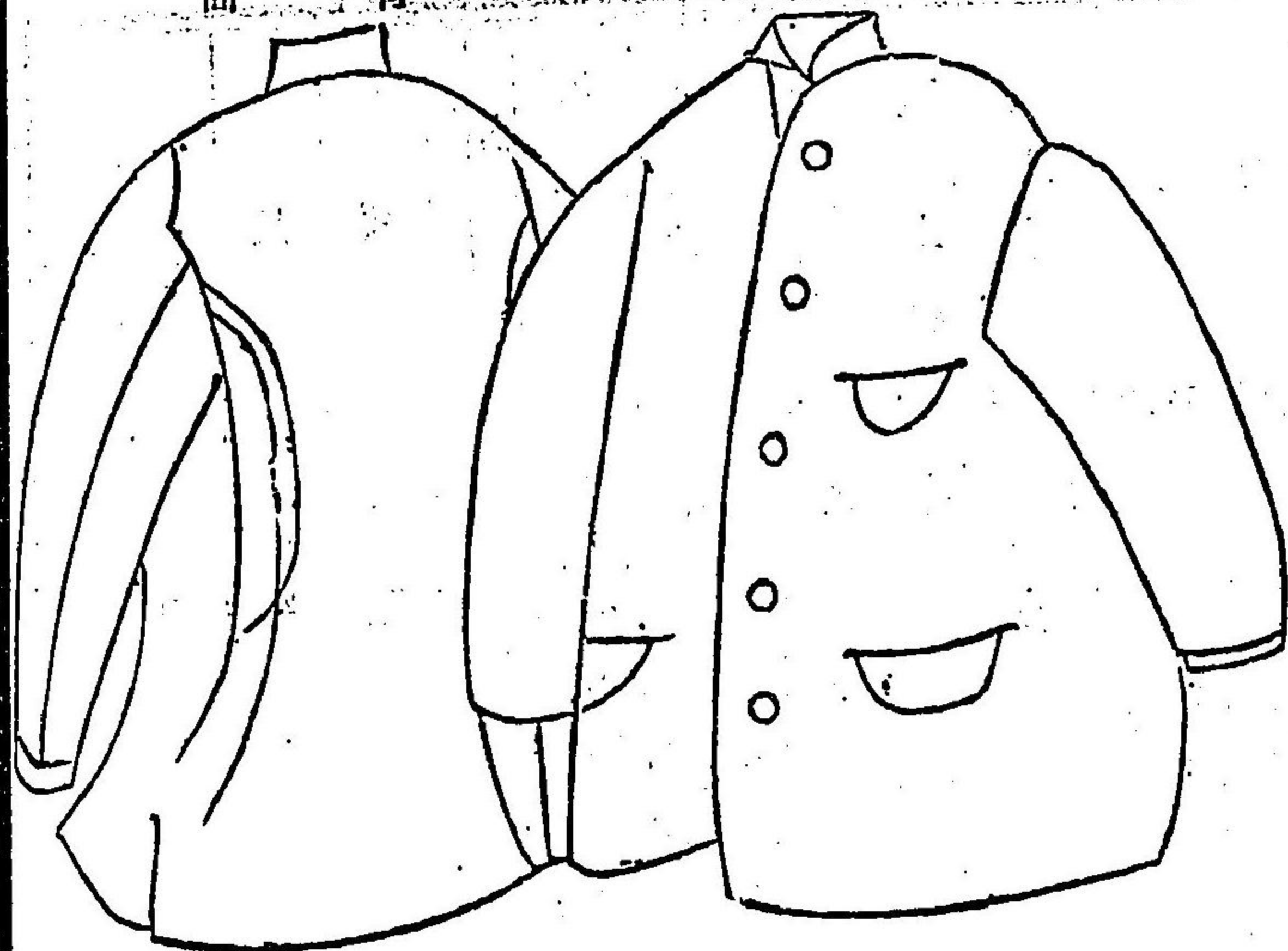
品目	種別	地質	製式	鈕釦	日履
帽	海軍形	濃紺絨(裏適宜)	前章縦一寸五分巾一寸五分圓形中高ニシテ金色市ノ徽章ヲ附シ銀色芦ヲ以テ抱合ス帽ノ周圍ハ中央ニ巾二分ノ金線一條ヲ附ス	金小色圓形	白布ニテ帽ノ上部ヲ包ム



套 外



面 背 衣 上 面 前



夏服		冬服	
袴	上衣	袴	上衣
製式	地質	製式	地質
普通	白小倉	普通	白小倉
全	全	全	全
上	上	上	上
全	全	全	全
上	上	上	上
如	如	如	如
圖	圖	圖	圖

外		内	
地質	製式	地質	製式
黒又ハ濃紺絨	立襟ニシテ肩羽及頭巾ヲ附ス胸ニ重ニシテ後面襟ヲ附キ又其腰部ニ帶緒ヲ付シ左右ニ物入一個ツ、ヲ付ス	黒又ハ濃紺絨	立襟ニシテ肩羽及頭巾ヲ附ス胸ニ重ニシテ後面襟ヲ附キ又其腰部ニ帶緒ヲ付シ左右ニ物入一個ツ、ヲ付ス
全	全	全	全
上	上	上	上
黒角製ニシテ襟章ヲ附セス其他全上	黒角製ニシテ襟章ヲ附セス其他全上	黒角製ニシテ襟章ヲ附セス其他全上	黒角製ニシテ襟章ヲ附セス其他全上
上	上	上	上
如	如	如	如
圖	圖	圖	圖

(様式略ス)

公會堂監守服制

明治廿六年十一月廿八日 廳達 第一一四號

公會堂監守被服ハ廳中巡視服制ト同一トス 但襟ノ両端(巡)ノ一字ヲ(監)ノ一字トス

市立葬儀所掛員被服規程

明治四十年五月十九日 廳達 第九號

- 第一條 市立葬儀所ノ事務ニ従事スル者ニハ被服ヲ貸與ス 但使用期間満了シタルトキハ襟章ヲ除キ其他ハ之ヲ給與シ轉免死亡ノ際使用期間満了ニ至ラサルモノハ之ヲ返納セシム
- 第二條 服制ハ別表ノ定ムル所ニ據ル
- 第三條 使用期間ノ計算ハ貸與ノ月ハ初日ト末日ト間ハス一ヶ月ニ計算シ滿期ノ月ハ末日ニ至ラサレハ一ヶ月ニ算入セス
- 第四條 故意又ハ過失ニ依リ使用期間中被服ヲ毀損又ハ滅失スル者ハ其價額ニ依リ賠償スル

失シタルトキハ調製ノ原價ニヨリ使用期間ノ月割ヲ以テ計算シ殘月數分ヲ賠償セシメ更ニ被服ヲ貸與ス
 第五條 使用期間ハ左ノ如シ

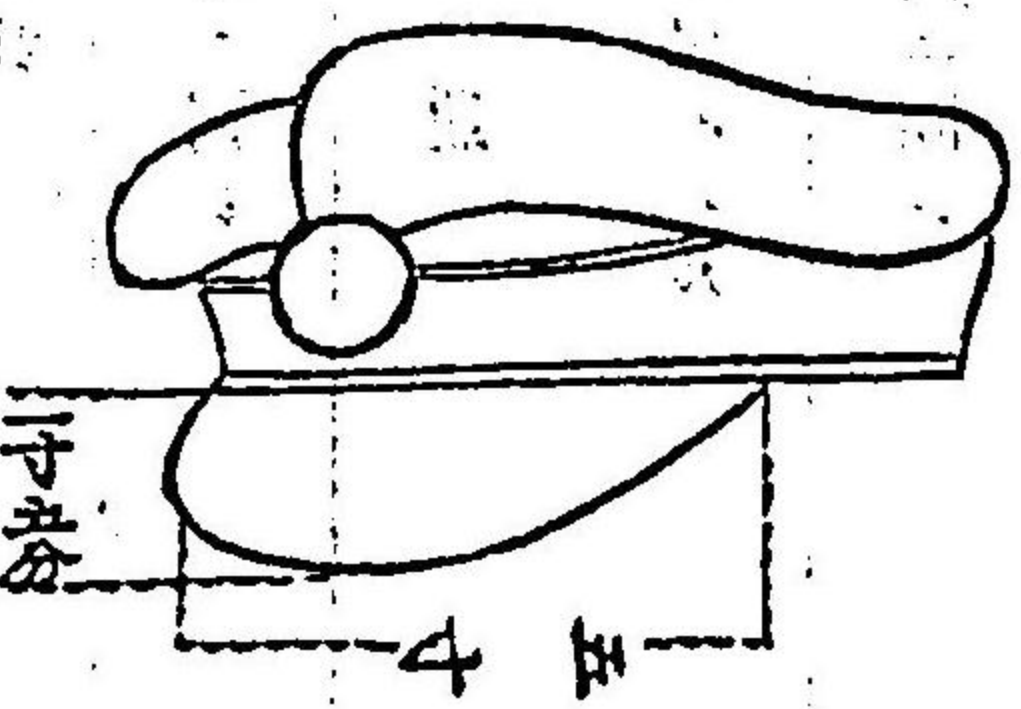
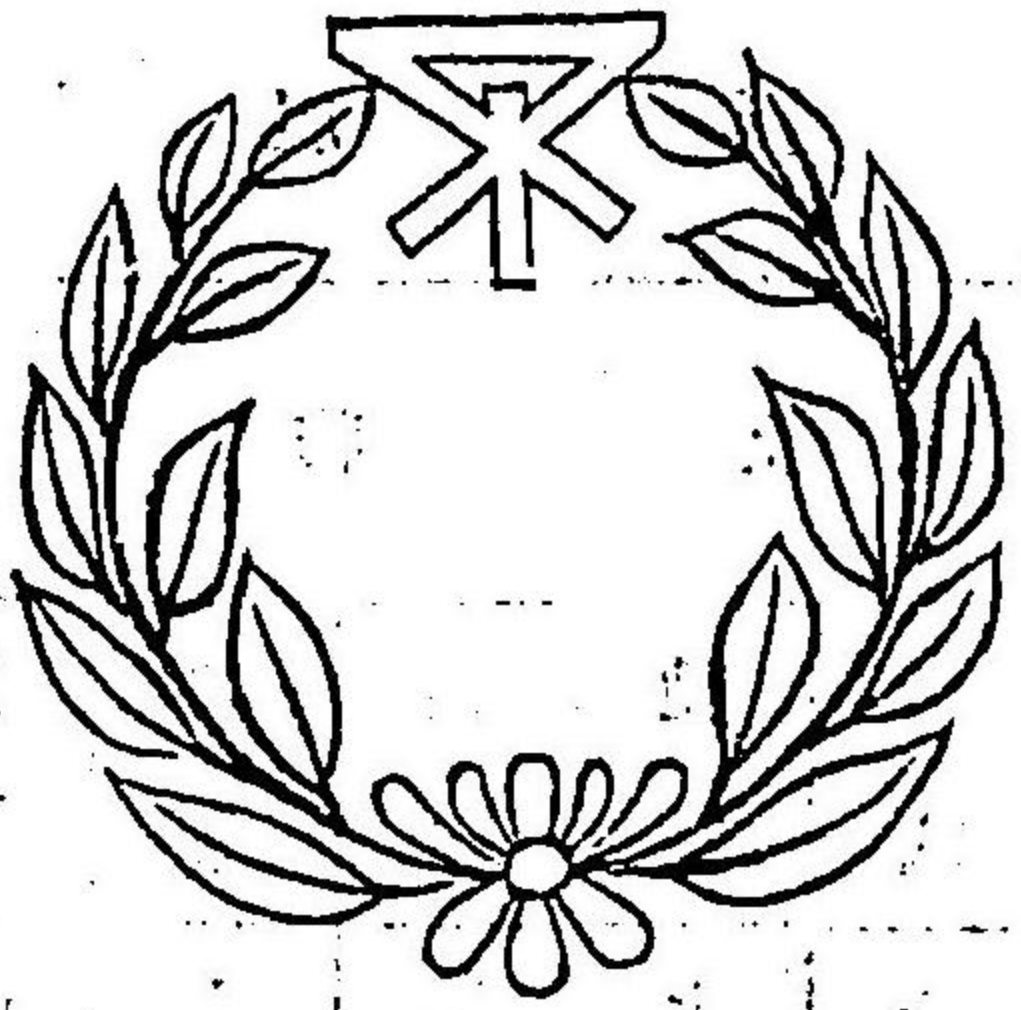
品目	個數	使用期間
帽 (日覆甚)	一個	一年
帽 章	一個	無期限
冬 服 (上下)	一着	一年
夏 服 (上下)	一着	一年
外 套	一着	二年
短 靴	一足	一年
グ ー ト ル	一足	一年

備考 外套及グートルハ小使、埋葬夫ニ限り貸與ス

名 稱	冬 服			夏 服			種 類	管 理 者	事 務	員 數	履 用 期 間
	上 衣	袴	地 質	上 衣	地 質	製 式					
霜降ノルトン	詰襟形背廣	胸五箇地質ト同色ノ丸形子リ卸	地上	地上	地上	地上	黒又ハ濃紺絨	小使、埋葬夫	一	一	一年
普通	地上	地上	地上	地上	地上	地上	白リンネル	小使、埋葬夫	一	一	一年
セル又ハヘル	地上	地上	地上	地上	地上	地上	冬衣ニ同シ	小使、埋葬夫	一	一	一年
白色貝卸筒數形狀冬衣ニ同シ	地上	地上	地上	地上	地上	地上	卸	小使、埋葬夫	一	一	一年
地上	地上	地上	地上	地上	地上	地上	地上	小使、埋葬夫	一	一	一年

本市ノ小使、埋葬夫ニ用ス

種	製式普通	全上	全上
---	------	----	----



外		套	
地質	製式	徽章	鈕釦
黒又ハ濃紺絨	圓形ニシテ黒色ノ眼庇及黒鍔革筋紐ヲ付シ頤紐ノ兩端ハ帽ノ兩側ニ於テ各一個ノ紐釦ヲ以テ之ヲ留ム	前章ハ金モール縦横徑一寸ノ藍ヲ抱合セ頂上ニ徑三分ノ銀モールニテ本市ノ徽章ヲ冠ス	金色圓形模倣梅形
			白布ニシテ帽ノ上部ヲ包ム

● 大阪市度量衡取締吏員

被服規程

明治四十二年一月十七日 應達第四號告示第三號

第一條 本市度量衡取締吏員ノ制服ハ別表ノ定ムル所ニ據

第二條 被服ハ本規程ニ依リ現品ヲ貸與シ附屬品ハ代料ヲ以テ支給ス

第三條 被服ハ保存期間使用セシメ期間満了後ハ帽蓋及袖

章釦ヲ除キ其他ハ之ヲ給與ス
保存期間ノ計算ハ貸與ノ月ハ初日ト末日トニ拘ラス一ヶ月トシ満期ノ月ハ末日ニ至ラザレハ一ヶ月ニ算入セス
第四條 附屬品代料ハ毎月下旬之ヲ支給ス但其月ノ十六日以後ニ就職シタル片又ハ十五日以前ニ轉免若クハ死亡シタル片ハ半額ヲ支給ス

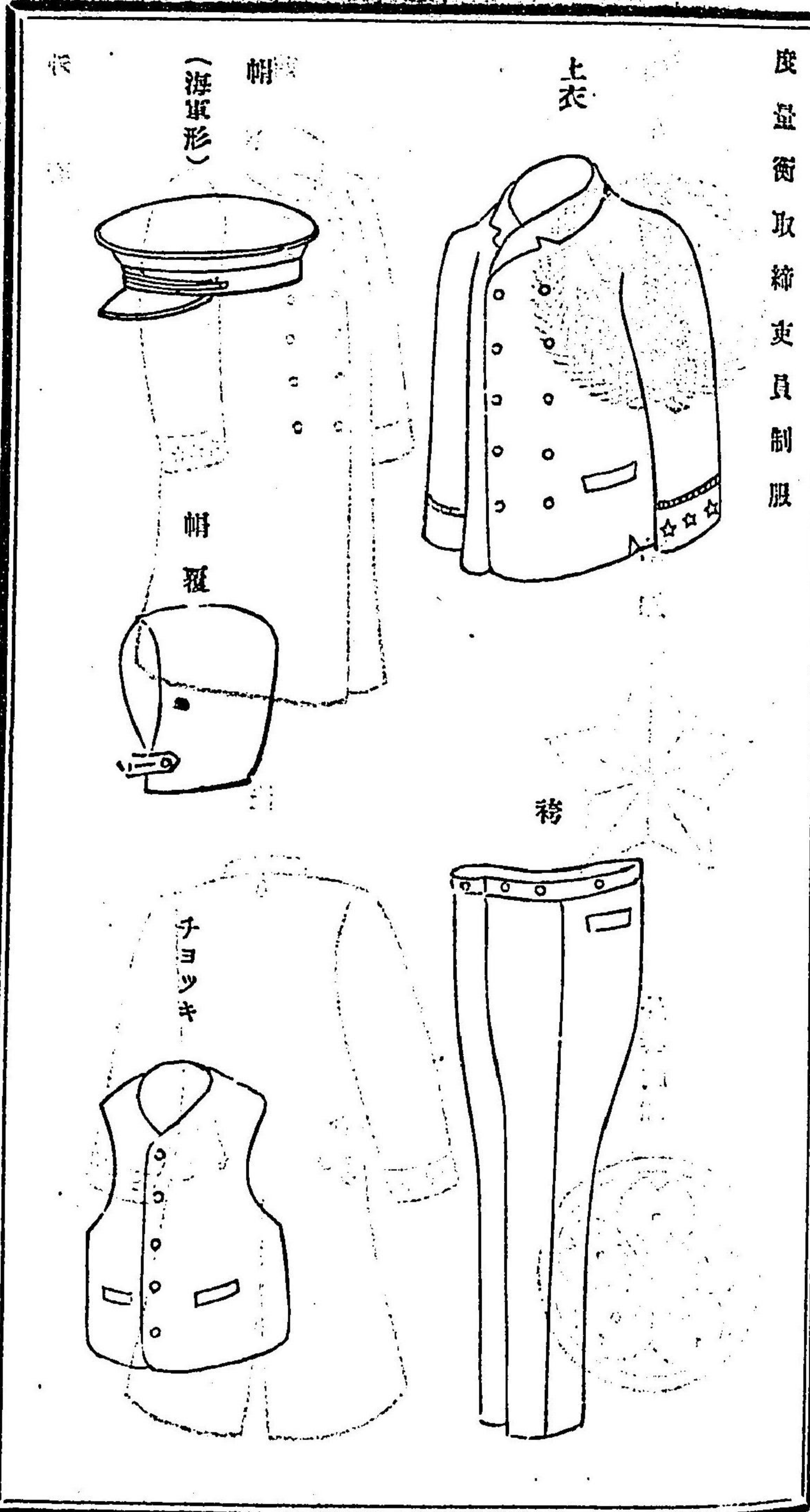
第五條 貸與品ノ保存期間満了ニ至ラスシテ轉免又ハ死亡シタル片ハ之ヲ返納セシム
第六條 故意又ハ過失ニ依リ貸與品ヲ毀損又ハ滅失シタル片ハ保存ノ殘期間ニ應シ調製ノ原價ニ依リ其價格ヲ賠償セシム
第七條 貸與品ノ種類及ヒ保存期間左ノ如シ

品目	個數	保存期間
帽 (日覆共)	一個	一ケ年
帽章	一個	無期限
冬服	一着	二ケ年
夏服	二着	一ケ年
外套	一着	二ケ年

第八條 附屬品ノ種類及ヒ保存期間左ノ如シ

外 套	夏				服					
	上衣		袴		袴		チヨツキ			
制式	地質	制式	地質	制式	地質	制式	地質	制式	地質	
紺 形 制 鈕 三 個 宛 ナ 附 ス	白色 櫻 形 鈕 六 個 二 行 後 而 腰 部 ニ 八 個 ナ 附 シ 左 右 腕 ニ 星	折襟 胸 二 重 襟 子 裏 付 後 而 裾 ヲ 割 キ 腰 部 ニ 帶 緒 ヲ 付 シ 左 右 腰 部 ニ 各 一 個 ノ 物 入 ヲ 附 ス	黑色 蛇 腹 組 紐 一 條 ヲ 附 ス	紺 羅 紗	冬服 ニ 同 シ	白 リ ン 子 ル	冬服 ニ 同 シ 但 鈕 ハ 貝 製 ト ス	白 リ ン 子 ル	冬服 ニ 同 シ 但 鈕 ハ 貝 製 ト シ 腕 筋 ヲ 白 毛 蛇 腹 組 紐 ト ス	白 リ ン 子 ル
全	但全	全	全	全	全	全	全	全	但全	全
上	星形袖鈕ヲ左右各二個トス	上	上	上	上	上	上	上	袖鈕ヲ左右各二個トス	上

度量衡取締吏員制服





水道巡視員、職工及工夫

被服規程

明治四十年十一月十四日 達 第一一九號

第一條 水道巡視員、職工及工夫ハ本規程ニ依リ被服ヲ貸與シ靴ハ代料ヲ以テ毎月支給ス。使用期間満了シタル被服ハ徽章ヲ除クノ外之ヲ給與ス但使用期間満了ニ至ラスシテ轉免又ハ死亡シタルモノハ返納セシム

第二條 服制ハ別表ニ據ル
第三條 使用期間ノ計算ハ貸與ノ月ハ初日ト末日ト之間ハス一ヶ月ニ計算シ滿期ノ月ハ末日ニ至ラサレハ一ヶ月ニ計算セス

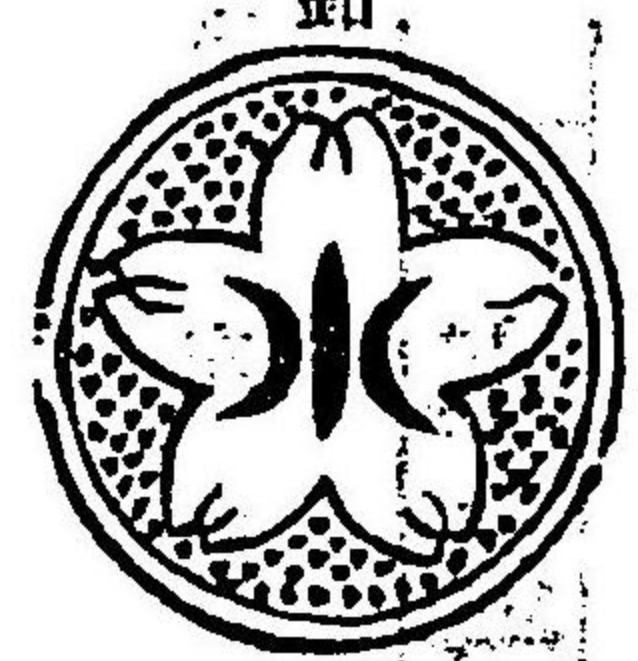
第四條 故意又ハ過失ニヨリ使用期間中被服ヲ毀損若クハ滅失シタルトキハ調製ノ價格ニ依リ月割ヲ以テ期間満了ニ至ル迄ノ原價ヲ賠償セシム
第五條 使用期間ハ左ノ如シ

品目	個	敬	使用期間
帽 (口覆共)	一	個	一ケ年
冬服	一	着	無期限
夏服	二	着	一ケ年
外套	一	着	二ケ年

名 稱	種 類	職 分	法 被 股 引	長 靴	短 靴	別 表	
						工 夫	年
帽	水道巡視員	職 工	(工 夫) 二 組	(水道巡視員) 一 足	(水道巡視員及職工ノ貸與) 二 足	一	ケ 年
徽章	圓形ニシテ黒色眼底及頸紐ヲ付シ頸紐ノ兩端ハ帽ノ兩側ニ於テ各一個ノ組紐ヲ以テ之ヲ留ム	全	全	全	全	上	上
前章ハ金色櫻花中心ニ水ノ字ヲ浮出シ帽ノ周圍ニ黒ノ打紐三條ヲ付ス	前章ハ金色櫻花中心ニ水ノ字ヲ浮出シ帽ノ周圍ニ黒ノ打紐三條ヲ付ス	全	全	全	全	上	上
前章ハ銀色圓形水ノ字ヲ抜き帽ノ下部周圍ハ	前章ハ銀色圓形水ノ字ヲ抜き帽ノ下部周圍ハ	全	全	全	全	上	上

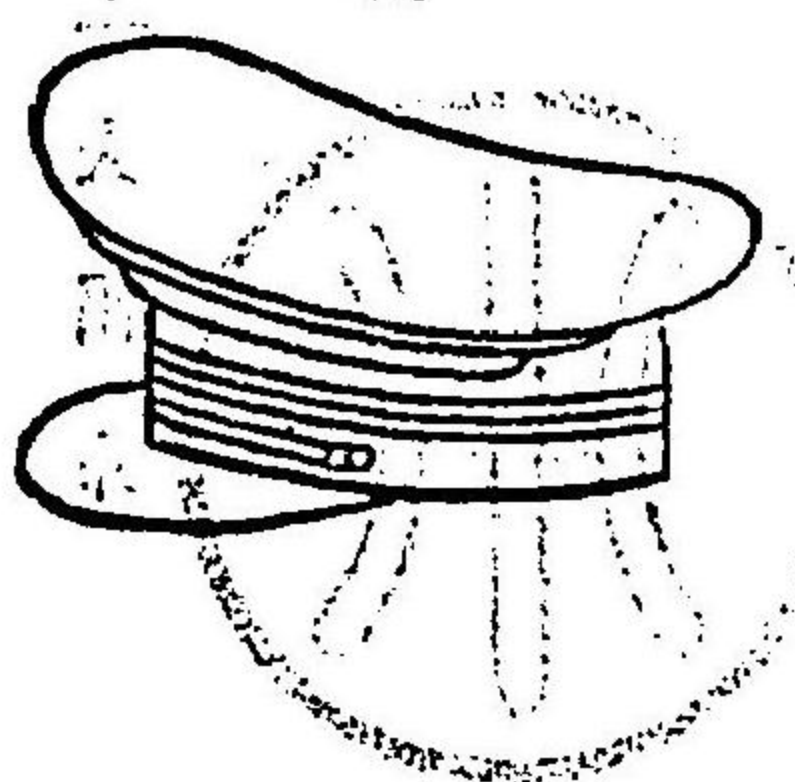
夏		冬 服							
上		袴		衣 上					
製 式	地 質	製 式	地 質	釦	袖 章	製 式	地 質	日 覆	釦
冬服ト全シ	白小倉	普通	上衣ニ全シ	胸五個一行模様圖ノ如シ	黒色紐ヲ圖ノ如ク付ス	詰襟形ノ背廣	黒 絨	白布ニシテ帽ノ上部ヲ包ム	金色圓形櫻形
全	全	全	全	全	水色紐ヲ圖ノ如ク付ス	全	全	全	全
上	上	上	上	上				上	上
								全	全
								上	上

服	法		外		袴		衣		
	製式	地質	製式	地質	製式	地質	製式	地質	
普通	法被ニ全シ	紺木綿	折襟ニ背ニ赤地ニ水ノ字ヲ白抜ニシテ腰ノ周圍ニ白抜ニ付ス	紺木綿	折襟普通後面ノ裾ヲ割キ左右腰ノ各一個ノ物入レヲ付ス	全	全	全	全
普通	法被ニ全シ	紺木綿	前面ニ左行ニ圓ノ如ク染抜キ背ニ赤地ニ水ノ字ヲ白抜ニシテ腰ノ周圍ニ白抜ニ付ス	紺木綿	折襟普通後面ノ裾ヲ割キ左右腰ノ各一個ノ物入レヲ付ス	全	全	全	全
普通	法被ニ全シ	紺木綿	前面ニ左行ニ圓ノ如ク染抜キ背ニ赤地ニ水ノ字ヲ白抜ニシテ腰ノ周圍ニ白抜ニ付ス	紺木綿	折襟普通後面ノ裾ヲ割キ左右腰ノ各一個ノ物入レヲ付ス	全	全	全	全
普通	法被ニ全シ	紺木綿	前面ニ左行ニ圓ノ如ク染抜キ背ニ赤地ニ水ノ字ヲ白抜ニシテ腰ノ周圍ニ白抜ニ付ス	紺木綿	折襟普通後面ノ裾ヲ割キ左右腰ノ各一個ノ物入レヲ付ス	全	全	全	全
普通	法被ニ全シ	紺木綿	前面ニ左行ニ圓ノ如ク染抜キ背ニ赤地ニ水ノ字ヲ白抜ニシテ腰ノ周圍ニ白抜ニ付ス	紺木綿	折襟普通後面ノ裾ヲ割キ左右腰ノ各一個ノ物入レヲ付ス	全	全	全	全

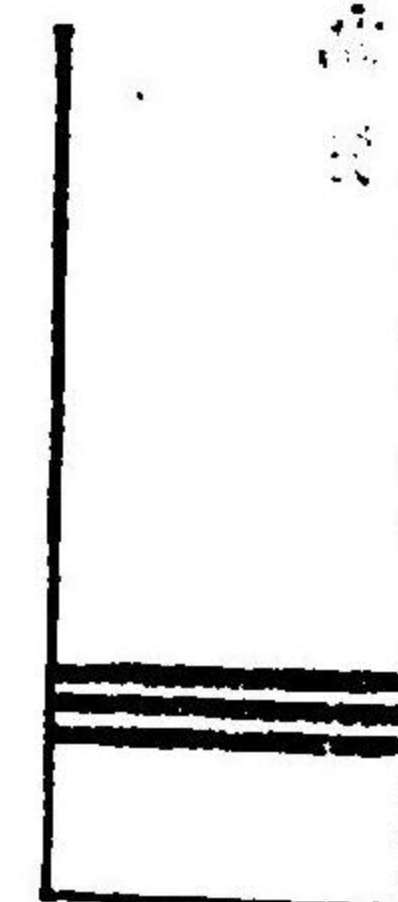


巡視員服釦

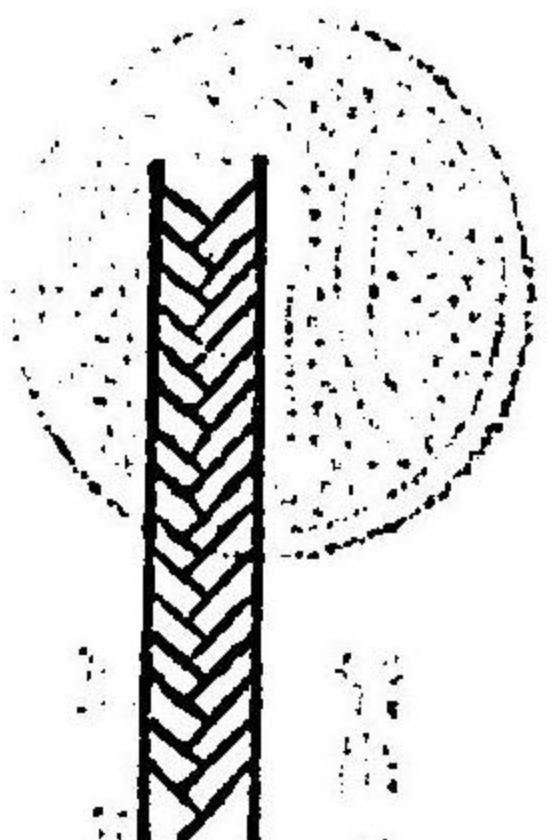
徑六分
金色浮出シ模様



巡視員帽

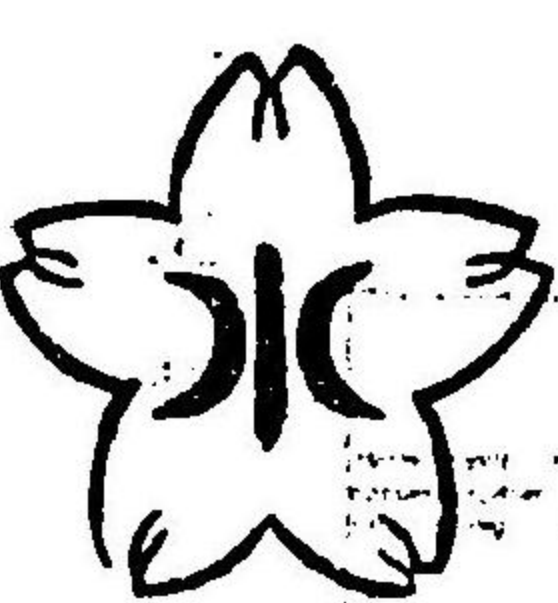


巡視員袖章



絹打紐

徑一分七厘冬服ニハ黒夏服ニハ白色



巡視員服釦

徑八分
金色浮出シ模様

工夫法被左襟

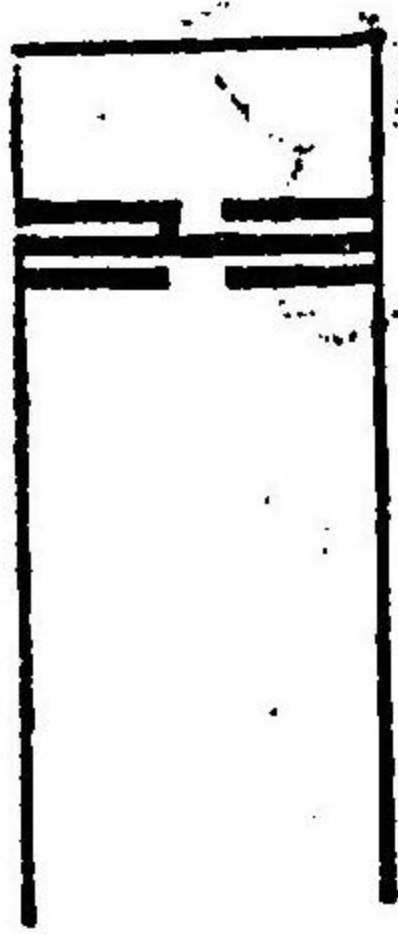


右襟

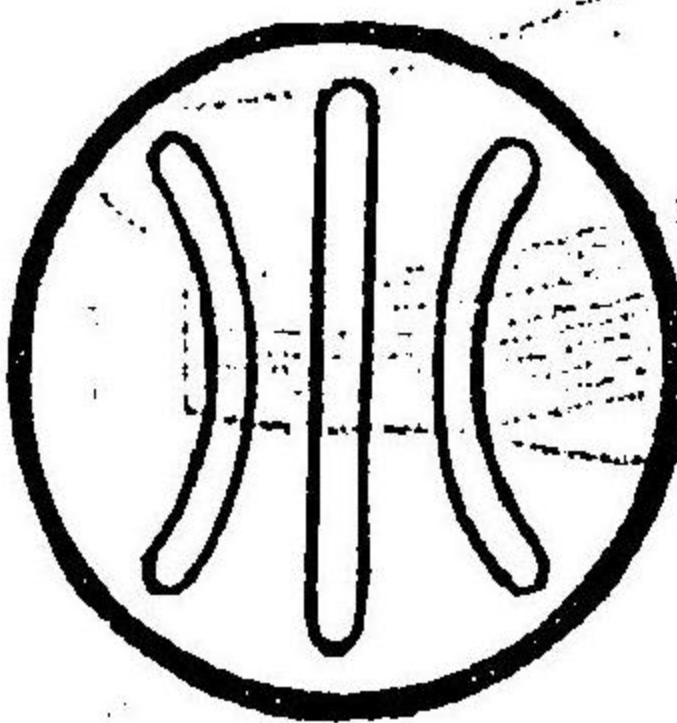


工夫

職工袖章

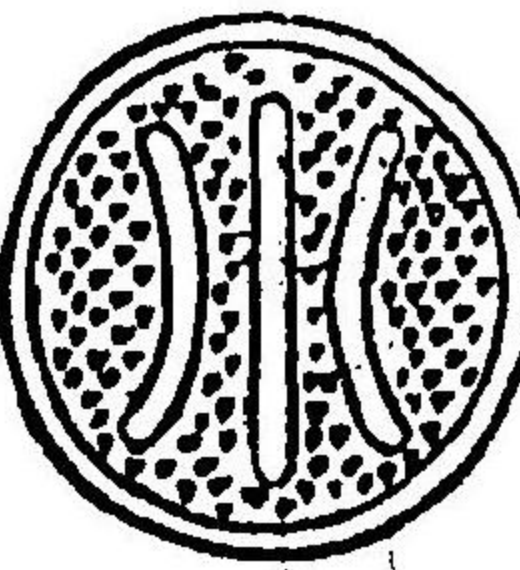


職工工夫帽章



徑九分

職工服釦



徑八分
金色
浮出シ模様

● 水道擴張課職工及工夫

被服規程

明治四十一年三月廿八日
廳達第一六六號

水道擴張課職工及工夫被服規程別紙ノ通相定メ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

水道擴張課職工及工夫被服規程

第一條 水道擴張課職工及工夫ハ本規程ニ依リ被服ヲ貸與シ靴ハ代料ヲ以テ毎月支給ス
使用期間滿了シタル被服ハ徽章ヲ除クノ外之ヲ給付ス但使用期間滿了ニ至ラスシテ轉免又ハ死亡シタルモノハ返納セシム

● 第二條 服制ハ別表ニ據ル

第三條 使用期間ノ計算ハ貸與ノ月ハ初日ト末日ト之間ハ一ヶ月ニ計算シ滿期ノ月ハ末日至ラサレハ一ヶ月ニ計算セシム

第四條 靴料ハ毎月下旬之ヲ支給シ十六日以後ニ就職シタルトキ又ハ十五日以前ニ解職若クハ死亡シタルトキハ半額ヲ支給ス

第五條 故意又ハ過失ニヨリ使用期間中被服ヲ毀損若クハ滅失シタルトキハ調製ノ價格ニ依リ月割ヲ以テ期間滿了ニ至ル迄ノ原價ヲ賠償セシム
第六條 使用期間ハ左ノ如シ

品名	個數	使用期間
朝 (日覆共)	個	一ケ年
朝 章	個	無期限
冬 服	着	二ケ年

別表	職	工	分
夏服	二	一	一
外 套	一	二	一
短 靴	職 二	工 二	一
法 被 股 引	工 二	夫 二	一
	組	足	ケ
		着	ケ
		着	ケ
		着	ケ
		年	年
		年	年
		年	年
		年	年

別表

服 制

名 稱	種 類	職 區	工 分
地 質	黑 絨	工	工
製 式	圓形ニシテ黑色ノ眼底及頰紐ヲ付シ頰紐ノ兩端ハ帽ノ兩側ニ於テ各一個ノ紐釦ヲ以テ之ヲ留ム	全	上
徽 章	前章ハ金色圓形水ノ字ヲ抜き帽ノ下部周圍ハ前章ハ銀色圓形水ノ字ヲ抜き帽ノ下部周圍ハ銀色トス	全	上

夏		服				冬				日 履	釦
衣		袴		衣		上					
釦	袖 章	製 式	地 質	製 式	地 質	釦	袖 章	製 式	地 質	日 履	釦
冬衣ト全シ	白色紐ヲ圖ノ如ク付ス	冬衣ニ全シ	白小倉	普通	上衣ニ全シ	胸五個一行模様圖ノ如シ	萌黃紐ヲ圖ノ如ク付ス	詰襟形背廣	黑絨	白布ニシテ帽ノ上部ヲ包ム	金色圓形

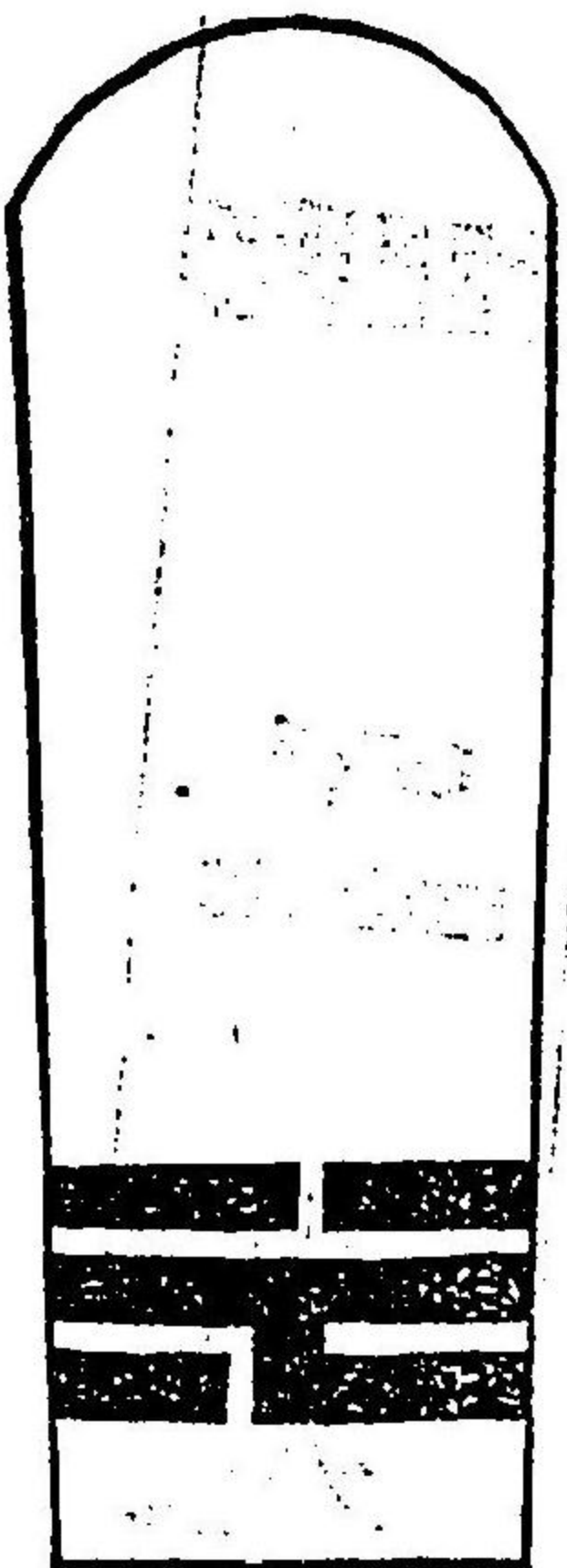
股 引	法 被		外 套				服 袴		
	製 式	地 質	製 式	地 質	雨 覆	釦	製 式	地 質	
					黒頭巾	胸五個一筋後面裾ニ二個ヲ付ス木製黒色ノ者 ヲ用ユ	折襟普通後面ノ裾ヲ割キ左右腰部ニ各一個ノ 物入レヲ付ス	黒絨	普通
普 通	法被ニ全シ		前面襟ノ左右ニ圖ノ如ク染抜キ背部ニ丸ニ 水ノ(⊕)字ヲ白抜キニシ腰部周圍ニ不ノ 白抜キ五個ヲ付ス	紺 木 綿	全 上	全 上	全 上	全 上	地上衣ト全シ



工夫法被 左

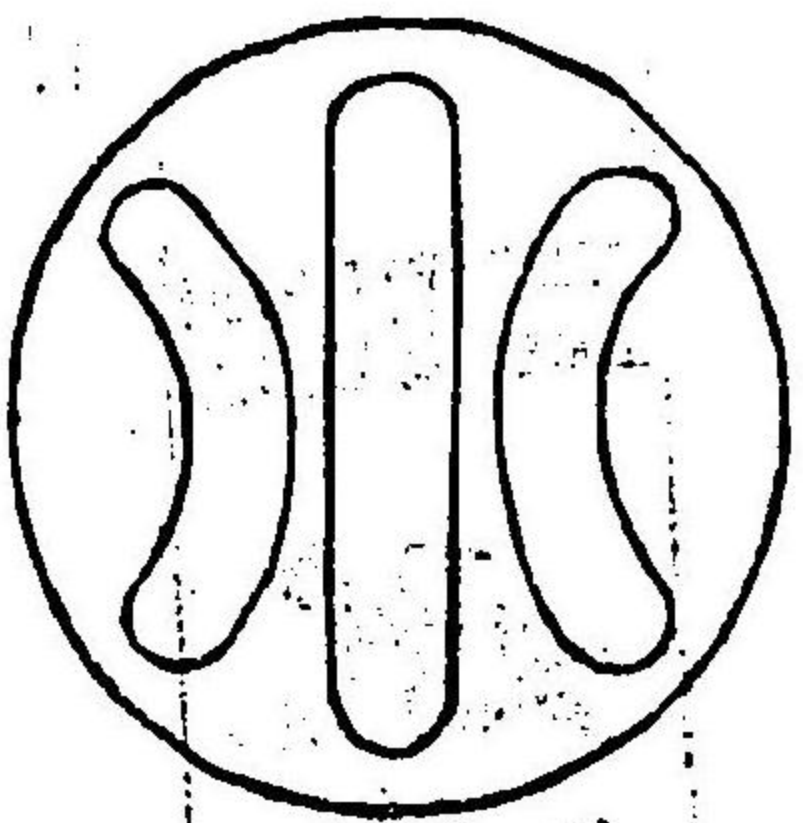
右 襟

職工袖章

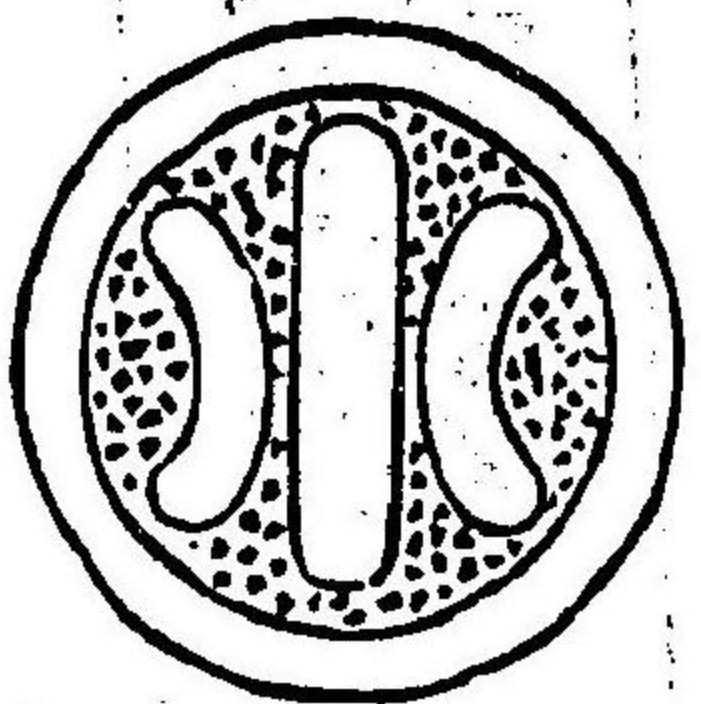


職工工夫帽章

職工服釦



徑九分



徑八分

第四章 學事

第一節 小學校及幼稚園

●市學務委員組織

明治廿七年七月十九日
大阪府告示第四號

市學務委員ハ其定員ヲ十人トシ市參事會員一人、市會議員四人、市公民中選舉權ヲ有スル者三人及小學校男教員二人ヲ以テ之ヲ組織シ市參事會員ヨリ出ツル委員ヲ以テ委員長トス

附則

明治二十六年二月大阪府告示第三號ハ之ヲ廢止ス

●小學校設置負擔區學務委員ノ組織

明治廿六年六月七日
大阪府告示第一號

本市會ニ於テ大阪府區學務委員條例ヲ議決シ市制第百二十

一條及地方學事通則第十二條ニ依リ內務文部兩大臣ノ許可ヲ受ケ左ノ通相定ム

第一條 教育事務ノ爲メ本市各小學校設置負擔區ニ學務委員ヲ置ク

第二條 各區委員ノ數ヲ定ムルコト左ノ如シ

西區土佐堀通一丁目外十四ヶ町	尋常小學校負擔區	三人
全 通三丁目外十七町		四人
全 靱北通一丁目外十六ヶ町		三人
全 阿波堀通一丁目外十五ヶ町		四人
全 通四丁目外十五ヶ町		三人
全 立賣堀南通一丁目外二十三ヶ町		四人

全 西長堀南通一丁目外二十四ヶ町	全	區	四人
全 南堀江通二丁目外十七ヶ町	全	區	三人
全 通五丁目外十ヶ町	全	區	三人
全 松島町一丁目外八ヶ町	全	區	三人
全 本田一番町外七ヶ町	全	區	四人
全 九條町外一ヶ町	全	區	四人
全 三軒家上ノ町外一ヶ町	全	區	三人
全 市岡町外十二ヶ町	全	區	三人
全 泉尾町外十二ヶ町	全	區	三人
全 天保町	全	區	三人
全 西區春日出町外十ヶ町	全	區	三人
全 西九條上ノ町外三ヶ町	全	區	三人(全上)
全 瓦屋町一番町外四ヶ町	全	區	三人
全 末吉橋通一丁目外七ヶ町	全	區	三人

明治四十年四月十六日
大阪府條例第四號改正

明治卅七年十月廿五日
大阪府條例第四號追加

全 順慶町通三丁目外八ヶ町	全	區	三人
全 心齋橋筋一丁目外十ヶ町	全	區	四人
全 東清水町外九ヶ町	全	區	四人
全 鹽谷東ノ町外六ヶ町	全	區	三人
全 高津町一番丁外十四ヶ町	全	區	四人
全 湊町外十二ヶ町	全	區	四人
全 西濱南通三丁目外九ヶ町	全	區	三人
全 難波新川三丁目外三十一ヶ町	全	區	九人
全 馬淵町外十五ヶ町	全	區	四人
全 木津大國町一丁目外十七ヶ町	全	區	三人
全 天王寺元町外四十一ヶ町	全	區	四人
全 東區廣小路町外二十二ヶ町	全	區	四人
全 常盤町一丁目外二十三ヶ町	全	區	四人
全 船越町一丁目外十二ヶ町	全	區	三人
全 北濱一丁目外十一ヶ町	全	區	三人
全 淡路町一丁目外十一ヶ町	全	區	三人
全 唐物町一丁目外十一ヶ町	全	區	三人
全 町三丁目外十六ヶ町	全	區	三人

全 安土町三丁目外十七ヶ町	區	四人
全 伏見町三丁目外二十ヶ町	區	三人
全 東平野町一丁目外二十三ヶ町	區	四人
全 清堀町外二十八ヶ町	區	三人
全 玉造町外二十一ヶ町	區	四人
全 北區金屋町二丁目外九ヶ町	區	三人
全 川崎町外十三ヶ町	區	四人
全 此花町一丁目外七ヶ町	區	三人
全 綿屋町外十一ヶ町	區	四人
全 老松町一丁目外十一ヶ町	區	四人
全 堂島濱通一丁目外十三ヶ町	區	四人
全 中之島一丁目外十ヶ町	區	三人
全 安治川通上一丁目外四ヶ町	區	三人
全 安治川通南一丁目外四ヶ町	區	三人
全 下福島一丁目外五ヶ町	區	三人
全 上福島一丁目外十ヶ町	區	四人
全 曾根崎永樂町外十ヶ町	區	四人
全 北野佐藤町外五十一ヶ町	區	四人

全 西野田平松町外二十四ヶ町	區	三人
全 善源寺町外二ヶ町	區	三人
全 新喜多町外四ヶ町	區	三人
西區 高等小學校負擔區	區	四人
南區	區	四人
東區	區	四人
北區	區	四人

明治廿九年十月十六日
大阪市條例第三號更正

第五條 委員中區會議員ヨリ出ツル者及市公民ヨリ出ツル者ハ區會之ヲ選舉シ教員ヨリ出ツル者ハ小學校令第七十二條末項ノ例ニ依ル但委員中教員ヨリ出ツル者ハ尋常小學校設置負擔區ニ就キテハ其尋常小學校高等小學校設置負擔區ニ就キテハ其高等小學校男教員ニ限ルモノトス

第六條 委員ノ任期ハ區會議員ヨリ出ツル者ハ其本職ノ任期ニ從ヒ市公民ヨリ出ツル者ハ四年トス

第七條 區會議員及市公民ヨリ出ツル委員ニ副員アルトキハ臨時補選舉行フヘシ市公民ヨリ出ツル補選委員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

● 小學校設置負擔區學務委員
異動報告 明治廿六年五月六日
大阪府訓令參三第二四號

區 役 所

區會議員及市公民ヨリ出ツヘキ區學務委員ヲ選舉シタルトキハ左ノ方式ニ依リ及辭退退職者アリタルトキハ速ニ報告

スヘシ

學務委員就任報告

區域名	就任月日	選出區別	町名番屋敷	身分	氏名	生年月

右及報告候也

年月日

市參事會宛

區長

備考 委員ニ異動アリタルトキハ區域名ノ下ニ何某辭職退職跡ノ一欄ヲ挿入スルコトヲ要ス

市及區學務委員事務取扱

規程 明治廿八年五月廿日 大阪市告示參事第二二號

市及區學務委員事務取扱規程本市會ノ議決ヲ經テ左ノ通相定ム

第一條 大阪市及區學務委員事務取扱規程

第一條 市學務委員ハ市參事會區學務委員ハ區長ノ指命スル所ニ依リ市又ハ區ニ屬スル小學校教育ノ範圍ニ於ケル教育事務ヲ取扱フモノトス

第二條 學務委員ノ取扱フヘキ事務ノ概目左ノ如シ

- 一 市立學校幼稚園等ノ設備ニ關スル事項
- 二 市立學校幼稚園等ノ經費ニ關スル事項
- 三 學校基本財産ニ關スル事項
- 四 其他市會又ハ區會ノ議決スヘキ教育ニ關スル事項及臨時市參事會又ハ區長ノ指命若クハ委託スル事項

第三條 學務委員ハ教育事務ニ關シ意見アルトキハ市參事會又ハ區長ニ申告スヘシ

第三類 行政 第四章 學事

第四條 市學務委員ハ市參事會ノ指揮ヲ受ケテ區學務委員ノ取扱ニ關スル事務ヲ監督スルモノトス

但本文ノ場合ニ屬スル事項ニ就テハ市學務委員ハ第二條ノ例ニ依ラサルモノトス

第五條 市學務委員ノ職務細則ハ市參事會區學務委員ノ職務細則ハ區長ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得但區學務委員ノ職務細則ハ市參事會ニ報告スヘシ

小學校設置負擔區學務委員

國ノ教育事務ヲ補助執行スルカ爲ニ要スル費用負擔方

明治廿六年六月七日 大阪市告示參事第二一號

市會ノ議決ヲ經各小學校設置負擔區ニ置ク學務委員ニ於テ國ノ教育事務ヲ執行スルカ爲ニ要スル費用ハ小學校令第五十條但書ニ依リ其區ニ負擔セシムルモノトス

●高等小學校設置ニ關スル

規定 明治廿五年十一月廿六日
大阪府告示參第三七號

高等小學校設置ニ關スル件市會ノ決議ヲ經左ノ通相定ム
明治二十三年(十月)勅令第二百十五號小學校令第三十六條ニ依リ東西南北ノ四區ニ各一ノ高等小學校ヲ設置セシムルモノトシ其區ヲ以テ負擔區域ト定メ來明治二十六年四月一日ヨリ施行ス但位置ハ高等小學校本校トス
東區西區北區高等小學校ハ校舍狹隘ナルヲ以テ其設備ノ整フマテ分教場ヲ置カシムルモノトシ其位置ハ現在ノ分校及分教場トス

●高等小學校設置負擔區域并ニ尋常小學校へ高等小學校ノ教科目併置

明治廿五年十一月廿四日
大阪府告示參第二三號

大阪府西區高等小學校外三高等小學校設置負擔區域改定并九條尋常小學校外九尋常小學校へ高等小學校ノ教科目併置ノ件市會ノ決議ヲ經左ノ通相定ム
西區高等小學校設置負擔區域
西區土佐堀通一丁目 全三丁目 全四丁目
全五丁目 土佐堀裏町 江戸堀上通一丁目 全三丁目
江戸堀北通一丁目 全三丁目 全四丁目 全五丁目
全五丁目 江戸堀南通一丁目 全三丁目 全四丁目
全五丁目 江戸堀下通一丁目 全三丁目 全四丁目
全五丁目 京町堀上通一丁目 全三丁目
全三丁目 全四丁目 全五丁目 京町堀通一丁目 全三丁目
全三丁目 全四丁目 全五丁目 朝北通一丁目
全三丁目 全四丁目 全五丁目 朝上通一丁目 全三丁目
全三丁目 朝中通一丁目 全三丁目 全四丁目 朝下通一丁目
全三丁目 朝南通一丁目 全三丁目 全四丁目
全三丁目 全四丁目 全五丁目 阿波堀通一丁目 全三丁目
全三丁目 全四丁目 全五丁目 阿波堀裏町 阿波座上通一丁目 全三丁目 全四丁目 阿波座中通一丁目 全

二丁目 阿波座下通一丁目 全三丁目 阿波座一番丁
全二番丁 全三番丁 全四番丁 立賣堀北通一丁目 全
二丁目 全三丁目 全四丁目 全五丁目 全六丁目 立
賣堀裏町 薩摩堀東ノ町 全西ノ町 薩摩堀南ノ町 全
北ノ町 薩摩堀裏町 江ノ子島上ノ町 全東ノ町 全西
ノ町 立賣堀南通一丁目 全三丁目 全四丁目 全五丁
目 全六丁目 新町北通一丁目 全三丁目
新町通一丁目 全三丁目 全四丁目 全五丁
目 新町南通一丁目 全三丁目 全四丁目
全五丁目 裏新町 西長堀北通一丁目 全三丁目 全三
丁目 全四丁目 全五丁目 西長堀南通一丁目 全三丁
目 全三丁目 全四丁目 全五丁目 北堀江上通一丁目
全三丁目 全三丁目 北堀江裏通一丁目 全三丁目 北
堀江下通一丁目 全三丁目 全三丁目 全四丁目 全五
丁目 全六丁目 北堀江通一丁目 全三丁目 全三丁目
全四丁目 全五丁目 全六丁目 北堀江一番丁 全二番
丁 全三番丁 南堀江通一丁目 全三丁目 全三丁目
全四丁目 全五丁目 全六丁目 南堀江上通一丁目 全

二丁目 全三丁目 全四丁目 全五丁目 南堀江下通一
丁目 全三丁目 全三丁目 全四丁目 南堀江一番丁
全三番丁 全三番丁 西道頓堀通一丁目 全三丁目 全
三丁目 全四丁目 全五丁目 全六丁目 幸町通一丁目
全三丁目 全三丁目 全四丁目 全五丁目 松島町一丁
目 全三丁目 仲ノ町一丁目 全三丁目 高砂町一丁目
全三丁目 十返町 花園町 本田一番丁 全三番丁 全
三番丁 本田町通一丁目 全三丁目 全三丁目 梅本町
育英高等小學校設置負擔區域
南區空堀町 上本町筋二丁目 全三丁目 内安堂寺町通
一丁目 全三丁目 全三丁目 松屋町 南桃谷町 北桃
谷町 東新瓦屋町 西新瓦屋町 谷町筋六丁目 全七丁
目 田島町 瓦屋町一番丁 全三番丁 全三番丁 全四
番丁 全五番丁 順慶町通一丁目 全三丁目 全三丁目
全四丁目 安堂寺橋通一丁目 全三丁目 全三丁目
全四丁目 樋町通一丁目 全三丁目 全三丁目 全四丁
目 末吉橋通一丁目 全三丁目 全三丁目 全四丁目
横堀七丁目 鯉谷東ノ町 全中ノ町 全西ノ町 大寶寺

町東ノ町 全中ノ町 全西ノ町 東清水町 西清水町
 大和町 間屋町 南綿屋町 竹屋町 鍛冶屋町 長堀橋
 筋一丁目 全三丁目 千年町 玉屋町 登屋町 笠屋町
 宗右衛門町 心齋橋筋一丁目 全三丁目 南炭屋町 北
 炭屋町 周防町 八幡町 久左衛門町 三津寺町 二ッ
 井戸町 高津町一丁目 全三番丁 全三番丁 全四番丁
 全五番丁 全六番丁 全七番丁 全八番丁 全九番丁
 全十番丁 御藏跡町 日本橋筋一丁目 全三丁目 全
 三丁目 全四丁目 全五丁目 阪町 東櫓町 西櫓町
 九郎右衛門町 湊町 難波新地一丁目 全三番丁 全三
 番丁 全四番丁 全五番丁 全六番丁

東區高等小學校設置負擔區

東區法圓阪町 廣小路町 上木町一丁目 龍造寺町 十
 二軒町 神崎町 粉川町 住吉町 材木町 内久賢寺町
 一丁目 全三丁目 全三丁目 全四丁目 和泉町一丁目
 全二丁目 南農人町一丁目 全三丁目 農人橋一丁目
 全三丁目 農人橋詰町 兩替町一丁目 全三丁目 常
 盤町一丁目 全三丁目 錦屋町一丁目 全三丁目 内木

町一丁目 全三丁目 内木町橋詰町 鶴井町一丁目 全
 三丁目 南新町一丁目 全三丁目 北新町一丁目 全三
 丁目 桑屋町一丁目 全三丁目 大手通二丁目 全三丁
 目 内淡路町一丁目 全三丁目 内平野町一丁目 全三
 丁目 船越町一丁目 全三丁目 釣鐘町一丁目 全三丁
 目 島町一丁目 全三丁目 石町一丁目 全三丁目 京
 橋一丁目 全三丁目 全三丁目 高麗橋詰町 豐後町
 谷町一丁目 全三丁目 全三丁目 全四丁目 全五丁目
 京橋前ノ町 杉山町 大手前之町 馬場町 北濱一丁
 目 全三丁目 全三丁目 全四丁目 全五丁目 大川町
 今橋一丁目 全三丁目 全三丁目 全四丁目 全五丁
 目 高麗橋一丁目 全三丁目 全三丁目 全四丁目
 全五丁目 伏見町一丁目 全三丁目 全三丁目 全四丁
 目 全五丁目 道修町一丁目 全三丁目 全三丁目 全
 四丁目 全五丁目 平野町一丁目 全三丁目 全三丁目
 全四丁目 全五丁目 淡路町一丁目 全三丁目 全三丁
 目 全四丁目 全五丁目 瓦町一丁目 全三丁目 全三
 丁目 全四丁目 全五丁目 備後町一丁目 全三丁目

全三丁目 全四丁目 全五丁目 安土町一丁目 全三丁
 目 全三丁目 全四丁目 木町一丁目 全三丁目 全三
 丁目 全四丁目 南木町一丁目 全三丁目 全三丁目
 全四丁目 唐物町一丁目 全三丁目 全三丁目 全四丁
 目 北久太郎町一丁目 全三丁目 全三丁目 全四丁目
 南久太郎町一丁目 全三丁目 全三丁目 全四丁目 北
 久賢寺町一丁目 全三丁目 全三丁目 全四丁目 南久
 賢寺町一丁目 全三丁目 全三丁目 全四丁目 博勢町
 一丁目 全三丁目 全三丁目 全四丁目 北渡邊町 南
 渡邊町 上難波北之町 上難波南之町 横堀一丁目 全
 二丁目 全三丁目 全四丁目 全五丁目 全六丁目
 盈進高等小學校設置負擔區

北區野田町 相生町 網島町 川崎町 新川崎町 白屋
 町 今井町 天満橋筋一丁目 全三丁目 全三丁目 全
 四丁目 空心中一丁目 全三丁目 金屋町一丁目 全三
 丁目 朝日町 信保町一丁目 全三丁目 岩井町一丁目
 全三丁目 龍田町 葦屋町一丁目 全三丁目 河内町
 一丁目 全三丁目 瀬川町 松夕枝町 此花町一丁目

全三丁目 市ノ町 天神筋町 大工町 紅梅町 天神橋
 筋一丁目 全三丁目 全三丁目 全四丁目 菅原町 鳴
 尾町 榎屋町 地下町 東堀川町 旅籠町 南森町 北
 森町 綿屋町 末廣町 樋上町 若松町 衣笠町 眞砂
 町 老松町一丁目 全三丁目 全三丁目 源藏町 西堀川
 町 伊勢町 富田町 木幡町 堂島濱通一丁目 全三丁
 目 全三丁目 全四丁目 堂島中一丁目 全三丁目 堂
 島船大工町 堂島北町 堂島裏一丁目 全三丁目 全三
 丁目 曾根崎新地一丁目 全三丁目 全三丁目 中之島
 一丁目 全三丁目 全三丁目 全四丁目 全五丁目 全
 六丁目 全七丁目 宗是町 常安町 玉江町一丁目 全
 二丁目 安治川通上一丁目 全三丁目 安治川通北一丁
 目 全三丁目 全三丁目 安治川通南一丁目 全三丁目
 全三丁目 富島町 古川町

高等小學校ノ教科ヲ併置スル尋常小學校

西區 九條尋常小學校
 南區

辨波第一尋常小學校
 天王寺尋常小學校
 榮尋常小學校
 惠美尋常小學校
 木津尋常小學校
 東區
 玉造尋常小學校
 東平野尋常小學校
 北區
 曾根崎尋常小學校

野崎尋常小學校

●尋常小學校 尋常高等小學校 尋常科 教授 時數配當表

明治四十一年三月卅一日 第三四號

四區 役所

尋常小學校教科目ノ増加ニ依リ各教科ノ每週教授時數配當等ハ別表ニ基キ成ルヘク其統一ヲ期セラルヘシ

尋常小學校 尋常高等科 教授時數配當表

修身	學年	教 科	
		目	年
二	授時數	每週教	第一
二	學年	授時數	第二
二	授時數	每週教	第三
二	學年	授時數	第四
二	授時數	每週教	第五
二	學年	授時數	第六

計	手 工	裁 縫	体 操	唱 歌	圖 畫	理 科	地 理	日 本 歷 史	算 術	國 語
二二	一		四		一				五	八
二四	一		四		一				六	一〇
女男 二八七	一	一	三	一	一				六	一三
女男 二九七	二	二	三	一	一				六	一二
女男 三〇八	二	二	三	一	一	二	三		四	一〇
女男 三〇八	二	二	三	一	一	二	三		四	一〇

備考 第一學年ヨリ順次手工ヲ課スル豫定ヲ以テ明治四十年度ニ於テ第一學年ニ之ヲ課シタル學校ニアリテハ本表中第三學年第四學年手工ノ時間ハ之ヲ國語ニ配當シ第五學年第六學年手工ノ時間ハ男兒ニ在リテハ之ヲ圖畫、唱歌ニ各一時間ツ、配當シ女兒ニ在リテハ之ヲ唱歌、裁縫ニ各一時間ツ、配當スルモノトス

尋常小學校 尋常高等小學校 尋常科 兒童ニ

圖畫教育ノ件 明治四十一年三月卅日 大阪市告示第二七號

本市尋常小學校及尋常高等小學校尋常科第一學年第二學年兒童ニ圖畫ヲ課スルモノトシ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

尋常小學校夜間教授

明治廿七年五月十二日 大阪市告示第一二號

市立尋常小學校ニ於テ其必要ニ應シ夜間教授ヲナスコトヲ得
但書 (小學校令第十八條)ニヨリ自然消滅

小學校授業料規程

明治廿六年九月六日 大阪市告示第三五號

本年一月告示第一號小學校授業料規程左ノ通改正シ來ル十月一日ヨリ施行ス

大阪市立小學校授業料規程

- 第一條 (明治廿七年四月府令第六六號ニ依リ消滅) 一家兒童同時ニ數名同一負擔區ノ尋常小學校ニ就學スルトキハ其授業料一名ハ全額トシ他ハ半額トス但補習科ヲ設クル場合ニ於テハ正教科ノ兒童一名ヲ全額トス
- 第二條 尋常小學校ニ就學スル兒童ノ保護者ニシテ市稅ヲ免除セラレ又ハ納稅延期ノ許可ヲ受ケ若クハ公費ノ救助

ヲ受クルモノナルトキハ授業料ヲ免除ス
前項ニ該當セザルモノト雖モ貧窮ナル場合ニ於テハ區長ニ於テ調査ヲ遂ケ其授業料ヲ全部若クハ金五錢マテニ免除スルコトヲ得

第四條 小學校負擔區域外ヨリ就學スル兒童ノ授業料ハ定額ノ半ヲ増加ス但區域内ニ住居スルモノト雖モ一月ヲ拂ヘザルモノナルトキハ亦同シ

前條第二項及本條ノ場合ニ於テ第二條ニ該當スルトキハ尙ホ之ヲ適用ス

第五條 本市内甲小學校負擔區ヨリ乙小學校負擔區ニ轉住シタルモノハ更ニ其月分ノ授業料ヲ乙區ニ納ムルニ及ハス其就學ノ場所ノミヲ轉シタルモノ亦同シ但甲區小學校ニ出席セザルトキハ此限ニアラス

第六條 轉住等ノ爲メ授業料額ニ異動ヲ生シタルトキハ翌月分ヨリ其異動シタル額ニ依リ徵收ス

第七條 第三條ニ依リ授業料ノ全部若クハ一部ノ免除ヲ請ハントスルモノハ區長ニ申立ツヘシ

編入町村内ノ高等兩教科併置ノ小學校へ一家ノ兒童同時ニ數名就學シタルトキ授業料徵收方

明治卅一年八月五日 大阪市告示第二三號

元郡部ヨリ大阪市ニ編入ノ區域内ニアル尋常兩教科併置ノ小學校授業料ハ一家ノ兒童同時ニ數名就學スルトキハ明治二十六年九月大阪告示第三十五號大阪市立小學校授業料規程第二條ノ本文ニ依ラス當分ノ内尋常兩教科ヲ通シテ一名ハ全額トシ他ハ半額ト爲スコトヲ得

授業料徵收期日

明治廿六年四月十日 大阪市訓令參三第二〇號

小學校授業料徴收期日ハ該負擔區ノ狀況ニ依リ其役所ニ於テ便宜規定シ施行スヘシ
但其期日ハ報告スヘシ

幼稚園設置負擔區域

明治廿五年十一月廿六日
大阪市告示參第三八號

幼稚園設置ニ關スル件市會ノ議決ヲ經テ左ノ通相定ム
明治二十三年十月勅令第二百十五號小學校令第四十條ニ依リ尋常小學校設置負擔區域ニシテ各幼稚園ヲ設置セシムルモノトシ其區ヲ以テ負擔區域ト定メ來明治二十六年四月一日ヨリ施行ス其位置ハ區會ノ定ムル所ニ依ル但區ノ情況ニヨリ幼稚園ノ設置ヲ必要トセサルトキハ區會ノ議決ヲ以テ其旨稟申スヘシ

幼稚園徒弟學校規則

明治廿六年六月廿一日
大阪市告示參第二五號

幼稚園徒弟學校ノ規則ハ其設置負擔區ヲシテ規定セシムルモノトス

幼稚園準則

明治廿五年十二月十五日
訓令學第一三八號

各區 役所

明治二十六年三月大阪市訓令參三第一九號本市立幼稚園準則左ノ通改正候條右ニ照準シ規則ヲ改定スヘシ
大阪市立幼稚園準則
第一條 幼兒ノ保育期間ハ年齡滿三歳ヨリ尋常小學校ニ入學スル迄トス
第二條 幼兒保育ノ項目ハ遊戲、唱歌、談話、及手技トス
第三條 保育ノ時數ハ每週最下ノ組ハ二十二時間最上ノ組ハ二十七時間迄トス

前項ノ時數ニハ食事時間ヲ包含ス
第四條 年中休業日ハ左ノ如シ

一 祝日、大祭日
二 日曜日

三 夏期休業 自八月一日至全月三十一日
四 冬期休業 自十二月廿五日至翌年一月七日
五 年度末休業 自三月二十七日至全月三十一日

六 鎮守祭日 (幼稚園所在地ノ神社ニ限ル)

七 幼稚園創立紀念日

第五條 始業時刻ハ左ノ如シ

自四月三十日 午前八時三十分
自九月三十日 午前八時三十分
自十一月三十日 午前九時三十分
自翌年三月二十六日

第六條 夏期休業前後各二十日以内ニ於テ毎日ノ保育時數ヲ二時マテニ減スルコトヲ得

第七條 祝日大祭日ニ於テハ本市立小學校ニ準シテ儀式ヲ行フコトヲ得

第八條 入園ハ毎年四月之ヲ許ス但シ臨時入園セシムルコ

トアルヘシ
第九條 入園セシメントスルモノハ左ノ書式ニ依リ願書ヲ差出スヘシ

入園願

原籍族稱職業戶主トノ關係
住所

氏名

生年月日

右今般入園爲致度御許可ノ上ハ園則堅ク爲相守可申ハ勿論本人身上ニ關スル事項ハ一切拙者ニ於テ引受可申候仍テ此段相願候也

住所族稱職業

保護者 氏名

印

何幼稚園長何誰殿

第十條 退園若クハ病氣其他ノ事故ニテ一週日以上缺席セシメントスルトキハ其旨園長ニ申出ツヘシ

第十一條 無届缺席一箇月以上ニ及フトキハ除名スルコトアルヘシ

● 小學校教員賄料療治料 住宅料給與並其支給方法

明治卅四年三月廿六日
大阪市告示第一一號

明治三十三年十月大阪府令第六十八號第三十三條第三十四條第三十五條第三十七條ニ依リ本市立小學校教員賄料、療治料、住宅料給與並ニ其支給方法左ノ通相定ム

小學校教員賄料、療治料、住宅料給與並ニ其支給方法

- 第一條 教員宿直賄料ハ一夜拾錢トス
- 第二條 學校長又ハ教員ニシテ職務ノ爲傷損ヲ受ケ若クハ疾病ニ罹リタル者ノ療治料ハ病院ヘ入院療養ヲナスモノハ一日壹圓五拾錢其他ニ於テ療養スルモノハ一日五拾錢ヲ給ス
- 第三條 前條ニ依リ支給スルノ外其傷損疾病ノ狀況ニ依リ特ニ相當ノ療治料ヲ補給スルコトアルヘシ
- 第四條 學校長及教員ニハ本市内ニ居住スルモノニ限リ住

宅料ヲ支給ス

第五條 住宅料ハ左ノ月額ニ依リテ之ヲ給與ス

明治卅九年七月卅日
大阪市告示第五八號改正

- 一 小學校長 五圓
- 二 正教員 參圓
- 三 准教員 貳圓
- 第六條 新任又ハ他ヨリ轉任ノ者ハ本市内ニ住居ヲ定メタル日ヨリ日割ヲ以テ支給ス
- 第七條 市内轉任ノモノハ發令ノ當日迄ヲ舊任負擔區ニ於テ翌日以降ノ分ハ新任負擔區ニ於テ支給ス
- 第八條 退職休職若クハ死亡ノ者ハ其月分ノ全額他ヘ轉任又ハ免職失職ノ者ハ日割ヲ以テ支給ス
- 第九條 第四條ノ支給上ニ異動ヲ生シタルトキノ計算方法ハ日割トス
- 第十條 療治料ハ隨時之ヲ支給シ賄料住宅料ハ毎月二十一日之ヲ支給ス但休日ニ當ルトキハ順延トス
- 第十一條 左ノ場合ニ於テハ支給日ニ關ラス其際支給ス

- 一 依職退職又ハ死亡ノトキ
- 二 他ヘ轉任ノトキ
- 三 支給定日後新任若クハ轉任シ來リタルトキ
- 第十二條 宅料ヲ支給スルニ當リ計算上厘位未滿ノ端數ヲ生スルトキハ之ヲ切捨ルモノトス但日割計算法ハ其月ノ現日數ニヨリ前乘後除トス

附則

第十三條 本規程ハ明治三十四年四月一日ヨリ施行ス

第十四條 第五條住宅料ノ金額ハ小學校設置負擔區ノ狀況ニ依リ明治三十五年三月三十一日迄之レニ依ラサルコト

ヲ得

● 小學校教員賄料療治料 住宅料給與並其支給方法 法ヲ幼稚園保母ニ準用

明治卅四年四月八日
大阪市告示第一八號

● 小學校代用教員賄料療治料住宅料給與並其支給方法

明治卅四年十月一日
大阪市告示第六〇號

本市立幼稚園設置負擔區ニ於テハ其區ノ情況ニ依リ本年三月本市告示第一一號ヲ幼稚園保母ニ準用スルコトヲ得但住宅料ヲ給與スル場合ニ於テハ有給幼稚園長(小學校長又ハ教員ヨリ兼ヌル者ヲ除ク)ハ一ヶ月五圓トシ本科正教員ノ資格アル保母ハ一ヶ月參圓トシ其他ノ保母及雇保母ハ一ヶ月貳圓トス(明治卅九年七月卅日大阪告示第五九號追加)

●小學校及幼稚園兒童郊外

運動ニ關シ注意方

明治廿六年十一月十七日
大阪市訓令第六號

區 役 所

小學校兒童及幼稚園幼兒ナ時々郊外山野ニ引率シテ遊歩進
 動セシムルハ心神ヲ爽快ナラシメ活潑ノ氣象ヲ養ヒ且實地
 指教上裨益アルヘシト雖モ苟モ其方法宜キ得サレハ管ニ教
 育上ニ益ナキノミナラス反テ之ニ因リテ生スル弊害モ亦少
 ナカラサルニ付其施行上ニ關シテ注意スヘキハ勿論尙左記
 事項ノ類ニ付更ニ不都合ナキ様注意スヘシ

- 一 宿泊ヲ要スヘキ地ハ勿論兒童不相應ナル遠路ノ地ニ引率セシメサルヲ要スル事
- 一 運動ハ日出後日没前ニ於テ之ヲ施行シ且其方法ニ注意シ總テ危險ニ涉ラサルヲ要スル事
- 一 運動其度ニ適セス爲メニ後日ノ課業ヲ妨ケ之ヲ廢スル

ニ至ラシメサルヲ要スル事

- 一 往返ノ道途及運動ノ場所撰定ニ就キ注意ノ周到ヲ缺キ若クハ監督ノ不行届ニ依リ危險ノ虞ナカラシムルヲ要スル事
- 一 往返ノ途上ニ在リテハ殊ニ紀律ヲ整ヘ靜肅ヲ旨トシ徒ラニ大聲ヲ發シ若クハ惡戯ヲナス等總テ不行儀ノ所爲アラシメサルヲ要スル事
- 一 兒童ヲシテ金錢ヲ携帯セシムヘカラサル事
- 一 兒童ノ服裝ハ質素ヲ旨トシ華美ニ流レサルヲ要スル事但女兒ニ在リテハ特ニ注意ヲ要スル事
- 一 飲食物ハ成ルヘク之ヲ輕易ニシ分量ノ度ヲ節スルハ勿論總テ衛生上ノ注意ヲ怠ラサルヲ要スル事
- 一 附添ノ者アルトキハ其者ニ於テモ前諸項ノ趣旨ヲ失ハサルヲ務メシムル事

第二節 實業補習學校及其他

●實業補習學校設置區域

明治廿六年十二月廿八日
大阪市告示第四三號

實業補習學校ノ設置ヲ必要トスルトキハ小學校設置負擔區ニ於テ設置スルコトヲ得

●實業補習學校準則

明治卅五年十月廿日
訓令學第一二二號

區 役 所

本市立實業補習學校準則左ノ通相定メ候條右ニ照準シ規則ヲ制定スヘシ

實業補習學校準則

第一條 本校ハ明治三十五年一月文部省令第一號實業補習學校規程ニ依リ商(工)業ニ從事シ又ハ從事セントスル者ニ簡易ナル方法ニ依リ其商(工)業ニ要スル智識技能ヲ授

ク兼テ小學校教育ノ補習ヲ爲スチ目的トス

第二條 本條ハ何々實業補習學校ト稱シ何々小學校ニ附設ス

第三條 本校教授時數ハ每週十二時内外トシ日ノ長短生徒業務ノ繁閑ニ依リ午後五時ヨリ十時迄ノ間ニ之ヲ定ム

第四條 本校ノ休業日ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 祝日 大祭日
- 日曜日
- 夏季休業日 自八月一日至同月三十一日
- 冬季休業日 自十二月廿五日至翌年一月十日
- 偶數月ノ末日

(學校所在地神社ニ限ル)

鎮守祭日

第五條 本校ノ教科目ハ實業ニ關スル科目修身國語算術ト

ス但修身ハ國語ニ附帶シテ授クルコトアルヘシ

第六條 實業ニ關スル科目ハ左ノ如シ

一 商業 商業算術、商業書信、商事要項、商品、商業地理、

簿記、商業ニ關スル法令、外國語ノ類

一工業 物理、化學、圖畫、模型、幾何、製圖、圖案、
力學、材料、工具、製作ノ類

本條ノ教科目ハ生徒各自ノ志望ニ依リ其ノ事項若クハ數
科目ヲ撰擇專修セシム

第七條 各教科目ノ修業期間毎週教授時數並ニ課程ハ別表
ニ依ル

第八條 本校ハ隨時入學ヲ許ス

第九條 入學者ノ資格ハ年齢十年以上ノ男兒ニシテ尋常小
學校卒業以上ノ學力ヲ有シ身體健全ノ者タルヘシ

但尋常小學校ヲ卒業セサルモ學齡ヲ過キタル者ハ學校
長ノ見込ニ依リ特ニ入學セシムルコトアルヘシ

第十條 入學セントスルモノハ左式ノ願書ヲ差出スヘシ

入學願書

原籍 族稱 職業 戶主トノ關係

志望科目

原籍 族稱 職業 戶主トノ關係

名 生年月日

履歷ノ概要(何年何月何學校卒業等)

右ノ者今般御校ニ入學爲致度御許可ノ上ハ御校規則堅ク
爲相守可申ハ勿論本人身上ニ關スル事項ハ一切拙者ニ於
テ引受可申此段相願候也

住所 族稱 職業

年月日 父兄(保證人) 氏 名 印

何々實業補習學校長何某殿

第十一條 退學セントスル者ハ其事由ヲ詳記シ左式ノ届書
ヲ差出スヘシ

退學届

何 科 氏 名

右ノ者何々ノ事故ニ因リ退學爲致候間此段及御届候也

年月日 父兄(保證人) 氏 名 印

何々實業補習學校長何某殿

第十二條 引續キニヶ月以上無届缺席シタル者ハ除名スル
コトアルヘシ

第十三條 左記第一號ニ該當スル者ハ退學ヲ命ジ第二號ニ

該當スル者ハ出席ヲ停止スルコトアルヘシ

一 性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二 傳染病ニ罹リ若クハ其虞アル者

第十四條 各教科目ノ修了ハ其修業期間内ノ出席數及學業
ノ成績ニ依リ之ヲ認定シ左ノ證書ヲ授與ス

修了證書式

族 稱

何 誰 生年月

右ハ本校ニ於テ前書ノ科目ヲ修了セリ仍ツテ茲ニ之ヲ證
ス

年月日

大阪市立何實業補習學校長 氏 名 印

第何號

第十五條 修身國語算術及實業(工業農業)ニ關スル各科目
ヲ修了シタルモノニハ左ノ卒業證書ヲ授與ス

卒業證書式

族 稱

何 誰 生年月

右ハ本校(何業)ノ學科ヲ卒業セリ仍ツテ茲ニ之ヲ證ス
年月日

大阪市立何實業補習學校長 氏 名 印

第何號

第十六條 生徒在學中ノ品行ヲ査察シ善良ナリト認メタル
者ニハ卒業ノ際左記ノ證明書ヲ與フルコトアルヘシ

證明書

族 稱

何 誰 生年月

本校在學中品行方正ニ付之ヲ證明ス
年月日

年月日

大阪市立何實業補習學校長印
第十七條 授業料額ハ一ヶ月金何程トシ設置負擔區外ヨリ

就學スルモノハ金何程トス

第十八條 學校ノ休業又ハ生徒ノ缺席全月ニ及フトキハ其月ノ授業料ヲ徴收セス

(別紙)

學科目	教授ノ要旨及程度	每週教授時數	修業期間

● 徒弟學校設置負擔區域

明治二十六年四月五日
大阪市告示第一四號

尋常小學校設置負擔區ニ於テ徒弟學校ノ設置ヲ必要トスルトキハ其區ヲ以テ負擔區トシ設置セシムルモノトス但其位置ハ區會ノ定ムル所ニ依ル

● 裁縫學校附設ニ關スル件

明治廿四年四月二日
市會 議決

本市立小學校ニ附設セル裁縫專修科ニシテ尙繼續ノ必要アルモノハ裁縫學校ノ組織ニ改ムルモノトス
但修業年限ハ四ケ年以内ニ於テ之ヲ定ムルモノトス

● 裁縫學校裁縫科教員ニ附料療治料住宅料給與規程

明治廿五年七月十八日
訓令 學第五九號

本市立裁縫學校設置負擔區ノ情況ニ依リテハ明治三十四年三月本市告示第十一號ヲ裁縫學校裁縫科教員ニ準用スルコトヲ得ルモノトシ取扱フヘシ

第三節 盲啞學校

● 市立大阪盲啞學校設置

明治四十年四月廿六日
告示 第三〇號

本市會ノ議決ヲ經、大阪府知事ノ認可ヲ得テ南區櫻町一丁目ニ市立大阪盲啞學校ヲ設置ス

● 市立大阪盲啞學校規則

明治四十年七月九日
大阪市規則第一號

本市會ノ議決ヲ經大阪府參事會ノ許可ヲ得テ市立大阪盲啞學校規則左ノ通相定ム

市立大阪盲啞學校規則

第一章 總 則

第一條 本校ハ盲啞者ニ對シ小學校令第一條ノ趣旨ニ基キ

普通教育ヲ施シ併セテ自活スルニ足ルヘキ高等ノ學術技藝ヲ授クルヲ以テ本旨トス

第二條 本校ニ訓盲教員ノ二部ヲ置キ更ニ各部ヲ分チテ普通科技藝科トス
普通科技藝科ヲ卒業シタル者ノ爲ニ修業年限三箇年以内ノ專攻科ヲ設クルコトアルヘシ

第三條 生徒定員ハ三百人トス

第二章 教科、課程

第四條 訓盲部普通科ノ教科目ハ修身、國語、算術、地理、歴史、理科、音樂、体操トシ其課程及每週教授時數ハ第一號表ニ依ルヘシ

第五條 教誨部普通科ノ教科目ハ修身、國語、算術、地理、歴史、理科、圖畫、体操、手工、裁縫トシ其課程及每週教授時數ハ第二號表ニ依ルヘシ

第六條 訓盲部技藝科ノ教科目ハ音樂、鍼按トシ、教誨部技藝科ノ教科目ハ文書、圖畫、裁縫トシ各其一教科目ヲ選擇履修セシムルモノトス其課程及每週教授時數ハ第三號表乃至第七號表ニ依ルヘシ

第三章 修業年限

第七條 普通科ノ修業年限ハ各五箇年トス
 第八條 訓育部技藝科ノ修業年限ハ音樂科鍼灸科ヲ各五箇年トシ、教職部技藝科ノ修業年限ハ圖畫科、裁縫科ヲ各五箇年トシ、文書科ヲ三箇年トス

第四章 學年、學期、始業時間、休業日

第九條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
 第十條 學年ヲ三學期ニ分ツ

第一學期 自四月 二十一日
 至七月 二十日
 第二學期 自九月 六日
 至十二月 二十四日
 第三學期 自一月 八日
 至翌年三月 三十一日

第十一條 毎日ノ始業時刻ハ午前九時トス

第十二條 毎教授時間中ノ放課時間ハ普通科第一學年第二學年ハ二十分間トシ普通科第三學年以上及技藝科ハ十五分間トス

第十三條 休業日ヲ定ムルコト左ノ如シ
 一、祝日 大祭日

二、日曜日

三、夏季休業

自七月 二十一日
 至九月 二十五日
 自翌年一月 七日
 自三月 二十七日
 至三月 三十一日

四、冬季休業

五、學年末休業

六、學校創立紀念日

第十四條 學校長ハ夏季、冬季休業日ノ前後各二十日以内ニ於テ毎日教授時數ヲ一時間若クハ二時間ツ、減スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ教授時數ヲ減シタルトキハ各教科目ノ每週教授時數ハ學校長ニ於テ之ヲ定メ市長ニ報告スヘシ

第五章 入學、退學

第十五條 入學期ハ每學年ノ始メ一回トス但時宜ニ由リ臨時入學ヲ許スコトアルヘシ

第十六條 入學スルコトヲ得ル者ハ年齢滿六歲以上十八歲以下ノ盲聾者トス、但特別ノ事情アルモノハ十八歲以上ノ者ト雖モ入學ヲ許スコトアルヘシ

第十七條 入學セントスル者ハ其保護者ヨリ入學者ノ原籍

住所、氏名、生年月日、従前ノ經歷、盲聾者トナリシ原因、保護者ノ原籍、住所、氏名、職業、入學者トノ關係ヲ記シタル書面ヲ以テ學校長ニ願出ツヘシ

入學後前項記載ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滞ナク其旨學校長ニ届出ツヘシ

第十八條 普通科ヲ卒業シタル者ニアラサレハ技藝科ニ入ルコトヲ得ス

尋常小學校第四學年ノ課程ヲ修業シ若クハ之ト同等以上ノ學力アル盲聾者ハ直ニニ技藝科ニ入ルコトヲ得

第十九條 學校長ハ傳染病ニ罹リ若クハ其處アル生徒又ハ性行不良ニシテ他ノ生徒ノ教育ニ妨害アリト認メタル生徒ニ對シテ出席ヲ停止スルコトヲ得

第二十條 學校長ハ小學校令第三十三條ニ依リ就學義務ノ免除若クハ就學猶豫ノ認可ヲ受ケタル兒童又ハ年齢滿十四歲以上ノ生徒ニシテ到底成業ノ見込ナシト認メタルトキハ退學ヲ命スルコトアルヘシ

第二十一條 學校長ハ前二條ノ規定ニ依リ生徒ノ出席ヲ停

止シ又ハ退學ヲ命シタルトキハ遲滞ナク之ヲ市長ニ報告スヘシ

第二十二條 在學者ニシテ退學セントスルトキハ其保護者ヨリ事由ヲ具シテ學校長ニ届出ツヘシ、但シ就學義務期間中ニ在ル兒童ハ退學シ得ヘキ限リニアラス

第六章 進級、卒業

第二十三條 普通科ニ於テハ試験ヲ行ハス學校長ニ於テ生徒ノ學業進行ヲ査定シ適當ト認メタル者ハ學年末ニ於テ進級又ハ卒業セシムヘシ

第二十四條 技藝科ニ於テハ試験ヲ分チテ學期試験、學年試験ノ二トシ、學期試験ハ每學期末ニ於テ學年試験ハ每學年ノ終リニ於テ各之ヲ行ヒ學年試験ニ合格シタル者ハ進級又ハ卒業セシムヘシ

第三學期末ノ學期試験ハ之ヲ以テ其學年ノ學年試験ニ代フルコトアルヘシ

第二十五條 進級者ニ授與スヘキ修業證書及卒業者ニ授與スヘキ卒業證書ハ左ノ書式ニ依ルヘシ

修業證書

印

族籍

氏名

生年月

本校訓育部(教匯部)普通科
(技藝科何々)第何學年ノ課
程ヲ修業セシコトヲ證ス

年月日

市立大阪盲聾學校長氏名印

第 號

卒業證書

印

族籍

氏名

生年月

本校訓育部(教匯部)普通科
(技藝科何々)ノ教科ヲ卒業
セシコトヲ證ス

年月日

市立大阪盲聾學校長氏名印

第 號

第七章 授業料

第二十六條 授業料ハ市内在住者ハ一人一ヶ月金參拾錢ト

シ市外在住者ハ一人一ヶ月金六拾錢トス

第二十七條 貧窮ノ爲メ授業料ヲ納ムルコト能ハサル者ニ

對シテハ授業料ノ全部又ハ其半額ヲ免除ス

一家ノ者ニシテ同時ニ二人以上入學スルトキハ一人ノ外

ハ各授業料ヲ半額トス

第二十八條 授業料ハ毎月十五日迄ニ其月分ヲ納付スヘシ

但シ八月分ハ納付スルニ及ハス

第八章 寄宿舎

明治四十一年三月三十一日

第二十九條 寄宿舎ニ入ルコトヲ得ヘキ者ハ聾者年滿滿七

歳以上、盲者年滿滿八歳以上タルヘシ

前項ノ年齢ニ達シタル者ト雖モ心身發育ノ狀況ニヨリ學

校長ニ於テ不適當ト認メタルトキハ其入舎ヲ許可セサル

コトアルヘシ

第三十條 寄宿舎ニ入ラントスル者ハ左ノ書式ニ依リ保護

者并ニ保證人連署シテ願書ヲ差出スヘシ但保證人ハ大阪

市内ニ住居シ一家計ヲ立ツル者タルヘシ

入 舎 願

何部何科生

氏

名

生年月日

右御校寄宿舎ニ入舎爲致度御許可ノ上ハ御規則ヲ遵守シ

寄宿料諸費其他一切ノ事件引受テ可申此段相願候也

現住所

保護者 氏

名 印

年月日

現住所

保護人 氏

名 印

學校長 氏名宛

第三十一條 退舎セントスルトキハ保護者ニ於テ保證人連

署ノ上學校長ニ願出ツヘシ

第三十二條 寄宿料ハ食費、舍費(薪炭)ヲ支辨スルモノト

シ其金額ヲ一ヶ月凡六圓トス、但物價ノ高低ニ因リ其金

額ヲ増減スルコトアルヘシ

第三十三條 寄宿料ハ毎月末日マテニ其翌月分ヲ舍監ニ寄

託スヘシ、但ニヶ月分以上ナリ一時ニ寄託スルモ妨ナシ
 第三十四條 寄宿生ニシテ疾病若クハ傷疾ノ爲メ治療上必要アリト認メタルトキハ病院ニ入ラシメ又ハ外泊歸郷等ヲ命
 スルコトアルヘシ
 第三十五條 寄宿生ニシテ舍則ニ背キ又ハ性行不良ニシテ他ノ生徒ノ爲ニ妨害アリト認メタルトキハ退舍ヲ命スルコト
 アルヘシ

第一號表

訓育部 普通科 課程表

學年	科目	修身	國語	
			級方	讀方
第一學年	每週教授時數	二 道徳ノ要旨	三 近易ナル普通文(點字)	五 近易ナル普通文(點字)
第二學年	每週教授時數	二 全 上	四 全 上	六 全 上
第三學年	每週教授時數	二 全 上	四 全 上	六 全 上
第四學年	每週教授時數	二 全 上	四 全 上	六 普通文
第五學年	每週教授時數	二 全 上	五 普通文	六 全 上 歌詞大意

學年	科目	修身	地理	歴史	理科	音楽	体育	計
第二學年	四 加減乗除 (珠算)				二 全 上	四 遊 戲 普通体操	二四	二四
第三學年	四 全 上	二 日本地理ノ大要	二 日本歴史ノ大要 替人傳		二 全 上	三 全 上	二七	二七
第四學年	四 四則應用 小数(珠算)	二 全 上	二 全 上	二 全 上	一 動物植物及自然 現象ノ大要	三 全 上	二七	二七
第五學年	五 分數、比例	二 外國地理ノ大要	二 外國歴史ノ大要		二 通常物理化學 上ノ現象及人 身生理衛生ノ 大要	一 複音唱歌	二八	二八

第二號表 教職部 普通科 課程表

科目	學年	授時數	國語			算術	地理	歷史	理科	體操
			讀方	綴方	書方					
修身	第一學年	二	二	五 <small>假名ノ單語單 旬單文 發音視話</small>	二 <small>假名ノ單語單 旬單文 發音視話</small>	三 <small>二十以下ノ數 ハ方書キ方 加減乘除</small>				五 遊戯
	第二學年	二	二	六 <small>近易ナル普通 文 發音視話</small>	四 <small>四全上、短文 (全)</small>	三 <small>百以下ノ數ハ 方書キ方、加 減乘除</small>				四 普通體操
	第三學年	二	二	六 <small>口上談</small>	六 <small>近易ナル普通 文</small>	二 <small>日用書類</small>	五 <small>通常ノ加減乘 除</small>			三 全上
	第四學年	二	二	六 <small>全上</small>	六 <small>全上</small>	二 <small>全上</small>	五 <small>四則應用 度量衡、貨幣 (珠算加減)</small>			三 全上
	第五學年	二	二	五 <small>全上</small>	四 <small>全上</small>	二 <small>全上</small>	五 <small>全上</small>			三 全上 <small>器械體操</small>

第三號表

訓官部音樂科課程表

學年	修身	授時數	圖畫	裁縫	手工	計	學科	
							第一學年	第二學年
第一學年	二	九			一 <small>簡易ナル細工</small>	二	九 <small>平物、表組</small>	
第二學年	二	九	一 <small>單形</small>	一 <small>運針法</small>	一 <small>全上</small>	二	九 <small>平物、表組、 許物</small>	
第三學年	二	九	一 <small>簡易ナル形体</small>	一 <small>通常ノ衣類ノ 縫方</small>	一 <small>全上</small>	二	九 <small>平物、裏組、 許物</small>	
第四學年	二	九	一 <small>簡易ナル形体 (鉛筆畫)</small>	一 <small>通常衣類ノ縫 方、縫方</small>	一 <small>全上</small>	二	九 <small>平物、裏組、 許物、中組、 替手</small>	
第五學年	二	九	一 <small>諸般ノ形体 (全上)</small>	一 <small>通常衣類ノ縫 方、裁方</small>		二	九 <small>平物、許物、 中組、替手</small>	

第四號表

訓育部 鍼按科 課程表

學年	每週授時數	科目	修身	解剖	三絃			和歌			體操			計
					一	二	三	一	二	三	一	二	三	
第一學年	二	二	二	二	一	二	一	二	一	二	一	二	二	二
第二學年	二	二	二	二	一	二	一	二	一	二	一	二	二	二
第三學年	二	二	二	二	一	二	一	二	一	二	一	二	二	二
第四學年	二	二	二	二	一	二	一	二	一	二	一	二	二	二
第五學年	二	二	二	二	一	二	一	二	一	二	一	二	二	二

第五號表

教匯部 文書科 課程表

學年	每週授時數	科目	修身	生理	病理	按摩	鍼治	體操	計		
									一	二	三
第一學年	二	二	二	二	二	二	二	三	二	二	二
第二學年	二	二	二	二	二	二	二	三	二	二	二
第三學年	二	二	二	二	二	二	二	三	二	二	二

第六號表
教職部 圖畫科 課程表

計	體操	遊記	圖畫	筆談	綴方	寫方	書方	教科/學年	
								每週授時數	第一學年
三三	三 遊、普通體操、器械體操	一 簡易ナル簿記	二 簡易ナル諸物形体	二 日常須知ノ事項	二 普通公文	二 細字	一〇 楷書、行書	三三	二 遊、普通體操、器械體操
三三	三 上	一 上	二 上	二 上	二 上	二 細字、連書	一〇 楷書、行書、草書	三三	三 上
三三	三 上	一 上	二 上	二 上	二 上	一〇 全上	一〇 全上	三三	三 上

第七號表

計	體操	博物	歷史	筆談	圖畫		修身	教科/學年	
					圖案	繪畫		每週授時數	第一學年
三三	三 遊、普通體操、器械體操	一 植物	一 繪畫歷史	二 手工ニ必要ナル事項		二 寫真、臨摹、寫生	二 道德ノ要旨	三三	二 寫真、臨摹、寫生
三三	三 上	一 植物	一 上	二 上		二 全上	二 上	三三	二 全上
三三	三 上	一 植物	一 上	二 上		二 全上	二 上	三三	二 全上
三三	三 上	一 植物	一 上	二 上	一 三平面圖案法	一 三全上 幾何畫法	二 上	三三	一 三全上 幾何畫法
三三	三 上	一 上	一 上	二 上	一 三立休圖案法	一 三全上 透視畫	二 上	三三	一 三立休圖案法

教誨部 裁縫科 課程表

學年	授時數	裁縫		修身	授時數
		和服	洋服		
第一學年	二	二	二	二	二
第二學年	二	全	全	二	二
第三學年	二	全	全	二	二
第四學年	二	全	全	二	二
第五學年	二	全	全	二	二

計	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三
算術	一	一	一	一	一	一
筆談	二	二	二	二	二	二
圖畫	一	二	一	一	一	一
体操	三	三	三	三	三	三

市立大阪盲啞學校職制

明治四十年七月九日 大阪市規則第二號

本市會ノ議決ヲ經大阪府參事會ノ許可ヲ得テ市立大阪盲啞學校職制左ノ通り相定ム

市立大阪盲啞學校職制

第一條 市立大阪盲啞學校ニ左ノ職員ヲ置フ

- 校長
 - 教諭
 - 助教
 - 舍監
 - 囑託教員
 - 書記
- 明治四十一年三月卅一日 規則第二號追加

第二條 學校長ハ校務ヲ整理シ所屬職員ヲ統督ス

第三條 教諭ハ生徒ノ教育ヲ擔任シ且ツ之ニ關スル事務ヲ掌ル

第四條 助教諭及囑託教員ハ教諭ノ職務ヲ補助ス

第五條 舍監ハ寄宿舍ニ關スルコトヲ掌ル(明治四十一年三月卅一日規則第二號追加)

第六條 書記ハ學校長ノ指揮ヲ受ケ庶務會計ニ從事ス

舍監ハ教諭若クハ助教諭ヲシテ之ヲ兼務セシム

第六條 書記ハ學校長ノ指揮ヲ受ケ庶務會計ニ從事ス

市立大阪盲啞學校授業料

徴收取扱方心得

明治四十一年四月十九日 大阪市訓令學第一七號

特別講義	電氣學	諸機械	冶金學及試金術	發動機	應用力學	工作法	機械製圖	体操	外國語
						二		二	四
								兵式通操	英
								操操	語
					二	二	三	二	三
					二			全	全
					二			上	上
	二	二	二	四	二		二	二	三
	電氣工學	一般製造機用	鐵冶金學	各種發動機	全上機構			上	上
二	(3)	(2)	(1)					二	二
計	ダイナモ、モトル等使用及股	特種機械	鐵製造冶金學試金術					上	上

合計	實習	計
三九	二	二七
	板 鍛 鑄 木	
	金 工 造 型	
三九	一五	二四
	製 上 仕 上	
三九	一五	二四
	製 上 製 圖	
三九	三(1)	七
	三(2)	
	三(3)	
	機電氣	
	製水ノ汽施測機 圖力取埔工定械 等試扱汽法使 驗、機、用	
	圖取繕試工仕 等扱汽驗、材 製ノ汽料旋	
	製ノ汽料分 圖取繕試拆 等扱汽驗、材	

備考
 (一) 等四學年ニ於テ(1)(2)(3)ノ學科及實習ノ中其一ヲ專修セシム
 (二) 第四學年ニ於ケル實習ハ便宜他ノ工場ニ於テナスコトヲ得
 (三) 各學年ニ於ケル實習ニ關スル講話ハ隨時工場敷附設ノ室ニ於テ之レヲ課ス

建築科

物理及化學	數學	國語	修身	教 科 目		第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
				授時數	程 度				
四	五 工學上必要ナル 數理及計算	三	三	道德ノ要旨 讀書作文	三	三	三	三	一
	四	三	上	上	三	三	上		

特別講義	施工法	測量	規矩法	家屋構造	建築材料	應用力學	体操	外國語	圖畫
					二		二	四	七
							兵將 式通 体体 操操	英 語	幾何 在 畫畫
			一	三	一	一	二	三	三
						材力 料強 弱學	上	上	配 景 畫
二	二		一	三		二	二	三	
						上	上	上	
二	二	二		三		一	二	二	
						上	上	上	

計	二七		二四		二〇	一五
實製	習圖	一二	一五		一九	二四
合	計	三九	三九	三九	三九	三九

第八條 選科ノ教科目及其程度並ニ每週教授時數ハ機械科 建築科ニ關シテハ本科ニ準シ分拆科家具科ニ關シテハ學校長別ニ之ヲ定ム

第三章 學年及休業日

第九條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル
第十條 休業日ヲ定ムルコト左ノ如シ

- 一 祝日及大祭日
- 二 日 曜日
- 三 春季 休業
- 四 夏季 休業
- 五 冬季 休業
- 六 學校紀念日

第四章 入學、休學及退學

第十一條 入學ハ每學年ノ始メ選拔試験ヲ行フ

第十二條 入學ノ期日及募集人員ハ學校長之ヲ公告ス

第十三條 入學志願者ハ品行方正身體健全ノ男子ニシテ左記各號ノ一ニ該當スル者タルヘシ

- 一 本科ハ年齡滿十四年以上ニシテ高等小學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スル者
- 二 撰科ハ年齡滿十二年以上ニシテ學校長ニ於テ適當ト認メタル者

本市ノ住民ニアラサル者ハ特別ノ事情アル者ニ限リ入學セシムルコトヲ得

第十四條 前條第一號中高等小學校ヲ卒業セサル者ニハ豫

メ試験ヲ行ヒ之ヲ檢定ス但試験ノ科目ハ國語、算術、理科、地理、歴史トシ修業年限二箇年ノ高等小學校卒業ノ程度ニ依リ之ヲ行フ

第十五條 學科課程ノ同一ナル他ノ工業學校ヨリ轉學セムトスル生徒アルトキハ缺員アル場合ニ限り之ヲ許シ相當學年ニ編入スルコトアルヘシ

第十六條 入學志願者ハ第一號書式ノ入學願書ニ履歷書及戶籍抄本ヲ添ヘ差出スヘシ

第十七條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ第二號書式ノ誓書ヲ差出スヘシ

第十八條 保證人ハ二名トシ一名ハ父兄又ハ後見人一名ハ大阪市内ニ居住シ一家計ヲ立テ生徒ノ身上ニ關シ保證ノ責ヲ負フニ足ルヘキ者タルコトヲ要ス

第十九條 學校長ハ保證人ニシテ其責ヲ完ツスルヲ得スト認メタルトキハ其變更ヲ命スルコトヲ得

第二十條 生徒疾病又ハ其他ノ事故ニ依リ引續キ一箇月以上缺席セムトスル者ハ豫メ學校長ニ出願シ其許可ヲ得テ休學スルコトヲ得

但休學期間ハ該學年ヲ越エルコトヲ得ス

第二十一條 學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

- 一 品行不其ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三 引續キ一箇年以上缺席シタル者
- 四 正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者
- 五 第二十二條 生徒退學セムトスルトキハ其事由ヲ詳記シ相當手續ヲ經テ之ヲ願出ツヘシ

第五章 受験料及授業料

第二十三條 入學志願者ハ受験料トシテ金貳圓ヲ願書ト共ニ差出スヘシ

第二十四條 本科授業料ハ左ノ區別ニ從ヒ指定ノ日ニ於テ其金額ヲ前納スヘシ

種別	年額	期		
		四月	九月	一月
市 住 民	拾六圓	六圓	六圓	四圓
第十三條第二項ニ該當スル者	貳拾圓	七圓	七圓	六圓

撰科ノ授業料ハ市參事會之ヲ定ム

第二十五條 授業料ノ納付ヲ怠リタル者ハ其出席ヲ停止シ又ハ之ヲ除名ス

第二十六條 受験料及授業料ハ納付ノ後ハ之ヲ還附スルコトナシ

第二十七條 疾病其他ノ事故ニ因リ缺席久シキニ亙ルトモ在籍中ハ授業料ヲ徴收ス但休學中ハ授業料ヲ徴收セス

第六章 課程修了及卒業

第二十八條 課程ノ修了又ハ卒業ヲ認ムルニハ平常ノ學業及試験ノ成績ヲ考查シテ之ヲ定ム

第二十九條 試験ハ隨時之ヲ行フ

第三十條 試験及學業ノ考查ニ關スル細則ハ學校長之ヲ定ム

第三十一條 學校長ハ各學年ノ課程ヲ修了セリト認メタルモノハ第三號書式ノ修業證書全學科ノ課程ヲ卒業セリト認メタル者ニハ第四號書式ノ卒業證書ヲ授與ス

第七章 賞 罰

第三十二條 進行學業優等ニシテ他ノ模範トナルヘキ者ハ

之ヲ褒賞ス

褒賞ヲ分チテ褒狀、賞品及特待トス

第三十三條 特待生ハ每學年末ニ於テ其學年ノ成績ニ依リ學校長之ヲ選拔シ次學年間特待生トナス

第三十四條 特待生ニハ一學年間授業料ヲ免ス

第三十五條 特待生ニシテ其資格ヲ失ヒタリト認ムヘキ行為アル者ハ特待生タルコトヲ停止ス

第三十六條 生徒ノ本分ニ違ヒタル行為アル者ハ之ヲ懲罰ス

懲罰ヲ分チテ戒飭、停學及放校トス

第一號書式

入學願書(川紙美濃紙)

私儀今般御校何科(本科)何科第何學年ニ入學志願ニ付御許可相成度別紙履歷書戶籍抄本相添此段相願候也

年 月 日

本 籍

住 所

族 稱 何某何男(兄弟等)又ハ月主

入學志願者 氏 名 印

本 籍

住 所

居 所

族 稱 稱有父(母祖父兄等)又ハ後見人

氏 名 印

市立大阪工業學校長 氏 名 殿

第二號書式

收入 印紙

醫 書

私儀今般御校ニ入學御許可相成候ニ付テハ校規命令及訓育ノ御趣旨ヲ遵守シ專心學業ヲ勉勵可致候仍テ誓書如此候也

本 籍

住 所

居 所

族 稱 何某何男(兄弟等)又ハ月主

年 月 日

氏 名 印

前文何某誓書ノ趣拙者保證ノ責ニ任シ且ツ本人ノ身分ニ係ル一切ノ事ハ拙者ニ於テ引受可申候也

本 籍

住 所

居 所

族 稱 何某ノ父兄又ハ後見人

氏 名 印

保證人 氏 名 印

生 年 月 日

本 籍

住 所

居 所

族 稱 本人トノ關係

氏 名 印

保證人 氏 名 印

生 年 月 日

前記保證人何某ハ本區内ニ居住シ一家計ヲ立ツル者ニ相違無之候也

年月日 區 長印
 前記保證人何某ハ本區内ニ居住シ一家計ヲ立ツル者ニ相違
 無之候也

年月日 區 長印
 第三號書式

修業證書
 番號 族 稱

氏 名

生年月日

右者本校何科(本科)何科第何學年ノ課程ヲ修了セリ仍テ之
 ナ證ス

年月日

市立大阪工業學校

第四號書式

卒業證書

番號 族 稱

氏 名

右者本校何科(本科)何科ノ課程ヲ修了其ノ業ヲ卒ヘタリ仍
 テ之ヲ證ス

年月日

市立大阪工業學校長位勳 氏 名

市立大阪工業學校職制

明治四十年九月六日
 大阪市告示第六二號

本市會ノ議決ヲ經大阪府參事會ノ許可ヲ得テ市立大阪工業
 學校職制左ノ通相定ム

市立大阪工業學校職制

第一條 市立大阪工業學校ニ左ノ職員ヲ置ク

校長

教諭

助教諭

書記

第二條 校長ハ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ統轄ス

第三條 教諭ハ生徒ノ教授ヲ掌ル

第四條 助教諭ハ教諭ノ職掌ヲ助ク

第五條 書記ハ校長ノ指揮ヲ受ケ庶務會計ニ從事ス

市立大阪工業學校

撰科授業料 明治四十年十月廿八日
 大阪市告示第七四號

市立大阪工業學校撰科授業料同校學則第二十四條第二項ニ
 依リ左記ノ通り之ヲ定ム

一撰科機械科 一撰科建築科

教科目數	年額	納期
一科	參圓	四月 九月 一月
二科	壹圓	壹圓
三科	貳圓	貳圓
四科	貳圓	壹圓
五科	貳圓	壹圓
六科	貳圓	壹圓
七科	貳圓	壹圓
八科	貳圓	壹圓
九科	貳圓	壹圓
十科	貳圓	壹圓
十一科	貳圓	壹圓
十二科	貳圓	壹圓
十三科	貳圓	壹圓
十四科	貳圓	壹圓
十五科	貳圓	壹圓
十六科	貳圓	壹圓
十七科	貳圓	壹圓
十八科	貳圓	壹圓
十九科	貳圓	壹圓
二十科	貳圓	壹圓

市立大阪工業學校受驗料
 及授業料徵收取扱方

明治四十一年一月廿一日
 訓令學 第九號

北 區 役 所

市立大阪工業學校

市立大阪工業學校受驗料及ヒ授業料ノ徵收方北區長ニ委任
 セシニ付其ノ取扱方左ノ通り心得ヘシ

四科目以上	七圓	參圓	貳圓	貳圓
六科目以上	拾圓	四圓	參圓	參圓
一撰科分拆科	一撰科家具科			
年額	納期	納期	納期	納期
六	四圓	四月 九月 一月	貳圓	貳圓
	貳圓	貳圓	貳圓	貳圓

- 一市立大阪工業學校長ハ受験人員及期日ヲ確定シ徵收期ニ先タツコト十五日以前ニ於テ北區長ニ通知スヘシ
- 一市立大阪工業學校長ハ受験出願人ニ別紙第一號ノ通知書ヲ交付スヘシ
- 一北區長ハ右通知書ニ依リ別紙第二號ノ納入告知書ヲ調製シ直ニ納入ノ手續ヲ了シ領收證ヲ受験出願人ニ交付スヘシ
- 一市立大阪工業學校長ハ右領收證書ヲ檢閱スヘシ
- 一市立大阪工業學校長ハ授業料徵收期ニ先タツコト十五日以前ニ於テ生徒人名簿ヲ作成シ北區長ニ送付スヘシ
- 一北區長ハ右人名簿ノ送付ヲ受ケタルトキハ別紙第三號様式ノ納入告知書ヲ作り期日前ニ之レヲ市立大阪工業學校ニ交付スヘシ
- 一市立大阪工業學校長ハ右交付ヲ受ケタルトキハ之レヲ生徒ニ交付シ北區役所ニ納入セシムヘシ
- 一北區長ハ受験料又ハ授業料ノ納入アリタルトキハ其ノ人名金額ヲ毎日市立大阪工業學校長ニ通知シ同校長ハ閱覽ノ上之レヲ市役所ニ送付スヘシ

第一號	
通知書	第 號
一 金 圓 也	一 金 圓 也
明 治 年 度	明 治 年 度
何 日	何 日
某 納	某 納
通知書	第 號
一 金 圓 也	一 金 圓 也
明 治 年 度	明 治 年 度
何 日	何 日
某 納	某 納
右收入方御取扱成度候也	
但明治 年度受験料	
何 某	
市立大阪工業學校長	
何 某	
明 治 年 月 日	
北區長	

符 別		書 知 告		書 證 收 領		第 二 號
明 治 年 月 日	一 金 圓 也 明 治 年 度 受 驗 料	第 號	市 立 大 阪 工 業 學 校 受 驗 出 願 人	明 治 年 月 日 大 阪 市 北 區 長 何 某	第 號	市 立 大 阪 工 業 學 校 受 驗 出 願 人
		納				
明 治 年 月 日	一 金 圓 也 明 治 年 度 受 驗 料	第 號	市 立 大 阪 工 業 學 校 受 驗 出 願 人	明 治 年 月 日 大 阪 市 北 區 長 何 某	第 號	市 立 大 阪 工 業 學 校 受 驗 出 願 人
		納				

注意 本領收證ハ受驗場ニ持参シ檢閱ヲ受クヘシ

符 別		書 知 告		書 證 收 領		第 三 號 ノ 一
明 治 年 月 日	一 金 圓 也 明 治 年 度 授 業 料 期 分	第 號	市 立 大 阪 工 業 學 校 本 科 年 生	明 治 年 月 日 大 阪 市 北 區 長 何 某	第 號	市 立 大 阪 工 業 學 校 本 科 年 生
		納				
明 治 年 月 日	一 金 圓 也 明 治 年 度 授 業 料 期 分	第 號	市 立 大 阪 工 業 學 校 本 科 年 生	明 治 年 月 日 大 阪 市 北 區 長 何 某	第 號	市 立 大 阪 工 業 學 校 本 科 年 生
		納				

第三號ノ二	領	收	證	書	告	知	書	別	符						
第 號	市立大阪工業學校	撰科 年生	一金	圓也	明治	年度授業料 期分	右領收候也	大阪市北區長 何	第 號	市立大阪工業學校	撰科 年生	一金	圓也	明治	年度授業料 期分
第 號	市立大阪工業學校	撰科 年生	右領收候也	大阪市北區長 何	第 號	市立大阪工業學校	撰科 年生	第 號	市立大阪工業學校	撰科 年生	一金	圓也	明治	年度授業料 期分	

第五節 高等商業學校

●市立大阪高等商業學校

規則 明治廿七年三月廿八日 大阪市告示第一三號

本市會ノ議決ヲ經文部大臣ノ認可ヲ得テ市立大阪高等商業學校高等科ノ組織ヲ專門學校ノ組織ニ變更シ同校規則ヲ左ノ通相定ム

市立大阪高等商業學校規則

第一章 總 則

- 第一條 本校ハ明治三十六年勅令第六十一號專門學校令第一條ニ據リ内外商業ニ關スル高等ノ教育ヲ施ス所トス
- 第二條 教科ハ本科豫科ノ二科ニ分ツ
- 第三條 修業年限ハ本科豫科各ニケ年トス

第三類 行政 第四章 學事

第四條 生徒定員ハ本科豫科ヲ通シテ三百五十名トス

第五條 入學ノ程度ハ本科ハ中學校卒業ノ程度ニ依リ豫科ハ修業年限四ケ年ノ高等小學校卒業ノ程度ニ依リ豫科ニ依リ甲種科ヲ併置ス其規程ハ別ニ定ムル所ニ依ル

第六條 明治三十二年文部省令第十號商業學校規程第一條ニ依リ甲種科ヲ併置ス其規程ハ別ニ定ムル所ニ依ル (明治廿八年三月廿九日告示第一五號改正)

第二章 學科課程

第七條 本科ノ學科目ハ商業道德、商業學、商業作文、商業算術、簿記、商品、商工地理、商工歴史、經濟、財政、統計、法律、工業要項、英語、第二外國語、體操トス 但第二外國語ハ某語ノ志望者僅少ナルトキハ更ニ他ノ語ヲ擇ハシムルコトアルヘシ

第八條 豫科ノ學科目ハ修身、國語及漢文、英語、歴史、地理、數學、博物、物理及化學、圖畫及体操トス

第九條 豫科及本科ノ課程ハ左表ノ如シ(明治廿八年三月廿九日大阪市告示第一五號ヲ以テ改正)

高等科課程及授業時數表

學年	科目	時數	國語及漢文				修身
			講讀	作文及文法	習字	習字	
第一級		每週	四	一	二	一	
第二級		每週	四	一	一	一	
第三級		每週	四	一	一	一	
	國語		四	一	一	一	
	漢文		一	一	一	一	
	英語		八	一	一	一	
	歷史		二	三	一	一	
	地理		二	一	一	一	
	修身		一	一	一	一	
	算術		五	一	一	一	
	物理		四	一	一	一	
	化學		三	一	一	一	
	生物		二	一	一	一	
	植物		二	一	一	一	
	動物		二	一	一	一	
	衛生		二	一	一	一	
	器械		一	一	一	一	
	圖畫		二	一	一	一	
	體育		四	一	一	一	
	總計		三三	三三	三三	三三	

高等科本科課程及授業時數表

學年	科目	時數	國語及漢文				修身	算術	物理及化學	博物	圖畫	體育	總計
			講讀	作文及文法	習字	習字							
第一級		每週	四	一	二	一	五		三	二	四	三三	
第二級		每週	四	一	一	一	五	三	二	一	四	三三	
第三級		每週	四	一	一	一	五	四			三	三三	
	國語		四	一	一	一	五	四			三	三三	
	漢文		一	一	一	一	五	一			三	三三	
	英語		八	一	一	一	五	一			四	三三	
	歷史		二	三	一	一	五	三	二	一	四	三三	
	地理		二	一	一	一	五	二	二	一	四	三三	
	修身		一	一	一	一	五	三	二	一	四	三三	
	算術		五	一	一	一	五	二	二	一	四	三三	
	物理		四	一	一	一	五	三	二	一	四	三三	
	化學		三	一	一	一	五	二	二	一	四	三三	
	生物		二	一	一	一	五	一	二	一	四	三三	
	植物		二	一	一	一	五	一	二	一	四	三三	
	動物		二	一	一	一	五	一	二	一	四	三三	
	衛生		二	一	一	一	五	一	二	一	四	三三	
	器械		一	一	一	一	五	一	二	一	四	三三	
	圖畫		二	一	一	一	五	一	二	一	四	三三	
	體育		四	一	一	一	五	一	二	一	四	三三	
	總計		三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	

備考 第一年級ニ在テハ英語、數學、体操ノ孰レカ一時ヲ減シ唱歌ヲ課スルコトヲ得
本表實施ノ際現在ノ第二年級以上ニハ舊表ヲ參酌スルコトヲ得

商業道德	一 商業道德ノ性質、種類、應用						
商業作文	一 商業尺牘及慣用文	一全上					
商業算術	二 商業上ノ計算法	二全上					
簿記	三 商業簿記	三 銀行簿記 會社簿記				三 會社簿記 工業簿記	
商品	二 内外國重要ノ商品	二全上					
商工地理	(二) 日本商工地理	二 萬國商工地理				二 日本商工歷史 萬國商工歷史	
商工歷史							
商業學	二 商事要項ノ概般	三 商事要項ノ專修				五 商業實踐	
工業要項						一 機械原動力ノ大要	
經濟	三 經濟通論	三 貨幣論 銀行論				二 外國貿易 全爲換	

財政						二 歲計租稅國債	
統計						一 原理及應用	
法律	三 法學通論 憲法大意	四 民法				五 國際法	
英語	九 讀方、譯解、會話、 作文、翻譯	八全上				七全上	
第二外國語	三 清韓葡ノ一語	三全上				三全上	
體操	(三) 兵式體操	二全上				二全上	
計	三三	三三				三三	

備考 第一等級ニ在テハ商工地理又ハ體操孰レカ一時ヲ減
スルカ若クハ双方ヨリ一時間宛ヲ減スルモ後段ノ場
合ニハ簿記ニ一時ヲ増ス

第三章 學年、學期、休業規程

第十條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
第十一條 學年ヲ分チテ三學期トシ第一學期ハ四月一日ヨ
リ八月三十一日マテトシ第二學期ハ九月一日ヨリ十二月
三十一日マテトシ第三學期ハ翌年一月一日ヨリ三月三十

第十二條 年中休業左ノ如シ

- 一日マヲトス
- 一 毎日 曜日
- 一 春季 休業 四月一日ヨリ 四月十日ニ至ル
- 一 夏季 休業 七月二十一日ヨリ 高等科豫科及 甲種科ハ九月五日ニ高等科本科 ハ九月十日ニ至ル
- 一 秋季 皇親祭 九月秋分日
- 一 神嘗 祭 十月十七日
- 一 天長 節 十一月三日
- 一 本校 紀念日 十一月十五日
- 一 新嘗 祭 十一月二十三日
- 一 冬季 休業 十二月廿五日ヨリ
- 一 孝明天皇 祭 一月七日ニ至ル
- 一 紀元 節 二月十一日
- 一 春季 皇親祭 三月春分日

第四章 入學、在學、退學規程

第十三條 入學期ハ每學年ノ始メ一回トス 但時宜ニ由リ臨時入學ヲ許スコトアルヘシ

第十四條 入學志願者ハ左記ノ各項ニ該當ノ者タルヘシ (明治卅八年三月二十九日大阪市告示第十五號ヲ以テ 改正)

- 一 健康 身体検査ニ合格
- 二 年齢 本科ハ滿十七年以上豫科ハ滿十四年以上入學ノ翌々年ニ徴兵適齡未滿
- 三 學力 本科ハ中學校卒業又ハ專門學校入學者檢定規程ニ依リ檢定ヲ經タル者豫科ハ修業年限四ヶ年ノ高等小學校卒業ニ中學校第二學年修了程度ノ英語ヲ加ヘタルモノ又ハ之ト同等以上
- 四 監督者 豫科ハ大阪市内ニ在籍又ハ全戸寄留(大阪市内ニ居住シテ一家計ヲ立ツル旨當該區長ノ證明アルモノ)ノ父兄(被監督者ト同一戸籍面ノ父母、祖父母、成年以上ノ兄弟、伯叔父母ノ内)又ハ後見人(成規ノ證明アルモノ)

但被監督者ニシテ單身寄留ノモノト雖モ大阪市内高等小學校卒業生ナルルハ當該學校長ニ於テ本人ノ行狀等又ハ從來ノ保護者(住所族稱氏名、生年月日ノ記載ヲ要ス)

ノ適任ヲ證明スル場合ニ限リ監督者ハ大阪市内ニ居住シテ一家計ヲ立ツル旨當該區長ノ證明ヲ有スル以上ハ父兄又ハ後見人ニ代ユルニ他人ヲ以テスルコトヲ得

第十五條 豫科ヲ經シテ直ニ本科ニ入ラントスル者ニハ左ノ科目ニ據リ試験ヲ行フ

但時宜ニ由リ試験ヲ行ハス入學ヲ許スコトアルヘシ

- 一 國語及漢文
- 一 英語 讀方、譯解、書取、習字、作文
- 一 歴史 内外國
- 一 地理 内外國
- 一 數學 算術(筆算、珠算)代數、幾何(平面立休)三角術
- 一 理科 博物、物理及化學
- 一 圖畫 自在畫、川器畫
- 一 体操

第十六條 豫科ニ入ラントスル者ニハ左ノ科目ニ據リ試験ヲ行フ

但別ニ代數ノ一科目ニ限リ受験者ノ志望ニ依リ中學校第二學年修了程度ノ試験ヲ行ヒ及落ノ參考ニ充ツ

- 一 國語
- 一 算術 筆算
- 一 歴史 内國
- 一 地理 内外國
- 一 理科 博物、物理及化學
- 一 圖畫 自在畫
- 一 英語 發音、綴字、習字、讀方、譯解、會話、書取、作文

第十七條 入學志願者ハ第一號及第二號書式ノ入學願書并ニ學業履歷書ニ戸籍抄本(全戸寄留者ハ戸籍抄本ノ外當該區長ノ寄留證明書)相添ヘ差出スヘシ 第一號書式 (用紙美濃紙二ツ折一通)

入學願書

私儀御校(何科)へ入學志願ニ付何卒御許可被成下度別紙履歷書ニ戸籍抄本(全戸寄留者ハ戸籍抄本ノ外當該區長ノ寄留證明書)相添ヘ父兄(後見人)何某ノ連署ヲ以テ此

段相願候也

原籍 現住所 族籍職業
 某子弟(戶主)
 年 月 日 志願者 氏 名 印
 何年何月何日生

原籍 現住所 族籍職業
 志願者父兄(後見人)

氏 名 印

市立大阪高等商業學校長 殿

第二號書式 (用紙前同斷一)

(甲) 學業履歷書

學業

一年月何地徵兵猶豫ノ特典ヲ有スル何私立中學校以上ノ
 中學校又ハ專門學校入學者檢定規程ニ依リ無試験檢定

ヲ受クルコトヲ得ヘキ資格アル何學校卒業
 但卒業證書若クハ當該學校長ヨリノ卒業證明書ヲ添
 付スヘシ

一年月何地何學校ニ於テ高等學校入學ノ豫備試験又ハ專
 門學校入學者檢定規程ノ試験檢定ニ合格
 但合格證書若クハ當該學校長ヨリノ合格證明書ヲ添付
 スヘシ

一年月何地何學校ニ入り年月何級修業或ハ全科卒業或ハ
 何某ニ就キ何年月迄何學修業

賞罰

一年月何所ニ於テ何賞罰ヲ受クル等

以上

年 月 日 本科志願者 氏 名 印

(乙) 學業履歷書

修業

一年月何地何高等小學校ニ入り年月全科卒業又ハ何級修
 業
 但卒業證書又ハ修業證書若クハ當該學校長ヨリノ卒業

修業證明書ヲ添付スヘシ

一年月何地何學校ニ入り年月何級修業或ハ全科卒業或ハ
 何某ニ就キ何年月迄何學修業

賞罰

一年月何所ニ於テ何賞罰ヲ受クル等

以上

年 月 日 豫科志願者 氏 名 印

第十八條 入學志願者ハ受験料トシテ金貳圓ヲ願書ト共ニ
 差出スヘシ

差出スヘシ

但本文受験料ハ入學願ヲ取消シ又ハ試験ヲ受ケサルモ
 之ヲ返附セズ

第十九條 入學ヲ許可セラレタルトキハ入學願書ニ署名セ
 ル父兄又ハ後見人ニ於テ保證人ト爲リ尙大阪市內ニ居住
 シ一家計ヲ立テ生徒身上ニ關シ一切引受クルニ足ルヘキ
 丁年以上ノ男子一名ヲ保證人ニ立テ第三號書式ノ誓書ヲ
 差出スヘシ

第三號書式 (用紙ハ本校ヨリ交付ス)

印紙

誓書

私儀今般御校へ入學御許可相成候ニ付テハ始終御規則等
 ヲ遵守シ専心勉勵卒業ニ至ルマテ溢ニ退學等致間敷候依
 テ誓書如此候也

原籍

現住所

族籍職業

某子弟(戶主)

年 月 日 志願者 氏 名 印

何年何月何日生

前文某今回入學御許可相成候ニ付テハ御規則等堅ク爲相守
 且始終勉勵ノ責ニ任スヘキハ勿論本人在學中ニ係ル事件ハ
 學籍ヲ脱シタル後タリトモ一切引受可申候依テ保證如此候
 也
 追テ御校規則中保證人ニ關スル事ハ總テ承認候也

原籍 現住所

族籍 職業
本人父兄(後見人)
保證人 氏名 印
何年何月何日生

原籍
現住所
族籍 職業
(本人ト身上關係アル者ハ其續合)
保證人 氏名 印
何年何月何日生

市立大阪高等商業學校長 殿
前書後段ノ保證人某ハ本區内ニ居住シ一家計ヲ立ツル者ニ相違無之候也
年 月 日 區 長 印

第二十二條 保證人ハ旅行セントスルトキハ相當ノ代理人ヲ立テ届出テ置クヘシ歸着ノトキモ亦速ニ其解任ヲ届出ヘシ

第二十三條 保證人ハ轉居或ハ改氏名改印ヲ爲シタル等ノ場合亦速ニ届出ツヘシ

第二十四條 保證人ハ學校ヨリ召喚ヲ受ケタルトキハ必ス指定ノ日時ニ登校スヘシ

第二十五條 願ニ依リ一旦退學シタル者再入學ヲ請フトキハ證據ノ上入學期ニ於テ原級以下ノ級ニ編入スルコトアルヘシ

第二十六條 一學年中一回ノ遲刻早退缺席ナキ學生生徒ニハ精勤證書ヲ授ク

第二十七條 生徒ニシテ左記各項ノ一ニ該當スル者ハ退學ヲ命ス

- 一 性行不長ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者
- 三 引續一ケ年以上缺席シタル者
- 四 正當ノ事由ナクシテ引續一ケ月以上缺席シタル者

第二十八條 生徒ヲ退學セシメントスルトキハ保證人自ラ登校シ詳ニ其事由ヲ述ヘタル上兩保證人連署ノ退學願書ヲ差出スヘシ

第五章 授業料規程
第二十九條 授業料ハ左ノ區別ニ從ヒ指定ノ日ニ於テ其金額ヲ前納スヘシ(明治廿八年三月廿九日告示第一五號ヲ以テ改正)

種別	本 科			科 預		
	年 額	納 期	科 別	年 額	納 期	科 別
大阪市内在籍者 又ハ全月寄留者	貳拾貳圓	四月 九月	一 期	貳拾貳圓	四月 九月	一 期
單身寄留者	貳拾七圓	九 月	一 期	貳拾貳圓	八 月 七 月	一 期
第三十條 (明治廿八年三月廿九日大阪市告示第十號ヲ以テ削除)						
第三十一條 授業料ノ納付ヲ怠リ督促ヲ受ケ尙ホ五日ヲ過クルトキハ出席ヲ停止シ之ヲ保證人ニ通知ス更ニ十日ヲ過クルモ納付セザルトキハ除名ス						
第三十二條 授業料ハ一旦納メタル後ハ之ヲ返付セス						
第三十三條 病氣其他ノ事故ニ因リテ缺席久シキニシテルト						
モ本校ノ學籍ニ在ル間ハ授業料ヲ徴收ス						
第六章 試験及進級卒業規程						
第三十四條 試験ハ每學期ノ終ニ於テ之ヲ行フ						
但第三學期試験ニ限リ全學年ヲ通シテ行フコトアルヘシ						
第三十五條 試験ハ口述筆記實地ノ三法ヲ適宜應用シ其成績ヲ檢案シテ評點ヲ附ス						

第三十六條 試驗及日課評點ハ每學科目一百點ヲ以テ最高點トス

第三十七條 日課評點平均數ハ各學期間ニ於テ採點シタル總和ヲ其總日數ヲ以テ除シテ之ヲ定ム

第三十八條 各學科目ノ學期評點ハ試驗評點ニ二ヲ乘シ之ニ日課評點平均數ヲ和シ三除シテ之ヲ定ム日課評點ヲ附セサル學科目ハ學期試驗評點ヲ以テ學期評點トス

第三十九條 各學科目ノ學科評點ハ前後三學期評點ノ和ヲ三除シテ之ヲ定ム

第四十條 學年評點總平均數ハ學科目ノ數ヲ以テ各學科ノ學年評點ノ總和ヲ除シテ之ヲ定ム

第四十一條 各學科目ノ學年評點四十點以上ニシテ學年評點總平均數六十點以上ヲ及第點トス

第四十二條 學年評點ニ於テ合格ノ點數ヲ得サル者ハ原級ニ留ム

第四十三條 凡テ試驗ニ缺席シタルトキハ零點ヲ附ス但前ノ學期試驗ニ際シ疾病又ハ止ムヲ得サル事故ニ因リ缺席シタル者ニシテ其事情明白ナルトキハ平常ノ學

力及行狀ヲ考査シ次ノ學期試驗ニ於テ得タル點數ノ內三割ヲ減シタルモノヲ前ノ學期試驗ノ得點トシテ附スルコトアルヘシ又第一及第二學期試驗ヲ受ケ兩學期共各學科目評點四十點以上評點總平均數六十點以上ヲ得タルモノニシテ第三學期試驗ニ際シ疾病又ハ止ムヲ得サル事故ニ因リ缺席シタルトキハ該試驗期日中其事由ヲ具シ届出ツルモノニ限り平常ノ學力及行狀ヲ考査シ諮議ノ上見込ヲ以テ評點ヲ附スルコトアルヘシ

第四十四條 出缺不常ニシテ怠慢ト認ムルモノハ試驗ヲ受クルヲ許サス

第四十五條 豫科全科ヲ修了シタル者ニハ第四號書式ノ修了證書ヲ授與シ本科全科ヲ修了シタル者ニハ第五號書式ノ卒業證書ヲ授與ス

第四號書式 (修了證書式)

番號 修了證書

族 籍

氏 名

生 年 月

本校ノ規定ニ據リ豫科ヲ修了セリ因リテ之ヲ証ス

年 月 日 市立大阪高等商業學校長 氏 名 印

第五號書式 (卒業證書式)

番號 卒業證書

族 籍

氏 名

生 年 月

本校ノ規定ニ據リ本科學科ヲ修了正ニ其業ヲ卒ヘタリ因リテ此證書ヲ授與ス

年 月 日 市立大阪高等商業學校長 氏 名 印

第七章 圖書規程

第四十六條 (明治三十八年三月二十九日大阪市告示第一

五號削除)

第四十七條 全上

第四十八條 全上

第四十九條 全上

第五十條 全上

第五十一條 全上

第八章 懲罰規程

第五十二條 生徒ニシテ若シ命令規則ニ違背シ其他不都合ノ行爲アルトキハ之ヲ懲罰ニ處ス

第五十三條 懲罰ハ誹責、停學、放校ノ三種トシ輕重ニ依リテ之ヲ課ス

第五十四條 學校ノ建物若クハ器具等ヲ汚損亡失シタルトキハ之ヲ賠償セシメ又情狀ニ依リ處罰スルコトアルヘシ

第五十五條 室内ノ建具又ハ器物ヲ汚損亡失シタル場合ニ於テ若シ其本人知レサルトキハ同室ノ生徒ヲシテ共ニ其責ニ任セシムヘシ

附 則

第五十六條 本則施行ノ際現ニ在學セル生徒ニ對シテハ本科及豫科ニ於テ學科課程ノ一部ニ關シ左ノ修正ヲ施スノ

外總テ本則ヲ適用スルモノトス

前納スヘシ(明治廿八年三月廿九日告示第一五號改正)

種別	年額	納期		
		月	日	月
大阪市内在籍者又ハ全戸寄留者	拾七圓	六	九	一
單身寄留者	貳拾貳圓	八	七	七

第十條 本校一般ノ條規ニシテ此規程ニ抵觸セサルモノハ之ヲ適用ス

市立大阪高等商業學校

職制 明治廿四年七月十八日 大阪市規則第三號

本市曾ノ議決ヲ經大阪府參事會ノ許可ヲ得テ市立大阪高等商業學校職制左ノ通相定ム

市立大阪高等商業學校職制

(明治廿四年七月十八日規則第三號)

- 第一條 市立大阪高等商業學校ニ左ノ職員ヲ置ク
校長
- 助教諭
- 書記
- 第二條 校長ハ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ統轄ス
- 第三條 教諭ハ生徒ノ教授ヲ掌ル
- 第四條 助教諭ハ教諭ノ職掌ヲ助ク
- 第五條 書記ハ校長ノ指揮ヲ受ケ庶務會計ニ從事ス
- 第六條 明治二十六年四月本市規則第二號市立大阪商業學

校職制ハ廢止ス

市立大阪高等商業學校 受験料及授業料徵集 取扱方心得

明治三十七年三月廿五日 大阪市訓令學第一二號

北區 役所

高等商業學校

市立大阪高等商業學校受験料及授業料徵收方北區長ヘ委任セシニ付其取扱方左ノ通り心得ヘシ

- 一 市立大阪高等商業學校長ハ受験人員及期日ヲ豫定シ徵收期ニ先タツコト十五日以前ニ於テ北區長ヘ通知スヘシ
- 一 市立大阪高等商業學校長ハ受験出願人ヘ別紙第一號ノ通知書ヲ交付スヘシ
- 一 北區長ハ右通知書ニ依リ別紙第二號ノ納入告知書

ヲ調製シ直ニ納入ノ手續ヲ了シ領收證ヲ受験出願人ニ交付スヘシ

- 一 市立大阪高等商業學校長ハ右領收證書ヲ檢閱スヘシ
- 一 市立大阪高等商業學校長ハ授業料徵收ノ期ニ先タツコト十五日以前ニ於テ生徒人名簿ヲ作成シ北區長ヘ送付スヘシ
- 一 北區長ハ右人名簿ノ送付ヲ受ケタルトキハ別紙第三號様式ノ納入告知書ヲ作り期日迄ニ之レヲ高等商業學校ヘ交付スヘシ
- 一 市立大阪高等商業學校長ハ右交付ヲ受ケタルトキハ之レヲ生徒ニ交付シ北區役所ヘ納入セシムヘシ
- 一 北區長ハ受験料又ハ授業料ノ納入アリタルトキハ其人名金額ヲ毎日市立大阪高等商業學校長ニ通知シ同校長ハ閱覽ノ上之レヲ市役所ヘ送付スヘシ

第六節 雜

●學校教員ノ政談等ニ

關スル取締明治卅一年三月三日
大阪府市訓令第五號

區 役 所
市立 大阪商業學校
市立 大阪高等女學校

國運ノ泰否ハ教育ノ弛張ト相仍ル者最モ密ナリ而シテ教育ノ弛張ハ一ニ教育ヲ司ル者ノ責務ニ屬ス學校教員ハ已テ持スルコト謹嚴端正ニ務メ服スルコト恪勤實ニ克ク身ヲ以テ斯道ニ殉スルノ至誠アルニアラスハ職守ヲ完ウスルコト難シト謂フヘシ若夫學校教員タル者政論ニ參與シ政事ニ狂奔スルカ如キ事アラソカ職務上ノ公平威信ヲ保チ得ヘカラサルノミナラス教授上ノ懇篤慎密ヲ缺キ教育爲ニ萎靡シ延テ國運ノ進歩ヲ阻遏スルニ至ランコト必セリ是現行法規

ノ學校教員ニ政談政社ニ參與スル事ヲ嚴禁セル所以ナリ學校教員合同シテ學術ヲ研磨シ學制ヲ討論シ言論ニ出版ニ各其意見ヲ交換シ見聞ヲ擴充シ以テ其職守ヲ完ウセンコトヲ計リ時ニ或ハ公衆ヲ會シテ學術ノ普及ヲ計ルカ如キ固ヨリ妨ケサル所トス政談政社ト學術上ノ集會結社トノ分界時ニ或ハ明確ナクコトナキヲ保セサルカ故ニ之ヲ取締ルニ苛察ニ涉ラサルハ固ヨリナリト雖トモ事苟モ明ニ法規ニ觸ル、者アルニ於テハ斷乎タル所置ニ出サル可カラサルモ亦明ナリ教員タル者徒ニ上司ニ反抗シ他人ヲ誹毀シ又ハ公衆ヲ排撥スルカ如キ行爲ハ常ニ之ヲ慎ムヘキハ勿論出版集會若クハ結社ニシテ其目的單ニ學術ヲ講究シ學制ヲ討論シ自他ノ參考ニ資スルニ止ラスシテ或ハ著作ノ頒布ニ依リ或ハ辨舌ノ感動力ニ依リ又ハ多衆ノ結合力ヲ利用シテ公事ノ進行ヲ左右シ若クハ公法場裏ノ實行ヲ企圖スルカ如キコトアラハ漸ク學術上ノ出版者クハ講談結社タル性質ヲ失ヒ政談若クハ政談政社ニ化シ去ルノ恐アルニ依リ教員ニ於テ之ニ與ルハ往々法規ニ觸ル、ノ嫌アルノミナラス教員タル者ノ高尚ナ

ル職務及純潔ヲ重スヘキ地位ト全然相容レサル所ナルヲ以テ不心得ノ者ナキ操履ニ取締ナラスヘシ

●市立 大阪高等商業學校 長事務

取扱規程 明治四十一年四月廿日
應達第二八號訓令第三九號

廳 中 一 般

明治四十年八月應達第十五號市立 大阪高等商業學校 長事務
取扱規程左ノ通り改正ス

市立 大阪高等商業學校 長事務取扱規程
大阪工業學校 長事務

第一條 學校長ハ教諭其他職員以下ノ進退賞罰并ニ市外出張ニ關スル事項ニ付テハ意見ヲ具シ之ヲ上申スヘシ
第二條 校舍ノ新築、改築又ハ模樣替ヲ要スルトキハ圖面ヲ添ヘ計畫ニ關スル意見ヲ具シ上申スヘシ

第三條 左ノ事項ハ必要ノ都度學務課ヲ經テ校舍ノ修繕ハ土木課ニ其他ハ經理課ニ請求スヘシ

一 校舍修繕ニ關スル事項

二 物品ノ購入又ハ修繕ニ關スル事項

三 不用品ノ賣却ニ關スル事項

急施ヲ要スル校舍ノ修繕ニシテ一廉金五拾圓未満ノモノ及ヒ急遽必要ノ場合ニ際シ一廉金拾圓未満ノ物品購入若クハ其修繕又ハ見積價格金拾圓未満ノ不用品賣却ハ學校長ニ於テ之ヲ專行スルコトヲ得但此場合ニ於テハ其月分ノ專行事項ヲ翌月五日マテニ報告スヘシ

第四條 左ノ事項ハ決裁ヲ經テ學校長之ヲ執行スヘシ

一 生徒募集並ニ異常退學ニ關スル事項

二 臨時休業又ハ授業時間伸縮ニ關スル事項

三 生徒修學旅行ニ關スル事項

第五條 左ノ事項ハ學校長之ヲ專行シ三日以内ニ報告スヘシ

一 雇員(高等商業學校教務助手、工業學)及給仕小使ノ校職工、盲聾學校看護人等ノ類)

進退ニ關スル事項

- 二 臨時雜役人夫傭入ニ關スル事項
- 三 教諭其他職員以下市内出張及休暇中私事旅行ニ關スル事項
- 四 生徒製作品ノ賣却ニ關スル事項

第六條 學校長ハ會計事務整理ノ爲メ左ノ帳簿ヲ備ヘ其出納ノ事績并ニ現在高チ明ニスヘシ

- 一 財産原簿
- 二 備品明細簿
- 三 消耗品受拂簿
- 四 經費豫算差引簿

第七條 學校長ハ校內處務細則ヲ設ケ市參事會ノ認可ヲ受クヘシ

給仕教育規程 明治卅三年二月廿六日 市參事會決定

第一條 本市役所ニ勤務スル給仕ニ處世上必須ノ普通學科

- ヲ修得セシメ傍ラ善良ナル徳性ヲ涵養スルノ目的ヲ以テ教育ヲナス
- 第二條 給仕ノ教育ハ庶務部長之ヲ主トリ庶務係之ヲ擔當ス
- 第三條 教師ハ吏員ノ内ヨリ市長之ヲ囑托シ無報酬トス
- 第四條 給仕教育ノ程度ハ高等小學校ノ學科程度ニ準ス
- 第五條 修業年限ハ三ケ年トシ之ヲ六學期ニ分ツ
- 但卒業後更ニ高等ノ學科ヲ受クルコトヲ得
- 第六條 學科ノ進歩ニ伴ヒ甲乙二組ニ區別スルコトヲ得
- 第七條 新ニ給仕ヲ拜命シタルモノハ適宜按檢ノ上相當ノ組ニ編入ス
- 第八條 試驗ハ每三ケ月ニ小試驗ヲナシ學期毎ニ學期試驗ヲナシ三學年ノ終リニ卒業試驗ヲ施行ス
- 但試驗規則ハ庶務部長之ヲ定ム
- 第九條 學科ハ讀書、數學、實習ノ三科目トシ左ノ如ク之ヲ課シ專ラ實地速成ヲ謀ル
- 讀書科
- 講讀
- 修身
- 習字
- 作文

- 數學科
- 理科初歩
- 珠算
- 筆算
- 實習科
- 地理
- 歴史
- 簿記
- 英語會話初歩

第十條 授業時間ハ本市役所ノ開廳日午後四時ヨリ五時迄一時間トシ土曜日ハ正午ヨリ午後一時迄トス

第十一條 (明治卅五年九月十二日市參事會議決ニテ削除)

給仕教育ニ關スル

生徒心得 明治卅三年八月廿二日 庶務部長決定

- 生徒心得
- 第一條 教師ノ指揮教訓ヲ嚴守スヘシ
- 第二條 授業ノ終始ニハ必ス教師ニ向テ敬禮ヲ爲スコシ
- 第三條 教場ニ於テ教師ヲ目トシ決シテ雜談スヘカラス
- 第四條 教師ノ承諾ナクシテ教場外ニ出入ス可カラス
- 第五條 教場備付品外ノ物品ヲ私ニ使用スヘカラス
- 第六條 授業時間ヨリ凡ソ五分前ニ教場豫定ノ席ニ着スヘシ
- 但授業時間十分以前ニ入場ス可カラス
- 第七條 生徒中組長二名ヲ撰定シ組長ハ教場器具設備ノ爲メ生徒順番簿ヲ造リ之レカ生徒ノ當番者ヲシテ教場ノ設備ヲナサシムヘシ
- 但教場ニ於テ教師不在ノ節ハ組長ノ指揮ヲ受クヘシ
- 第八條 休學セントスルモノハ其事故ヲ庶務部長第一課ニ届出テ許可ヲ受クヘシ
- 第九條 就學中發言セントスルトキハ舉手以テ教師ノ許可ヲ受クヘシ
- 第十條 宿題ハ教師ノ指揮セル時期ヲ過クヘカラス
- 第十一條 生徒心得ニ觸レタルモノアルトキハ教師ノ

報告ニ依リ庶務部長之カ訓戒又ハ一週間以上一ヶ月以下ノ停學處分ヲ爲シ其旨親權ヲ行フ者並ニ保證人ニ報知スヘシ

第十二條 貸與ノ物品ヲ汚損紛失セシメタルモノハ辨償セシムルコトアルヘシ

速記術講習規程

明治三十四年七月十三日 廳達 第一四號

廳中一般

速記術講習規程別紙之通相定メ本月十七日ヨリ實施ス

(別紙) 速記術講習規程

第一條 本市吏員公務ノ餘暇ヲ以テ本規程ニ依リ速記術ヲ講習セシム

第二條 講習員ハ各部長ノ指名ニ依リ試験ノ上庶務部長之ヲ撰定ス

第三條 教師ハ吏員中ヨリ市長之ヲ囑托シ無報酬トス

第四條 講習期間ハ凡六ヶ月トシ學科修了ノ上卒業試験ヲ行フモノトス但學達テ期スルタメ卒業後下雖モ時々練習セシムルコトアル可シ

第五條 講習時間ハ毎日退廳時間後一時間トス

第六條 授業中ハ講習員ノ外教師ノ認許ヲ得スシテ教場ニ入ルヲ許サス

第七條 本規程ニ關スル事務ハ庶務部長之ヲ主トリ庶務部第一課ニ於テ擔當スルモノトス

英語講習規程

明治三十四年七月十三日 廳達 第一五號

廳中一般

英語講習規程別紙之通相定メ本月廿一日ヨリ實施ス

(別紙) 英語講習規程

第一條 本市吏員公務ノ餘暇ヲ以テ本規程ニ依リ英語ヲ講習セシム

第二條 講習員ハ各部長ノ指名ニ依リ試験ノ上庶務部長之ヲ撰定ス

ヲ撰定ス

第三條 教師ハ市長之ヲ囑托シ無報酬トス但吏員外ノ教師ニハ相當ノ報酬ヲ給スルコトヲ得(明治四十年十一月二十八日廳達第二〇號改正)

第四條 講習期間ハ凡ニケ年トシ學科修了ノ上卒業試験ヲ行フモノトス但卒業後更ニ高等ノ學科ヲ受クルコトヲ得

第五條 講習時間ハ毎日退廳時間三十分前ヨリ開始シ一時間以內トス但時宜ニヨリ退廳時間後ニ於テ講習スルコトヲ得(明治四十年十一月二十八日廳達第二〇號改正)

第六條 授業中ハ講習員ノ外教師ノ認許ヲ得スシテ教場ニ入ルヲ許サス

第七條 講習ニ要スル書籍文具類ハ自辨トス

第八條 本規程ニ關スル事務ハ庶務部長之ヲ主トリ庶務部第一課ニ於テ擔當スルモノトス

第五章 土木

工事入札請負規則

明治廿二年十月一日 大阪市告示第一七號

本市會ノ議決ヲ經テ工事入札請負規則ヲ定ムルコト左ノ如シ
工事入札請負規則

第一條 入札ヲ以テ工事ノ請負ヲ命セントスルハ揭示又ハ新聞紙其他ノ方法ヲ以テ公告スヘシ
但時宜ニ依リ市參事會ニ於テ入札人ノ資格ヲ定ムルコトアルヘシ

公告ニハ左ノ事項ヲ掲記スヘシ
一 入札ニ付スル事項

二 入札開札ノ場所及日時

三 入札保證金額

四 請負期限

五 市參事官ニ於テ入札人ノ資格ヲ定メタルトキハ其資格

第二條 入札人ハ工事方法書及現場ノ狀況ヲ熟覽シ公告シタル日時迄ニ別紙第一號様式ニ依リ入札スヘシ

第三條 入札セントスルモノハ入札保證金ヲ納ムヘシ其額ハ隨時之ヲ定ム但時價相當ノ公債證書又ハ國立銀行預リ證ヲ以テ之ニ代フルモ妨ケナシ

前項ノ保證金ハ入札ニ先テ府廳會計課長又ハ區長ヲ經テ市税金取扱人ニ預ケ入其預リ證ヲ入札ニ添付シ主務吏員ノ領收書ヲ受クヘシ

第四條 入札保證金ハ落札ハ第八條ノ手續ヲ了シタル上之ヲ還付シ其他ハ開札ノ後直ニ還付スヘシ

但落札者ノ入札保證金ハ請負ヲ命スル片第八條ノ身元保證金ト差繼テ爲スモ妨ケナシ

第五條 開札ハ豫定ノ日時入札人又ハ其代人ノ面前ニ於テ開札ニ着手シタル片ハ入札又ハ書換取消等ノ要求ヲ爲ス

不得ス

第六條 入札ハ其最低價ヲ以テ落札トス

落札トナルヘキモノ二名以上アルトキハ抽籤ヲ以テ其落札者ヲ定ムヘシ

落札ノ金額不相當ナルカ又ハ落札者工事ニ經驗ナキカ若クハ身元確實ト認メ難キトキハ總テ入札ヲ取消シ更ニ入札セシムヘシ但時宜ニ依リ再入札ニ付セス第二ノ低價ヲ以テ落札トナスコトアルヘシ

第七條 落札者ハ日數五日以内ニ工費内詳細書ヲ差出スヘシ但時宜ニ依リ工程表ヲ差出サシムルコトアルヘシ

第八條 落札者請負ヲ命セラレタルトキハ翌日正午十二時迄ニ別紙第二號様式ノ請負證及ヒ身元保證金トシテ請負金額十分ノ一ヲ差出スヘシ

身元保證金ハ竣功検査ヲ了スルモ第十六條ニ記載スル日限ヲ過ルニアラサレハ之ヲ還付セス

第十條 工事着手期限後十日以内ニ起工セス又ハ起工スルモ相當工事項目備ヘス又ハ相當人夫等ヲ使役セスシテ

工事竣功ニ涉リ期限内竣功シ難シト認ムル片ハ其請負ヲ取消シ違約金トシテ身元保證金ヲ没收スヘシ起工ノ後請負ノ取消ヲ乞ヒタルモノ亦同シ但現場ニ存在スル工事項目及築造物ハ之ヲ没收シ工費未渡ニ係ルモノハ之ヲ下付セス

第十一條 請負ヲ命シタル後工事ノ廢止又ハ仕樣ノ全部ニ變更ヲ要スルトキハ請負ノ命令ヲ取消シ身元保證金ハ之ヲ還付スヘシ但既ニ起工セシモノハ現場存在ノ工事項目及築造物ニ對シ工費内詳細書ノ比準ヲ以テ其費金ヲ下渡シ尙ホ其他請負人ニ於テ損失ヲ被リタル確證アルモノハ之ヲ辨償スルコトアルヘシ

工費内詳細書ニ變更ヲ要スル片ハ前項但書ニ準シ其請負金額ヲ増減スルコトアルヘシ

第十二條 工事中ハ總テ主務吏員ノ指揮ヲ受ケ其用品ハ使用前検査ヲ受クヘシ若シ數量寸尺ニ不足アルトキ又ハ品位粗惡ト認ムルトキハ日ヲ期シテ之ヲ調達又ハ交換ヲ命

スヘシ

請負人ノ代理者又ハ工事ニ使役スル職工人夫等ニシテ不都合ノ所爲アルカ若クハ監督吏員ノ指揮ニ従ハサルコトアルトキハ何時ニテモ取換ヲ命スヘシ

工事出来形既定ノ計畫ニ違フモノアルトキハ日ヲ期シテ改造ヲ命スヘシ

前三項ノ場合ニ於テ請負人命令ニ従ハサルトキハ第十條ニ準シ處分ス可シ

第十三條 正當ノ事故ナク期限内竣功セサルトキハ違約金トシテ期限ノ翌日ヨリ一日ニ付請負金額十分ノ五ヲ徵收スヘシ但請負日數十分ノ二ヲ超過スルトキハ第十條ニ準シ處分スヘシ

前項ノ違約金ハ別途之ヲ徵收シ若シ納付セサルトキハ工費下渡金ノ内ヨリ扣除スヘシ

第十四條 工事竣功検査以前ニ於テ其出来形若クハ物件ノ毀損亡失等アルトキハ請負人ニ於テ其損失ヲ負擔スヘシ但避クヘカラサル變災ニ起因スルモノハ其損失ノ幾分ヲ補給スルコトアルヘシ

第十五條 工費ハ竣功検査ノ上下付スヘシ但竣功ニ至ラヌト雖モ時宜ニ依リ出来形歩合ノ七分ニ對スル迄ノ金員ヲ下付スルコトアルヘシ

第十六條 工事竣功ノ後若干ノ期限ヲ定メ其期限内ニ損所ヲ生シタル片ハ請負人ノ費用ヲ以テ之カ修繕ヲ爲サシムヘシ但避クヘカラサル變災ニ起因スルモノハ此限ニアラス

請負人前項ノ修繕ヲ怠ルトキハ之ヲ修繕シ其費金ハ身元保證金ヲ以テ之ニ充用スヘシ

第十七條 本規則ニ依リ入札保證金又ハ身元保證金ヲ没收シタルトキハ左ノ期限内本市ノ工事ニ對シ入札ヲ爲シ又ハ請負人ノ保證人若クハ其代理人タルコトヲ許サス

一 入札保證金ヲ没收シタル片ハ其月ヨリ滿一箇年間ニ 身元保證金ヲ没收シタル片ハ其月ヨリ滿三箇年間ニ 第十八條 道路小破修繕河溝浚渫工事ニ係ル入札請負規則ハ別ニ之ヲ定ム

第一號様式 (用紙半紙)

入札

一金何百何拾圓也

但何區何町何々 建築 修繕 工事仕續帳及圖面ノ通竣功迄一切ノ費額

右金額ヲ以テ請負可申候也

年月日 住 所 姓 名(實印)

大阪市參事會宛 (大阪市某區長宛)

第二號様式 (用紙美濃紙)

請 負 證

大阪市何區何町何々工事

一金何百何拾圓也

此身元保證金

何公債證書額何圓 何枚

右金額ヲ以テ請負被命候依テ前記 現 金 身元保證トシテ御廳へ差出置總テ工事入札受負規則ニ遵ヒ別紙仕續帳及圖面ノ通來ル何日若手晴雨ヲ不論日數何日間ニ必ス竣功可

請 負 金 額

致候萬一御規則ニ違背シタルトキハ違約金トシテ身元保證金ヲ没收セララル、ハ勿論都テ御規則ニ依リ處分相成候共異議無之又御廳ノ損害トナルヘキ不都合ノ所爲有之本人ニ於テ等閑ニ付スルトキハ保證人ニテ引受處辨可致候仍テ連署ヲ以テ請負證書上候也

年 月 日

住 所

請負人 姓 名(實印)

住 所

保證人 姓 名(實印)

(保證人ハ府下現住ニシテ所得納稅者ニ限ル)

請負金額壹萬圓以上ハ二名以上壹萬圓未満ハ一名トス時宜ニ依リ壹萬圓未満ト雖モ二名ヲ要スルコトアルヘシ

大阪市參事會宛

(大阪市某區長宛)

● 工事請負ニ關シ入札價格 不相當ナルトキ處分方

明治廿五年七月廿三日 大阪市告示參第二八號

本市會ノ議決ヲ經テ工事請負及物品購入ニ關スル件ヲ定ムルコト左ノ如シ

工事入札請負規則ニ依リ工事請負ノ入札ヲ爲サシメ若クハ物品購入賣却規則ニ依リ物品調達ノ入札ヲ爲サシムルモ代價不相當ニ付之ヲ取消シ再入札ニ付スルモ尙代價不相當ナルトキハ其最低札以下ノ代價ヲ以テ便宜當業者ニ其請負若クハ調達ヲ爲サシムルコトヲ得但履行ノ方法等ハ工事入札請負規則若クハ物品購入賣却規則其他關係規則ノ規定ヲ適用スルモノトス

●公入札ニ付セサル

工事請負 明治廿二年十月一日
大阪府訓令第四號

各部 收稅部
除ク 所

市役ヲ以テ支辨スル工事其他ノ請負又ハ物品ノ購入等ニシテ左ニ掲クルモノ並ニ區役所豫算月額以內ヲ以テ購入スル需用品ハ公ノ入札ニ付セス便宜請負ヲ命シ又ハ購入スル義ト心得ヘシ

- 一 費額五拾圓未満ノ工事其他ノ事業
- 二 價格拾圓未満ノ物品購入
- 三 物質ニ由リ生産製造ノ場所又ハ生産者製造者ヨリ直接ニ購入ヲ要スル物品
- 四 一人又ハ一會社ニテ專有スル物品ノ購入又ハ借入
- 五 土地家屋ノ買入又ハ借入ヲ爲スニ當リ其位置又ハ構造ニ限リアルモノ
- 六 因徒又ハ慈善ノ爲メニ設立セル教育所貧民ノ雇役及

其製造物品ノ購入

●公入札ニ付セサル工事

請負ノ取扱方 明治廿四年十二月十八日
大阪府訓令第一九號

各部 所

其役所ニ於テ物品ノ購入又ハ工事其他ノ請負ニシテ成規上公入札ニ付スルヲ要セサル場合ト雖務メテ當業者數名ノ價格見積書ヲ徴シ調査ヲ遂ケ購入又ハ請負ヲ命スル義ト心得ヘシ

●工事請負入札公告ニ關シ

新聞紙へ登載方 明治廿五年三月廿二日
市參事會決定

本市工事其他ノ廣告ニシテ爾今新聞ニ登載ノ場合ハ左ノ區別ニ依ルモノトス

- 一 一般周知ヲ要スル廣告及工事其他物品購入等其見積價格五百圓以上ノモノハ公布式新聞へ悉ク登載スルモノトス
- 二 工事其他物品購入等其見積價格五百圓以下ノモノハ朝日新聞毎日新聞ノ二新聞ニ登載スルモノトス

●河溝浚渫入札請負規則

明治廿二年十月一日
大阪府告示第一九號

本市會ノ議決ヲ經テ河溝浚渫入札請負規則ヲ定ムルコト左イ如シ

河溝浚渫入札請負規則

總則

第一條 河溝浚渫ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄

第三類 行政 第五章 土木

第一期トシ又二期三期ニ區分シ入札請負ヲ爲サシムヘシ但時宜ニ依リ直轄ニテ施行スルコトアルヘシ

第二條 此規則ニ掲クル外入札及請負ノ方法ハ工事入札請負規則ヲ適用ス但入札及請負證ハ別紙様式ニ依ルヘシ

第三條 身元保證金ハ請負滿期ノ上還付スヘシ

第四條 請負期限中ト雖トモ規則命令ニ從ハサルモノハ其請負ヲ取消スコトアルヘシ

(第五條ヨリ第九條迄二十四年告示第廿一號ヲ以テ删除)

河 浚

第十條 浚渫ノ場所及土砂捨場ハ主務吏員ノ指定スル所ニ依ルヘシ

第十一條 浚渫ノ就業時間ハ一日十時間トス但時宜ニ依リ之ヲ伸縮スルコトアルヘシ

休業ハ大祭日祝日トス但時宜ニ依リ就業セシムルコトアルヘシ

風雨出水等就業シ難キ場合ニ於テハ主務吏員ノ許可ヲ得テ休業スルコトヲ得

第十二條 浚渫用船ハ一日三十隻乃至百五十隻ノ範圍内ニ

於テ實地ノ狀況ニ應シ主務吏員ノ指揮スル所ニ依ルヘシ
第十三條 浚渫用船ハ厚一寸以上ノ板ヲ以テ左ノ區別ニ依
リ土砂積量枿ヲ設ケ使用前主務吏員ノ検査ヲ受クヘシ其
變更ヲ爲シタルトキ亦同シ

一合 一合五勺 二合 二合五勺 三合

三合五勺 四合 四合五勺 五合

土砂積量枿ハ内法六尺立方ヲ以テ一坪トシ其十分一ヲ以
テ一合トス

第十四條 浚渫用船ハ浚渫場所及土砂捨場ニ於テ主務吏員
ノ検査ヲ請ヒ其證票ヲ受クヘシ

土砂捨場ニ於テ使役スル人夫ハ一日百五十人以上トシ其
人員ハ主務吏員ノ指揮ニ依ルヘシ

毎日終業スルトキハ浚渫土砂ノ坪數及人夫ノ人員ヲ記載
シ主務吏員ノ檢印ヲ受クヘシ

第十五條 浚渫費金ハ毎旬日之ヲ下付スヘシ

浚渫

第十六條 浚渫スヘキ箇所及淤泥捨場ハ主務吏員ノ指定ス
ル所ニ依ルヘシ

第十七條 浚渫ノ就業時間ハ一日十時間トス但時宜ニ依リ
之ヲ伸縮スルコトアルヘシ

休業ハ大祭日祝日トス但時宜ニ依リ就業セシムルコトア
ルヘシ

風雨出水等就業シ難キ場合ニ於テハ主務吏員ノ許可ヲ得
テ休業スルコトヲ得

第十八條 淤泥運搬船ハ一日四十隻以内ニ於テ實地ノ狀況
ニ應シ主務吏員ノ指揮スル所ニ依ルヘシ

第十九條 淤泥運搬船ハ厚一寸以上ノ板ヲ以テ淤泥積量枿
ヲ設ケ使用前主務吏員ノ検査ヲ受クヘシ其變更ヲ爲シタ
ルトキ亦同シ但運搬船ハ三合五勺又ハ四合積ノモノニ限
ルヘシ

淤泥積量枿ハ内法六尺立方ヲ以テ一坪トシ其十分一ヲ以
テ一合トス

第二十條 浚渫シタル淤泥積量ハ浚渫ノ場所及淤泥捨場ニ
於テ主務吏員ノ検査ヲ請ヒ證票ヲ受クヘシ毎日終業スル
トキハ浚渫淤泥ノ坪數及人夫ノ人員ヲ記載シ主務吏員ノ
檢印ヲ受クヘシ

第十一條 浚渫中石垣及ヒ溝蓋其他貸下ノ諸器械ヲ破損
セシメタルトキハ請負人ノ力損害ヲ辨償ズヘシ

第二十二條 浚渫費金ハ毎旬日之ヲ下付スヘシ

(別紙)

第一號様式 (用紙半紙)

(甲) 甲二十四年告示第二十一號ヲ以テ删除

(乙)

入札

大阪市河川浚渫

一金何圓

(十歩)

内訳

土砂一坪浚渫費

(何歩何厘)

土砂一坪水上何十丁運送費

(何歩何厘)

陸人足一人一日十時間賃錢

(何歩何厘)

右金額ヲ以テ請負可申候也

年月日

住所

姓名印

大阪市参事會宛

(丙) 入札

大阪市河川浚渫

一金何圓

(十歩)

内訳

上等人夫一人

(何歩何厘)

中等人夫一人

(何歩何厘)

下等人夫一人

(何歩何厘)

淤泥運搬船一隻

(何歩何厘)

小車一輛

(何歩何厘)

右金額ヲ以テ請負可申候也

住所

姓名印

年月日

大阪市参事會宛

第二號様式 (用紙美濃紙)

(甲) 甲二十四年告示第二十一號ヲ以テ删除

(乙) 請負證

大阪市河川浚渫

一金 何程

土砂浚渫一坪代金

一金 何程

土砂一坪水上何丁運送代金

但水上一丁運送増減毎ニ金何程ヲ増減ス

一金 何程

人夫一人賃錢

但一人何時間賃錢一時間増減毎ニ金何程ヲ増減ス

此身元保證金

何百何拾圓

(何公債證書額面何圓何枚)

現金、公債證書、右金額ヲ以テ請負被命候付テハ前記國立銀行預證、ナ身元保證トシテ御廳へ差出シ置キ總テ入札請負規則ニ遵ヒ何年何月何日着手何年何月何日迄請負可致候萬一右規則ニ違背シタルトキハ違約金トシテ身元保證金ヲ沒收セラル、ハ勿論總テ御規則ノ通處分相成候共異議無之又御廳ノ損害トナルヘキ不都合ノ所爲有之本人ニ於テ等閑ニ付スルトキハ保證人ニ於テ引受處辨可致候仍テ違背ヲ以テ請負證書差上候也

年月日 請負人 住 所 姓名 名印

保證人 姓名 名印

(保證人ハ府下現住者ニ限ル)

大阪市參事會宛

(丙)

請 負 證

大阪市溝渠浚渫

一金 何程

上人夫一人賃錢

一金 何程

中人夫一人賃錢

一金 何程

下等人夫一人賃錢

一金 何程

淤泥運搬船一隻
小車一輛

此身元保證金

金 何 百 圓

(何公債證書額面何圓 何枚)

現金、公債證書、右金額ヲ以テ請負被命候付テハ前記國立銀行預證、

ナ身元保證トシテ御廳へ差出シ置キ總テ入札請負規則ニ遵ヒ方法書ノ通何年何月ヨリ何年何月迄請負可申候萬一右規則ニ違背シタル場合ニ於テハ違約金トシテ身元保證金ヲ沒收セラル、ハ勿論御規則ノ通處分相成候共異議無之又御廳ノ損害トナルヘキ不都合ノ所爲有之本人ニ於テ等閑ニ付スルトキハ總テ保證人ニ於テ引受處辨可致候仍テ違背ヲ以テ請負證書差上候也

年月日 請負人 住 所 姓名 名印

保證人 姓名 名印

(保證人ハ府下現住者ニ限ル)

大阪市參事會宛

河川占用整理順序

明治卅八年十二月十八日
市參事會決定

第一條 本市ノ管理ニ屬スル河川ノ占用ハ左ノ順序ニ依リ調査整理スヘシ

第二條 占用ノ調査ハ左ノ日割ヲ以テ之ヲ施行スヘシ

道頓堀川(深里橋下流) 自一月十一日 二十一日間
至全 卅一日

西横堀川 自二月一日 二十日間
至全 二十日

東横堀川 自三月十一日 二十日間
至三月十二日

頓道堀川(深里橋上流) 自三月十三日 十五日間
至全 廿七日

第三條 前條ノ調査ハ濱地ノ地番ニ依リ順次番ニ及フヘシ

第四條 調査シタル事項ハ別表様式ニ依リ調査表ヲ調製スヘシ

第五條 左ノ場合ニ於テハ日限ヲ定メ工作物其他物件ノ取拂又ハ復舊ヲ命スヘシ

一 許可ヲ受ケスシテ占用スルモノ

二 許可ヲ受ケスシテ占用ノ目的ヲ變更シタルモノ

三 占用區域外ニ逸出スルモノ

第六條 前條許可ヲ受ケサルモノト雖モ占用又ハ占用目的

●公設街燈移轉廢除取扱ニ

●關スル件

明治廿九年十一月廿四日
 市參事會決定土乙第二〇五號
 公設街燈ノ移轉廢除ハ從來貴職ノ稟請ニ對シ認可セラル、
 慣例ニ有之候所右等所定豫算ノ範圍ニ於テ施行シ得ルモノ
 ハ自今稟請ニ及ハス適宜決行ノ上其頗未テ詳記シ圖面添付
 其都度當課ヘ報告相成度命ニ依リ此段及通牒候也

年月日

土木課長名

四區區長宛

●道路小破修繕入札

●請負規則

明治廿四年六月五日
 大阪市告示參第二二號
 本市會ノ議決ヲ經テ大阪市道路小破修繕入札請負規則左ノ
 通相定ム

大阪市道路小破修繕入札請負規則

第一條 本市道路小破修繕ハ西南東北ノ四區ニ分チ每年四
 月一日ヨリ翌年三月三十一日迄競争入札ニ附シ請負ハシ
 ム

但一ケ年度内チ二期或ハ三期ニ區分シ若クハ二區以上
 チ通シテ請負ハシムルコトアルヘシ
 落札者ハ入札ノ際指示スル所ノ用品其他内課奉合ニ基キ
 翌日明細書ヲ差出スヘシ

第二條 道路小破修繕用品其他入札ニ付スル種類左ノ如シ

- 其他ノ所用品ハ入札ノ際指示スヘシ
- 一 豆砂利立一坪價格 但修繕場所着
- 一 山砂利立一坪價格 但修繕場所着
- 一 豆砂利立一坪敷均シ賃
- 一 山砂利立一坪敷均シ賃
- 一 路面深二寸一坪堀鑿賃
- 一 瀝水及掘鑿メ而一坪賃金
- 一 入夫一人賃金

入札外ノ用品及職工ヲ要スルトキハ時價ヲ以テ請負ハシ
 ムルコトアルヘシ

第三條 一ケ年度ノ請負金額算額ハ入札ノ際指示スト雖モ
 實施ニ臨ミ増減アルヘシ

第四條 請負身元保證金ハ請負概算金額ニ依ルヘシ但請負
 満期後又ハ中途解約ノ場合ト雖モ本則第十六條ヲ履行セ
 サル間ハ還付セサルヘシ

第五條 工事ハ必要アルニ應シ其請負價格ニヨリ設計書ヲ
 調製シ着手成功ノ期日ヲ定メ時々之ヲ下附シ起工セシム
 前項ノ成功期限ハ左ノ範圍内トス但臨時急務ヲ要スルモ
 ノハ此限ニアラス

- 一 設計書金高貳拾圓未滿 一日
- 一 全 金高貳拾圓以上 二日以内
- 一 全 金高四拾圓未滿 三日以内
- 一 全 金高六拾圓未滿 四日以内
- 一 全 金高八拾圓未滿 五日以内
- 一 全 金高百圓以上 五日以内

以上金高貳拾圓未滿ヲ加フル毎ニ一日ヲ増ス
 成功期限ハ設計書下附ノ三日目ヨリ起算ス

第六條 起工ハ每箇所前日成功ハ每箇所翌日午前十時マテ

ニ届出可シ

第七條 修繕ノ方法ハ別ニ市參事會ノ定ムル處ニ依ル可シ
 第八條 修繕用品ハ指示ノ場所ヘ運送シ起工ノ當日主務吏
 員ノ検査ヲ受ク可シ

豆砂利山砂利等ハ總テ榊立チ以テ前項ノ検査ヲ受ク可シ
 前二項ノ検査ヲ經ス使用セシモノハ總テ工費金ヲ下附セ
 サルノミナラス手直ニ係ル費モ請負人ノ負擔タルヘシ

第九條 正當ノ事故ナク第五條ノ期限内ニ成功セサルモノ
 ハ違約トシテ期限ノ翌日ヨリ實際成功ノ日マテ一日ニ付
 每箇所工費金高百分ノ二ノ金額ヲ徴收スヘシ

前項ノ違約金ハ工費請求ノ際別途上納スヘシ納付チ拒ミ
 又ハ怠リタルトキハ身元保證金若クハ下渡工費金ヲ以テ
 引去ルヘシ

第十條 工事着手期限後五日以内ニ起工セサルモノ五箇所
 若クハ第九條ノ違約金十箇所以上ニ及ヒタルハ請負ノ
 全部ヲ取消シ違約金トシテ身元保證金ノ全額ヲ沒收シ尙
 未渡ニ係ル工費金ハ一切下渡サ、ルヘシ但本則第五條ノ設
 計書ノ下附ヲ拒ミ若クハ請負ノ取消ヲ乞フモノ亦同シ

前項ノ箇所敷ハ本則第一條ノ但書ヲ適用スル場合ニ於テハ斟酌増減スヘシ

第十一條 請負期限中ト雖モ規則命令ニ從ハサルモノハ請負ヲ取消スコトアルヘシ

第十二條 就業時間ハ一日十時間以上トス但時宜ニ依リ主務吏員ニ於テ伸縮スルコトアルヘシ

大祭日祝日ハ休業トス降雨降雪等ニシテ起工シ難キ場合ハ其旨當日午前十時迄ニ届出主務吏員ノ承認ヲ得テ休業スルコトヲ得

前項ノ休業當日ハ成功期限ニ算入セス大祭日祝日若クハ降雨降雪ノ日ト雖モ至急ヲ要スルモノアルトキハ施行セシム可シ

第十三條 工事ノ都合ニヨリ主務吏員ニ於テ休業或ハ止業ヲ命シ又ハ着手成功ノ期日ヲ伸縮變更スルコトアルヘシ

第十四條 工費金ハ毎月十五日三十日二月ハノ両度ニ請求スルヲ得ト雖モ工事中途又ハ手直中又ハ成功検査未済又ハ違約ニ係ルモノハ其違約金完納ノ上ニアラサレハ工費金下附セス

第十五條 請負人三日以上他出セントスルトキ又ハ請負事業ヲ他人ニ委託セントスルトキハ市參事會ノ承認ヲ受ク可シ

第十六條 請負満期又ハ中途違約ノ際ハ市有地除クニ現存スル修繕用殘品ハ七日以内ニ除却スヘシ若シ請負人ニ於テ取除カサルトキハ當廳ニ於テ便宜處分シ其費用ハ身元保證金若クハ下渡工費金ノ内ヲ以テ支辨スヘシ

第十七條 本則ニ掲クルノ外ハ總テ本市工事入札請負規則ヲ適用ス

第十八條 入札及請負證書ハ左ノ書式ニ依ル可シ
(入札書式) 川紙半紙

一金 何程 也
内 譯

- 一 豆砂利立一坪 但修繕場所着
- 一 山砂利立一坪 但修繕場所着
- 一 豆砂利立一坪數均シ賃
- 一 山砂利立一坪數均シ賃
- 一 路面深二寸一坪掘鑿賃

一 灌水掘鑿ノ面一坪賃
一人夫一人賃

(以下所用品ハ入札ノ際指示スル處ニ從ヒ列記スヘシ)

但内譯明細價格ハ御指示歩合ノ通右金額ヲ以テ明治何年四月ヨリ明治何年三月迄請負可申候也

年 月 日 住 所 氏 名(實印)

大阪市參事會宛

(請負證書式) 用紙美濃紙

請 負 證

大阪市某區道路小破修繕工事

一金何程也 自明治何年四月一ケ年間請負概算金額
至明治何年三月

此身元保證金何程 但現金又何々

右概算金額ヲ以テ大阪市道路小破修繕工事請負被命候依テ前記現金又ハ身元保證トシテ御廳へ差出置總テ大阪市工事入札請負規則大阪市道路小破修繕請負規則及修繕方法書

等ニ違ヒ明治何年四月ヨリ明治何年三月迄一ケ年度間請負可申候ニ付時々御下附可相成設計書ノ通修繕可仕候萬一右御規則及修繕方法書等ニ違背シタルトキハ違約金トシテ身元保證金ヲ沒收セラル、ハ勿論總テ御規則ノ通御處分相成候共異議無之又御廳ノ損害トナルヘキ不都合ノ所爲有之本人ニ於テ等閑ニ付スルトキ保證人ニ於テ引受一切處辨可致候依テ連署ヲ以テ請負證書差上候也

但前記請負金額ハ概算ニシテ實施ニ臨ミ増減アルコト承諾ニ有之候

住 所 氏 名(實印)

請負人 氏 名(實印)

保證人ハ府下在籍現住者ニ限ルヘシ

大阪市參事會宛

市參事會決議前執行スヘキ

工事ノ種類

明治廿六年一月廿七日
市參事會決定
左記工事ノ内臨時急施ヲ要シ市參事會ノ決議ヲ經ルノ限ナ
キトキ工費金五圓未満ノモノニ限リ其郡座相當請負人ヲ定
メ起工セシムルモノトス

- 一 道路橋梁小破修繕
- 一 道路橫斷修繕
- 一 街燈修繕
- 一 橋上燈修繕
- 一 共同物揚場修繕
- 一 道路肩石修繕

橋梁掃除入札請負規則

明治廿二年十月一日
大阪市告示參事第二〇號

本市會ノ議決ヲ經テ橋梁掃除入札請負規則ヲ定ムルコト左
ノ如シ

橋梁掃除入札請負規則

- 第一條 橋梁掃除ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月卅一日迄ヲ
一期ト定メ公ノ入札ヲ以テ請負ハシムヘシ
- 第二條 橋梁掃除ハ總テ方法書ニ從ヒ請負命令ノ後五日以
内請負人ニ於テ通常掃除ノ日割ヲ定メ豫メ認可ヲ受クヘ
シ但臨時掃除ハ其時々指揮スヘシ
- 第三條 掃除ニ要スル器械ハ總テ請負人ノ自辨トス
- 第四條 請負人ハ毎月二十五日限リ其月分請負金額ヲ請求
スヘシ
- 第五條 請負人ハ掃除ニ係ル一切ノ事件ヲ辨スル爲メ府廳
ヲ距ル五町以内ノ地ニ事務所及代人ヲ置キ其町名番地及
氏名ヲ届出ヘシ
- 第六條 請負期限中ト雖モ規則命令ニ從ハサルモノアル片
ハ其請負ヲ取消スコトアルヘシ
- 第七條 前各條ニ掲グル外入札及請負ノ方法ハ工事入札請
負規則ヲ適用ス但入札請負規則ハ別紙様式ニ依ルヘシ

第八條 身元保證金ハ請負滿期ノ後之ヲ還付スヘシ
別紙

第一號様式 (用紙半紙)

入札

一金何百何拾圓

但大阪市何橋外何橋掃除費額

右金額ヲ以テ請負可申候也

年月日

住所

姓名印

大阪市參事會宛

第二號様式 (用紙美濃紙)

請負證

一金何百何拾圓

此身元保證金

金何圓 (何公債證書額面何圓何枚)

右金額ヲ以テ橋上掃除請負被命候依テ前記國立銀行預リ證
ヲ身元保證トシテ御廳ヘ差出シ置キ總テ入札請負規則ニ從

ヒ方法書ノ通何年何月ヨリ何年何月迄ニ請負可申候萬一右
規則ニ違背シタルトキハ違約金トシテ身元保證金ヲ沒收セ
ラルハ勿論御規則ノ通處分相成候共異議無之又御廳ノ損
害トナルヘキ不都合ノ所爲有之本人ニ於テ等閑ニ付スルト
キハ保證人ニ於テ引受處辨可致候仍而連署ヲ以テ請負書差
上候也

年月日

請負人住所

姓名印

保證人住所

大阪市參事會宛

街燈點火請負規則

明治廿九年三月廿三日
大阪市告示參事第六號

本市會ノ議決ヲ經テ明治二十二年大阪市告示第二十一號街燈及橋燈點火入札請負規則ヲ廢シ更ニ街燈點火請負規則左ノ通相定ム

街燈點火請負規則

- 第一條 街燈點火ハ東西南北ノ四區ニ分チ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄ヲ一期トシ公入札ニ附シ又ハ時宜ニヨリ公入札ニ附セス特撰入札ヲ以テ請負ハシムヘシ但場合ニヨリ每區ヲ數區域ニ分チ營業者ト隨意契約ヲ爲シ施行スルコトアルヘシ
- 第二條 請負金額ハ點火ノ基數及日數ニ應シ之ヲ下付スヘシ請負人ハ其月分ノ請負金額ヲ翌月七日マテニ請求スヘシ
- 第三條 燈柱燈室并ニ附屬品等變災等ニヨリ毀損又ハ亡失若クハ朽腐ノ爲メ其用ニ堪ヘサルモノアルトキハ其時々速カニ届出ツヘシ
- 第四條 請負人ハ點火ニ係ル一切ノ事件ヲ辦スル爲メ所轄區役所ヲ距ル五町以内ノ地ニ各事務所及ヒ代人ヲ置キ其町名番地共名ヲ届出ツヘシ

第五條 正當ノ事故ナク點火セサルモノアルトキ亦ハ點火請負方法書ノ條項ニ違背スル時ハ違約金トシテ總基數ニ對スル一夜請負金額ノ二分ノ一ヲ徵收スヘシ

前項違約金ハ別ニ之ヲ徵收ス若シ納付セサルトキハ請負金ノ内ヨリ扣除スヘシ

第六條 毎夜監視人ヲ派シ燈室并ニ附屬品ノ掃除點火ノ實況等ヲ監査セシメ若シ不都合ト認ムル時ハ改良ヲ命スヘシ

前項ノ場合ニ於テ請負人其命ニ從ハサルトキハ請負命令ヲ取消シ身元保證金ヲ沒收スヘシ

第七條 身元保證金ハ請負滿期ノ後之ヲ還付スヘシ

第八條 點火請負方法書ハ市參事會之ヲ定ム

第九條 前各條ニ掲クル外ハ工事入札請負規則ヲ適用ス但入札請負證ハ別紙様式ニヨルヘシ

(別紙) 第一號様式 用紙半紙

入金札 一金 何程

但何區街燈小形一基一夜點火代 但大形ノアル區ハ大小各別ニ記載スハシ 右金額ヲ以テ請負可申候也

年月日 住所 姓名 名印

大阪市何區長宛

第二號様式 用紙美濃紙

請負 證

大阪市何區街燈點火代 一金 何程

内 金 何程 街燈大何基一夜點火代何程 但日數 金 何程 全 小何基一夜點火代何程 全上

此身元保證金

金 何程

(何公債證書額面何圓 何枚) 何國立銀行預券何圓

右金額ヲ以テ請負被命候ニ付テハ前記現金、公債證書、身元保證トシテ御廳へ差出置キ總テ街燈點火請負規則ニ違ヒ方法書ノ通り何年何月何日ヨリ何年何月何日迄請負可申候萬一右規則ニ違背致候場合ニ於テハ違約金トシテ身元保

證金ヲ沒收セラル、ハ勿論總テ御規則ノ通御處分相成候トモ異議無之又御廳ノ損害トナルヘキ不都合ノ所爲有之本人ニ於テ等閑ニ付スルトキハ保證人ハ本人ニ代リ一切引受纏辦可致候仍テ違背ヲ以テ請負證差上候也

年月日 住所 姓名 名印

請負人 住所 姓名 名印

保證人 住所 姓名 名印

大阪市何區長宛

(保證人ハ府下現住者ニシテ所得納稅者ニ限ル)

街燈點火請負方法書

明治廿三年三月廿八日 大阪市訓士第四一號 區役所

明治二十九年三月二十五日付本市訓令參第八號街燈點火請負方法書別紙之通改定ス

右訓令ス

街燈點火請負方法書

- 第一條 街燈ノ油ハ石炭油上松ヲ相用ヒ其消費量ハ夜ノ長短ニ從ヒ左ノ定量以下トス
 - 一 自五月四ヶ月間 一基一夜平均油量 九与八才
 - 二 自八月二ヶ月間 全 上 一合七才
 - 三 自十一月四ヶ月間 全 上 一合二与五才
 - 四 自三月二ヶ月間 全 上 一合七才
- 第二條 石炭油ハ掛吏員ニ於テ石油メートルヲ以テ隨時検査ヲ爲シ不良ト認定テ受ケタルモノハ直ニ良品ト交換スヘシ
- 第三條 毎日油壺ニ石炭油ヲ注入スルトキハ其壺ニ充満セシメ空隙ナカラシムヘシ
- 第四條 燈芯ハ五分ヲ相用ヒ毎日其芯ノ燈シ口ヲ直角ニ切斷シ其長サ二寸五分以下ニ消耗シタルトキハ必ス新規取換ヲ爲スヘシ

第五條 點火時間ハ左ノ區別ニ從ヒ實行スヘシ

- 但シ時間後一時間内ニ必ス消火スヘシ
- 一 自五月四ヶ月間 自午後六時十一時間 至午後五時三十分
- 二 自八月二ヶ月間 自午後五時三十分 至午後四時三十分
- 三 自十一月四ヶ月間 自午後四時三十分 至午後五時三十分
- 四 自三月二ヶ月間 自午後五時三十分 至午前五時三十分
- 第六條 街燈ノ燭光ハ最モ光明ナルヲ要ス其度ハ第一條規定ノ油量ヲ消費スルヲ以テ程度トス
- 第七條 石炭油ノ量ハ掛吏員ニ於テ隨時検査ヲ爲シ點火前ニ於テ油壺ニ空隙アルコトヲ發見シタルトキハ其不足油量ハ直ニ之ヲ補充セシメ又點火後ニ於テ既定ノ油量ニ比シ消耗油量甚ク減少シアルコトヲ發見シタルトキハ既定ノ通り注入セサルモノト見做シ其不足ハ直ニ補充セシムヘシ但其油量ノ不足ヲ補充シタルノ故ヲ以テ街燈點火請負規則第五條ノ違約處分ヲ免ル、コトヲ得ス
- 第五條 點火時間ヲ經過シタル後ニ於テ既定ノ油量ニ

比シ消費量僅少ニシテ殘餘多量ナルコトヲ發見シタルトキハ點火不充分ナルモノト見做シ其夜ノ點火費ヲ支拂ハサルヘシ

- 第八條 在來油壺ハ掛吏員ノ指揮ニ從ヒ其容量ヲ検査シ油壺ニ其容量ヲ書載シ及計量線ヲ記入スヘシ且新規取換ヲ爲スヘキ油壺ニ就テモ亦全シ
- 第九條 請負人ハ毎日燈器及燈室等ヲ掃除シ勉メテ清潔透明ナラシムヘシ
- 第十條 油壺ハ毎月一回油滓ヲ排棄シ之ヲ洗滌スヘシ
- 第十一條 請負人ハ點火請負規則第三條ノ場合ヲ除ク外燈柱燈室又ハ燈器ノ破損シタルトキハ自費ヲ以テ之ヲ修繕シ又ハ交換スヘシ
- 但他人ニ於テ破損シタルコト判明ナルトキハ此限ニアラス
- 第十二條 請負人ハ適宜分擔區域ヲ定メ每區域ニ點火請負人ヲ配置シ其旨區役所ニ届出ヘシ
- 第十三條 請負人ハ毎夜三人ノ入夫ヲシテ各自石炭油及要具(脚立、火舎、ランプ)ヲ携帶セシメ區役所ヘ

差出シ監視人ニ隨行シ點火上不都合ナキ様取計ハシムヘシ

- 但暴風雨其他區役所ノ指揮アリタルトキハ入夫ヲ増發スヘシ
- 第十四條 出火アルトキハ速ニ請負人ヲ現場ニ派シ時宜ニ依リ燈器ヲ撤却セシムヘシ
- 此場合ニ於テハ其基數等速ニ區役所ヘ届出ヘシ
- 第十五條 請負人若クハ其代理人ハ區役所ヨリ召喚ヲ受ケタルトキハ迅速出頭スヘシ故ナク遲參又ハ不參スルコトヲ得ス
- 第十六條 請負人若クハ其代理人ハ召喚ノ有無ニ拘ラズ毎日一回必ス區役所ニ出頭シ街燈點火等ノ狀況ヲ具申シ且指揮命令ヲ受ヘシ

街燈橋上燈修繕ノ件

明治卅三年十月卅一日 市長 決 定

急施ヲ要スル工事施行上ニ付テハ明治二十六年一月二十七日市參事會議決之次第モ有之就中街燈橋上燈破損之如キハ直ニ修繕ヲナスニアラサレハ点火上差支ヲ生スルコト不尠然ルニ其都度々々市長ノ決議ヲ經テ施工候時ハ實際点火上ノ支障ヲ來タス而已ナラス本修繕ノ如キハ些々タル工事ナルニモ拘ハラズ之レカ施行上ノ手續ヲ踐行スル爲メ數日無点火トナシ置クハ策ノ得タルモノニ無之ヲ以テ今後街燈橋上燈修繕ニ限リ主務課長ヲシテ施工方取計候様致度此段相伺候也
追テ本文施工方相命シタル上ハ其都度報告可致積ニ有之候此段申添候也

● 工事用具貸渡規定

明治廿三年二月廿一日
市會 決議

市部地方稅財產ヨリ引繼テ受ケタル橋梁建築用器械及工具ハ本市ノ工事ニ差支ナキトキニ限リ相當ノ損料ヲ徴シ借用

望ノ者ニ貸與スルモノトス

但大阪府廳ニ於テ施行スル地方稅其他ノ工事ニ付同廳ニ貸渡スルトキハ損料ヲ徴スル限ニ在ラス

● 工事用具貸渡契約

明治廿三年三月十七日
市參事會議決 定

橋梁工事用諸器械借用出願者アルトキハ其身元保證人ノ身元ヲ取調ノ上左之證書ヲ徴スルモノトス

金員相
當印紙

物品借用證書

- 第一何號 何個但附屬品別紙明細書之通
- 第二何號 此代金何程 但一個ニ付何程
- 第三何號 何個但前同斷

此代金何程

但同斷

合代金何程 此保證金何程(合代金高ノ十分一)

右物件正ニ借用シ左ノ條々ヲ確約ス

第一條 右物件明治何年何月何日ヨリ明治何年何月何日迄日數何日間借用ス

第二條 借用物件ニ對シ使用料トシテ借用日數最初十日以内ハ前ニ記載スル其借用物件代價ノ一千分ノ一分五厘次キノ十日間以内ハ全一分三厘其餘ノ日間ハ全一分宛ノ料金ヲ府廳御指示ノ日迄ニ上納ス但綱ハ本文定額ノ三倍潜水器ハ二倍トス

第三條 水火盜難又ハ其ノ他ノ事故ニ依リ借用物件ヲ亡失シタル時ハ前ニ記載スル其物件代價又ハ原品同格ノ現品ヲ以テ府廳御指示ノ日迄ニ上納ス

第四條 借用物件ヲ毀損シタル時モ亦前條ニ同シト雖モ尙修繕ニ堪エルモノト府廳ニ於テ認定セラル、時ハ御指示ノ日限迄ニ之レカ修繕ヲ終ヘ又ハ御指定ノ修繕費ヲ上納ス

第五條 物件借用中ハ勿論返納ノ時ハ充分ニ掃除シ府廳御指示ノ場所ニ運搬ス但府廳ニ於テ掃除不行届ト認定セラル、時ハ御指示ノ日迄ニ更ニ掃除シ又ハ御指定ノ掃除費ヲ上納ス

第六條 借用物件ハ他へ轉貸セス

第七條 借用期限中ト雖モ物件ノ返納ヲ命セラル、時ハ府廳御指示ノ場所及日限迄ニ返納ス但本條ニ依リ生シタル損失其他ノ費用ハ自費ヲ以テ支辨ス

第八條 借用期限又ハ第七條ノ命令日限ヲ越ヘ物件ノ返納ヲ怠ル時ハ其遷延ノ日毎ニ使用料ノ外前ニ記載スル其物件代價ノ五百分ノ一宛ヲ御指示ノ日迄ニ上納ス

第九條 返納期限後尙引繼キ借用セントスル時ハ期限十日以前ニ更ニ出願ス

第十條 第二條第三條第四條第五條第八條ヲ履行セサルカ爲御廳ノ損失ヲ來セシ時ハ直ニ御廳ニ於テ前記保證金ヲ以テ之ニ充用セラレ尙不足ヲ生スル時ハ御廳御指示ノ日限内ニ其不足額ヲ追納ス

第十一條 借用人ニ於テ本書ノ義務ヲ盡サ、ル時ハ保證人之ヲ履行ス

住 所 姓 名 印
年 月 日 借用人 姓 名 印
住 所 姓 名 印

大阪市參事會宛

附屬品明細書

第何號何器械附屬品

一何々々
一何々々
一何々々
一何々々
右之通相違無之候也
借用人 何 某
保證人 何 某

●堤塘道路並木敷用惡水路

土居敷等ノ使用處分方

明治廿六年五月十一日
市 會 決 議

明治廿四年大阪府訓令第五十三號土地使用處分ノ件ハ市參事會ニ於テ處分スルモノトス

●樋管並ニ用惡水路

修繕經營方

明治三十年四月一日本市へ編入セラレタル部分ニ於ケル用惡水路並ニ其附屬樋管ニシテ元町村費支辨ニ屬スルモノハ明治三十三年度以降市費ヲ以テ修理經營スルモノトス

●道路橋梁下水溝上使用

規則

明治廿八年四月十九日
大阪市告示參第一六號
本市會ノ議決ヲ經テ大阪市道路橋梁下水溝上使用規則左ノ通相定ム

大阪市道路橋梁下水溝上使用規則

- 第一條 本市費支辨ニ係ル道路橋梁下水溝上ニ於テ一定ノ場所ヲ占有シ使用セントスルモノハ此規則ニ依ルハシ但祭典緣日等ニ一時道路敷へ三尺以内出店スルモノハ此限ニアラス
- 第二條 使用ヲ出願セントスルモノハ第一號様式ニ依リ願書ヲ差出スヘシ
- 第三條 前條出願ニハ大阪府管内在籍者ニシテ身元確實ナル保證人ヲ立ツヘシ
- 保證人ハ使用人義務不履行ノ場合ニ於テ之ニ代リ其義務履行ノ責ニ任ス可シ
- 第四條 使用願人ハ使用ノ許可ヲ受ケタルトキハ其許

可ノ日ヨリ五日以内ニ第二號様式ノ請書ヲ差出スヘシ

- 使用人ハ使用以前ニ第三號様式ノ標札ヲ調製シ本市ノ檢印ヲ受ケ使用ニ際シ出店者ハ之ヲ其店頭ニ掲ケ其他ハ見易キ場所ヘ掲ケ置クヘシ但使用場所ヲ返却スルトキハ檢印ノ消却ヲ受クヘシ
- 第五條 使用人ハ使用許可期限内ト雖モ當初使用ノ目的ヲ變更シ又ハ之ヲ他人ニ使用セシムルコトヲ得ス
- 第六條 使用人故意怠慢ニ依リ使用許可ノ土地又ハ物件ヲ毀損シタルトキハ之カ損害ヲ賠償スヘシ
- 第七條 使用許可期限内ト雖モ本市ノ都合ニヨリ又ハ使用人本規則ニ違背シタルトキハ何時ニテモ其許可ヲ取消スコトアルヘシ但此場合ニ於テ使用人ハ損害賠償等ノ苦情ヲ申立ルコトヲ得ス
- 第八條 使用許可ノ場所ニ存在スル物件ハ使用滿期又ハ使用人ノ都合ニヨリ返却セントスルトキハ其場所返却以前ニ於テ又第七條ニ依リ許可ノ取消ヲ通知シタルトキハ其通知書ヲ受領スルト全時ニ使用人ニ於